JAPAN GAMES

昭和100年

2026 AOMORI

青の煌(きら)めきあおもり国スポ



公式マスコット
「アップリート君」

第80回国民スポーツ大会

バレーボール競技会

会 期 10.11(日)-14(水)

会 場 青 森 市　マエダアリーナ〈成年男子・少年男子〉
五所川原市　五所川原市民体育館〈成年女子〉
つ が る 市　伊藤鉱業アリーナつがる（つがる市総合体育館）〈少年女子〉

主催：公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、青森県、公益財団法人日本バレーボール協会、青森市、五所川原市、つがる市

第80回国民スポーツ大会

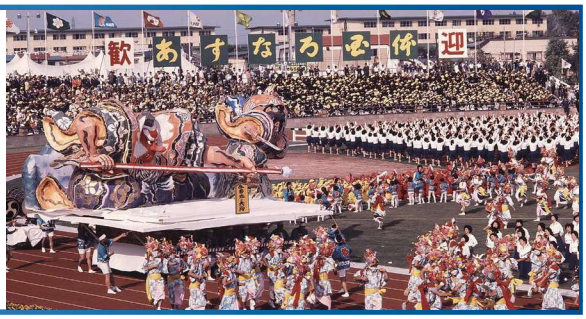
The 80th JAPAN GAMES

国民スポーツ大会（国スポ）は、都道府県対抗で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。本県での開催は、前回のあすなろ国体(※)以来49年ぶりであり、前回同様、冬季大会と本大会を同一県で開催する「完全国スポ」です。

※2024年から「国民体育大会」の名称が「国民スポーツ大会」に変わりました。

あすなろ国体とは？

昭和52年、青森県で国体史上初となる完全国体（冬・夏・秋と3季にわたり行われる大会を同一県で実施した国体）として、第32回国民体育大会（あすなろ国体）が県内各地で華々しく開催され、本県は天皇杯を獲得しました。



大会愛称

青の煌(きら)めきあおもり国スポ

青い空、青い海や湖、青い山並みなど美しく豊かな自然に恵まれた青森県で、あおもり国スポに参加する全ての人々が、交流を深め、感動を創出し、いきいきと煌めくような大会を目指します。

スローガン

翔けろ未来へ縄文の風に乗って

縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めています。

イメージソング「翔けろ未来へ」



作詞：井元 仁江
作曲：T.Mikami
編曲：多田 慎也、島田 尚
歌唱：りんご娘
（ピンクレディ、スターキングデリシャス、はつ恋ぐりん、金星）

ダンス「青の煌(きら)めきダンス」



イメージソング「翔けろ未来へ」にあわせ、振付けに青森県を表現するポーズやねぶたの跳人の動き、手話による表現などを盛り込んだ、青森らしいユニバーサルデザインダンスです。

公式マスコット



「アップリート君」

特徴ある県の形と、ハチマキの中央にある「りんご」で青森県を表現しています。

LINEスタンプも販売！

最新情報は公式アプリ・HP・SNSで！

公式アプリ

Download on the App Store　GET IT ON Google Play

あおもり国スポ　検索

今すぐ無料ダウンロード！

公式HP　X　Instagram　YouTube

目　次

■あいさつ
・公益財団法人日本スポーツ協会会長 …… 1
・文部科学大臣 …… 2
・公益財団法人日本バレーボール協会会長 …… 3

■歓迎のことば
・青森県知事 …… 4
・青森市長 …… 5
・五所川原市長 …… 6
・つがる市長 …… 7
・青森県バレーボール協会会長 …… 8

■国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程… 10

■国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程… 11

■大会役員 …… 12

■競技会役員 …… 16

■総則 …… 20

■実施要項 …… 21

■バレーボール競技日程 …… 28

■組合せ表 …… 30

■練習会場割当表 …… 34

■バレーボール競技の見方 …… 38

■都道府県別参加人数一覧 …… 43

■参加監督・選手一覧 …… 44

■バレーボール競技成績採点方法…… 62

■男女総合（天皇杯得点）成績一覧表 …… 63

■女子総合（皇后杯得点）成績一覧表 …… 64

■過去の成績一覧表「栄光のあと」 …… 65

■青森市…… 70
競技役員
競技補助員
競技会係員
競技会補助員
種別表彰式次第（成年男子・少年男子）
競技会場・練習会場案内図（成年男子・少年男子）
競技会場配置図（成年男子・少年男子）
大会関係機関等連絡先一覧

■五所川原市…… 82
競技役員
競技補助員
競技会係員
競技会補助員
種別表彰式次第
競技会場・練習会場案内図
競技会場配置図
大会関係機関等連絡先一覧

■つがる市…… 92
競技役員
競技補助員
競技会係員
競技会補助員
種別表彰式次第
競技会場・練習会場案内図
競技会場配置図
大会関係機関等連絡先一覧



あ い さ つ

公益財団法人日本スポーツ協会
会 長 遠 藤　 利 明

はじめに、本年7月２８日に発生した令和８年熊本地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、同地震及び昨年１２月８日に発生した青森県東方沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興と皆様のご健康を心からお祈りいたします。

第８０回国民スポーツ大会は、本年１月から２月に行われた冬季大会と併せ、「完全国スポ」として開催いたします。

第７１回岩手大会以来、１０年ぶりとなる「完全国スポ」を締めくくる本大会が、縄文の時代から育まれてきた歴史と文化を有し、豊かな風土に恵まれた本州最北の地、ここ青森県において開催されますことは、誠に意義深いことであります。

本年は、第２５回オリンピック冬季競技大会（ミラノ・コルティナ）、サッカーFIFAワールドカップ２０２６、第２０回アジア競技大会（愛知・名古屋）などの大規模な国際総合競技大会が開催され、多くのアスリートの目覚ましい活躍が、私たちに大きな勇気を届けています。

本大会が「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」というスローガンの通り、出場するアスリートの皆様にとって、世界へ羽ばたく契機となることを切に願っています。

さて、日本スポーツ協会では、「有識者会議」からの提言に基づき、令和7年7月、改革を具体的に進める組織として、「国スポ改革タスクフォース」を設置しました。

今後、現状と課題を分析し、国民スポーツ大会が競技性・祝祭性・社会性・文化性を掛け合わせた、「トップアスリートと地域スポーツの好循環 ～人と地域の未来を創る～」という理念を具現化できる大会となるよう、検討を進めているところです。

結びに、地震からの復旧に取り組みながら、本大会の開催にあたり諸準備にご尽力いただきました 青森県をはじめ、関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あ い さ つ

文 部 科 学 大 臣
松 本　 洋 平

はじめに、令和８年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

文部科学省としては、被災された熊本県をはじめとする自治体への支援に全力を挙げて取り組んでまいります。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ青森県において昭和１００年記念 第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

青森県は、世界自然遺産の「白神山地」、四季折々の表情を見せる「八甲田山」や「岩木山」など豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」や重要無形民俗文化財である「青森のねぶた」など、自然と文化が息づく県です。

昭和５２年のあすなろ国体以来４９年ぶりの青森県での開催となり、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

本大会は、史上初となる総合開会式・閉会式の屋内開催に加え、大会公式アプリによる競技情報や結果速報の提供、デジタルチケットの活用などデジタル技術の活用により、選手と観客双方に配慮した大会運営となっています。「青の煌めきあおもり国スポ」が、国民に夢と感動を与え、青森県の魅力発信と活性化につながる大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や青森県民の皆さんとの交流を通じて、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、東京２０２５世界陸上競技選手権大会、第２５回夏季デフリンピック競技大会東京２０２５、ミラノ・コルティナ２０２６冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は、愛知・名古屋において、第２０回アジア競技大会、第５回アジアパラ競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう、関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「青の煌めきあおもり国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元青森県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

（令和８年７月３１日現在）



あ い さ つ

公益財団法人 日本バレーボール協会
会 長 川 合　俊 一

第８０回国民スポーツ大会「青の煌(きら)めきあおもり国スポ」バレーボール競技＜６人制種目＞が、青森県青森市・五所川原市・つがる市で開催されますことを心よりお慶び申し上げます。開催にあたり準備にご支援をいただきました大会役員関係者の皆様、開催県である青森県の皆様、ご尽力賜りました関係する全ての皆様に対し、心から感謝を申し上げます。また、全国各地から厳しい予選を勝ち抜かれ、国内最大のスポーツの祭典である国民スポーツ大会に出場されます選手の皆様におかれましては、競技を通して全国各地の方々と友情を育み、素晴らしい思い出となりますことを願っております。同時に、郷土を代表して国民スポーツ大会へ出場する誇りと名誉を胸に、フェアプレーの精神で活躍されることを期待いたします。

青森県での開催は、昭和５２年（1977年）の第３２回国民体育大会―“心ゆたかに力たくましく”をスローガンとした「あすなろ国体」以来、４９年ぶりの開催となります。

今大会は、「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、縄文時代の遺跡が数多く存在する青森から、新たな歴史と感動を全国に向けて発信し、未来につなげていきたいという願いを込めて、全国から訪れる方々を心のこもったおもてなしでお迎えし、誰もがスポーツを楽しめるような場にするとともに、参加される皆様が、練習の成果を遺憾なく発揮し、思い出に残る大会となるよう、鋭意準備を進めてこられたと伺っております。バレーボールにはたくさんの“つなぐ”要素があります。相手を思いボールをつなぐことで、紡がれる絆。競技の楽しさをつなぐことで、広がる仲間。垣根を超え心をつなぐことで、生まれる可能性。夢と情熱をつなぐことで、分かち合う感動。本大会でも、こうした多くの“つなぐ”場面が生まれることを楽しみにしています。

９月にはビーチバレーボール競技の少年男女種別が青森市で開催されました。バレーボール競技は、成年男子・少年男子種別が青森市、成年女子種別が五所川原市、少年女子種別がつがる市の３市３会場で開催となり、いずれの会場においてもバレーボールに対する熱意が高く、本大会に多大なるご支援とご協力を賜りますことに、厚くお礼申し上げます。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りました青森県の皆様をはじめ、青森市実行委員会、つがる市実行委員会、五所川原市実行委員会、青森県バレーボール協会ならびに関係の全ての皆様に重ねて心から感謝申し上げるとともに、選手の皆様の健闘と大会の成功を心より祈念し、ごあいさつといたします。



歓迎のことば

青森県知事　宮下（みやした）　宗一郎（そういちろう）

はじめに、令和８年熊本地震によってお亡くなりになられた方々に、深く追悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。

昭和１００年記念 青の煌（きら）めきあおもり国スポ「第８０回国民スポーツ大会」が昭和元年（１９２６年）から起算して満１００年の節目となる年に、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、青森県において開催されますことをお喜び申し上げます。そして、全国各地からお越しくださいました選手及び関係者の皆様を、県民を代表して心から歓迎いたします。

「青の煌（きら）めきあおもり国スポ」は、史上初の完全国体である「あすなろ国体」以来４９年ぶりとなる青森県での開催であり、国民体育大会から国民スポーツ大会に大会名称が変更されてから、初の“完全国スポ”となります。

「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」のスローガンのもと、美しく豊かな自然の恵みを受けながら、一万年以上にわたり縄文文化が営まれていたこの青森の地で生まれる新たな歴史と感動、そしてこれを希望ある未来へつなげていきます。

“スポーツで青森県が一つ”に、“私たち県民の心がスポーツで一つ”になる、「青森新時代」の大会を目指し、県民総参加で青森県を青の煌（きら）めき一色に染め上げ、スポーツの祭典を盛り上げたいと考えています。

選手の皆様には、日々の練習で培ったパフォーマンスを存分に発揮されますとともに、感動と温かい交流にあふれ、皆様の心に残る最高の大会となることを願っています。

結びに、今大会の開催に御尽力されました関係者の皆様に心から感謝を申し上げるとともに、今大会の成功と選手の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
青森市実行委員会　会長
青森市長　西　　秀　記

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」の歓迎のあいさつに先立ち、このたびの令和８年熊本地震及び令和８年８月千葉豪雨により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げます。本大会において選手の皆様がひたむきに競技に臨む姿が、多くの方々に感動と希望を届け、被災地の一日も早い復旧・復興への力となりますことを切に願っております。

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」は、昭和５２年の「あすなろ国体」以来、青森県で４９年ぶり２度目の開催となります。国体から国スポへの名称変更後、初の完全国スポとなる大会であり、青森市にてバレーボール競技をはじめとする１４競技１９種目の正式競技を開催できますことを大変嬉しく思います。また、全国各地からお越しいただく選手や監督、関係者の皆様を、青森市民を代表して心より歓迎いたします。

本市では、スポーツを通じた交流人口の拡大により地域活性化を図る取組を進めており、青森駅周辺の歓迎装飾や各競技会場の応援のぼり旗など、全国から来訪される方々を青森らしい心のこもったおもてなしでお迎えできるよう、市民一丸となって準備してまいりました。

出場される選手の皆様におかれましては、これまで積み重ねてきた努力の成果を存分に発揮し、最高のパフォーマンスを披露されますことを期待しております。

また、大会期間中には、子どもたちがスポーツの楽しさや素晴らしさを体感できる機会づくりを進めることとしており、本大会が多くの方にとって心に残る実り多き大会となることを願っております。

さて、青森市には、静穏な陸奥湾、雄大な八甲田連峰などの豊かな自然のほか、日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」の歴史や魅力を体感できる「ねぶたの家ワ・ラッセ」や、世界遺産にも登録された「三内丸山遺跡」、「小牧野遺跡」など、文化や歴史を感じられる施設が数多くあります。また、全国的にも有名なりんごや新鮮な海の幸など、豊富な食材にも恵まれております。ぜひこの機会に本市の多彩な魅力を堪能していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御活躍を心より祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
五所川原市実行委員会　会長
五所川原市長　佐々木　孝昌

歓迎のあいさつに先立ち、このたびの令和８年熊本地震により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。本大会での、選手の皆様の懸命な姿が、多くの方々の心に勇気と希望を届け、明日へ向かう力となることを願っております。被災地の一日も早い復旧・復興と、平穏な日常を取り戻されますことを心よりお祈り申し上げます。

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」バレーボール競技会が、ここ五所川原市において盛大に開催できますことは大変喜ばしく、全国各地からお越しいただきました選手、監督並びに関係者の皆様を、五所川原市民を代表して心より歓迎申し上げます。

青森県では、昭和５２年の「あすなろ国体」以来４９年ぶりとなる開催で、本市では、成年女子種別が実施されます。競技会場である五所川原市民体育館は「あすなろ国体」のレガシーであり、これまで数多くの市民がスポーツに親しみ、楽しんできた歴史のある会場であります。

全国各ブロックでの予選会を勝ち抜かれ、各都道府県の代表となられた選手の皆様には、日頃の練習の成果を十分に発揮され、バレーボール競技の感動と魅力を伝えていただくことを願っております。

さて、五所川原市は、津軽平野のほぼ中央に位置する津軽西北地域の交通の要衝であるとともに、白神山地を源流とする岩木川に育まれた肥沃な地域であります。米やりんごなどの豊かな農産物はもとより、青森三大ねぶたのひとつで高さが２３メートルにも及ぶ立佞武多（たちねぶた）、文豪・太宰治の生家「斜陽館」、全国から多くの鉄道ファンが訪れる津軽鉄道、大粒で知られる大和シジミの産地・十三湖など、地域に根差した祭りや文化、美しい自然や多彩な食を堪能することができます。また、今年７月にリニューアルオープンした「立佞武多の館」では、３台の大型立佞武多が皆様をお迎えしますので、是非その迫力を間近で体感いただきたいと思っております。

結びに、本大会の開催にあたり、御尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御健闘と御活躍を心よりお祈り申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
つがる市実行委員会　会長
つがる市長　倉光　弘昭

はじめに、このたびの令和８年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

第８０回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」のバレーボール競技（少年女子）が、ここつがる市において、全国各地から選手、監督および大会関係者の皆さまをお迎えし、盛大に開催できることは大変喜ばしく、市民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

青森県での開催は、昭和５２年の第３２回国民体育大会「あすなろ国体」以来、４９年ぶり２回目となり、本市においてはバレーボール競技のほか柔道競技（全種別）の２競技を実施いたします。

大会の成功と来場者の皆さまに心を込めた最高のおもてなしをお届けできるよう、これまで市民一丸となって準備を進めてまいりました。

本大会が選手の皆様にとって、日頃の練習の成果と、鍛え上げられた力と技を存分に発揮する機会になるとともに、選手同士の交流や絆が生まれ、全ての来場者の皆さまにとって心に残る大会となりますことを願っております。

さて、本市は、令和３年７月に「北海道・北東北の縄文遺跡群」として、ユネスコ世界文化遺産に登録された亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚を有しており、明治２０年に出土した大型の遮光器土偶は、国の重要文化財に指定され、縄文の美とロマン薫るまちとして、内外から多くのお客様をお迎えしております。

また、朱色の千本鳥居や日本庭園、冬の雪景色など四季折々の美しいコントラストが魅力の髙山稲荷神社や、旬の新鮮な野菜や果物、ご当地ならではの特産品が販売されております農産物直売所や道の駅などにも、ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、津軽半島の食や文化を存分にお楽しみいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本大会の成功と選手の皆様の健闘を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば
“けっぱれ”選手たち 熱い戦いに声援を

青森県バレーボール協会
会長 大瀬 良一

我が国最大のスポーツイベントの祭典 第８０回国民スポーツ大会が「翔けろ未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、「青の煌めき あおもり国スポ・障スポ」を愛称に、ここ青森県において盛大に開催されますことを大変うれしく思います。併せて全国各地から本大会に参加いただきました代表選手・役員の皆様方を心より歓迎申し上げます。

参加チームにおかれましては、全国各ブロックにおける厳しい予選会を勝ち抜かれた実力あるチームばかり。それぞれが誇りと郷土の期待を胸に臨まれることと存じます。ぜひともこれまでの練習の成果を存分に発揮されますとともに、スポーツの力で、互いの地域の垣根を超えた交流が深まり、友情の輪も広がることを願い、最高の大会、思い出につながることを期待します。

バレーボールは、サーブに始まり、レシーブ、そしてトス、スパイク、ブロック、さらにレシーブする、まさにスピード感あふれる“つなぐスポーツ”の魅力を持ちます。ラリーが続くと興奮冷めやらぬ感動を与えてもくれます。全国のトップアスリートの熱戦を身近な会場で応援できるチャンスであります。県民のみなさんは、ぜひ応援しましょう。バレーボールでつながる縁と出会いによる交流も深まりますように願っております。

競技会の会場となります青森市、五所川原市、つがる市は、青森県の西北に位置し、津軽地方といわれる地域であります。世界遺産である三内丸山遺跡をはじめ、白神山地に広がる秀峰・岩木山を挟んだ自然豊かなところです。果物では、全国一の生産量を誇るリンゴをはじめ、メロン、スイカなどブランド生産物がとれるばかりか、周りを海に囲まれ水産物も豊富な地域です。また、夏には、ねぶた祭競演など熱く燃えるイベントもあります。こうした魅力の一端にも触れながらお楽しみください。

結びになりますが、本大会の開催にあたり、県と開催地の各実行委員会の方々と、青森県バレーボール協会が心ひとつに、準備を重ねてまいりました。多くのボランティアにもご支援いただいております。行き届かぬ点もあるかと存じますが、深いご理解とご支援、ご協力を賜りました関係諸団体の皆様に、心より厚くお礼を申し上げまして、歓迎のことばといたします。

また、最後にせっかくおいでになられた皆様に、少しでも地方ならではの方言・“津軽弁”を体験してもらうのもいいでしょう。その一つに頑張れということを“けっぱれ”といいます。“選手たち、けっぱれ”。大いに楽しんでください。

MEMO

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程



天皇杯　　皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

（1）　信託会社又は確実な金庫に保管する。

（2）　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

（3）　公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定

昭和 45 年１月 22 日一部改定

昭和 48 年７月 10 日一部改定

昭和 54 年５月　９日一部改定

平成 17 年６月 16 日一部改定

平成 22 年３月 17 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。

平成 30 年４月　１日一部改定

令和　６年１月　１日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

（1）　責任をもって保管する。

（2）　破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

（3）　優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第１条第２項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。

（4）　公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定

昭和 45 年１月 22 日一部改定

昭和 48 年７月 10 日一部改定

昭和 54 年５月　９日一部改定

平成 17 年６月 16 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。

平成 30 年４月　１日一部改定

令和　６年１月　１日一部改定

大 会 役 員

大 会 役 員

2026年7月31日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長	松本洋平			
会長	遠藤利明			
副会長	益子直美	田中不二夫	三宮恵利子	森岡裕策
	河合純一	宮下宗一郎		
顧問	森喜朗	安西孝之	岡崎助一	越川均
	坂元要	勝田隆	飯塚悟	池田めぐみ
	石井砂織	植田実	浦美奈子	笠師久美子
	鹿島丈博	木平芳定	工藤保子	久保正美
	小寺洋	櫻井由香	中嶋実	橋本聖子
	村松さやか	室伏由佳	湯川和之	吉岡成子
	久保直生	藤田裕司	藤原誠	室城信之
	金子日出澄	貝瀬智洋	森晃	土橋登志久
	石丸元国	多氣洋平	井崎洋志	鬼頭有紀子
	長谷川洋子	吉田長寿	齋木尚子	多賀恒雄
	安藤淳	上治丈太郎	湧永寛仁	三宅秀一郎
	佐藤健司	馬場美香	堺充廣	南和文
	宮永美寿津	千田健一	中里壮也	岡本友章
	大野淳	永谷喜一郎	田村恒彦	蒔田実
	山崎勝洋	浅見敬子	山口徹正	田中伸周
	村田利衛	建部彰弘	市野保己	丸石博
	中村ゆり子	齋藤良太郎	谷田部和彦	木村博美
	井上弘	今川啓一	近藤重和	池谷正成
	大澤明美	古城資久	小野賢二	園山和夫
	中山俊行	田中徹	知念かおる	出口弘之
	田邊哲人	城門政文	前川恵	園田義宜
	布村幸彦	川原元則	生島典明	大沢陽子
	谷藤節雄	中村伸彦	千葉玲佳	奥山雅信
	酒井祐一	藤田知巳	北條俊明	田子昌之
	新井彰	山崎成夫	塩見清仁	田名部高雄
	井出仁	今西博一	中村宏平	新保暢
	森山喜博	横山幹夫	花崎武彦	髙橋繁浩
	山本健次	増田和伯	藤堂寛	山本誠三
	松本恭幸	東直也	奥田晃	横尾英治
	小西慎太郎	近藤一幸	堂本ひさ美	河村祐一

渡邊浩三　田中稔　高岡晃仁　青木章泰
城戸英敏　小柳勝彦　辛木秀子　宮成康蔵
若林繁幸　岩元幸成　平良朝治　藤原正樹
新宮領毅　川上隆弘　佐藤廣子　奈良隆
小菅司　宇津木妙子　菊幸一　小林久美
寺澤正孝　山口純子　中村裕之　小林茂樹
清水真人　福田かおる　増子宏　矢野和彦
柿田恭良　茂里毅　浅野敦行　津島淳
神田潤一　木村次郎　江渡聡徳　田名部匡代
福士珠美　山中泉　工藤慎康　風張知子
横町俊明　西秀記　濱舘豊光　尾﨑寿一
鈴木進　三本木温　有森裕子　鈴木大地
宮本恒靖　深澤祐二　坂田東一　三須和泰
川合俊一　藤田直志　島田慎二　富山英明
馬場益弘　砂岡良治　金丸恭文　安道光二
河田正也　豊田章男　後藤正幸　中村真一
河合満　村井満　真砂威　土田雅人
町田幸男　大野正次　世耕弘成　笹川善弘
納冨中　土居淳　久保素子　丹羽秀樹
津賀一宏　岩城光英　北村聡　荒川裕生
達増拓也　鶴田有司　吉村美栄子　北村清士
大井川和彦　福田富一　遠藤祐司　大野元裕
熊谷俊人　小谷実可子　岡田伸浩　花角英世
新田八朗　山野之義　石田嵩人　髙野剛
阿部守一　田口義隆　中谷多加二　大村秀章
伊藤歳恭　高橋祥二郎　西脇隆俊　髙橋知史
斎藤元彦　福谷健夫　宮﨑泉　林昭男
丸山達也　越宗孝昌　迫谷章　村岡嗣政
後藤田正純　綾田裕次郎　大塚岩男　今城純子
服部誠太郎　宮原耕史　平田研　木村敬
麻生益直　日隈俊郎　塩田康一　玉城デニー

参　与

籾井圭子　大杉住子　中村宇一　廣田美香
阿部祐己　安藤晴美　伊吹信一　井本貴之
蛯沢正勝　大崎光明　大澤祥宏　大澤敏彦
大平陽子　小笠原大佑　川村悟　菊池勲
北向由樹　木明和人　櫛引ユキ子　工藤兼光
工藤悠平　後藤清安　小比類巻正規　今博
斉藤孝昭　齊藤爾　鹿内博　清水悦郎

	高	橋	修	一	高	畑	紀	子	田	中	順	造	田名部	定 男
	田	端	深	雪	鶴賀谷			貴	寺	田	達	也	夏	坂 修
	夏	堀	嘉一郎		夏	堀	浩	一	成	田	陽	光	花	田 栄 介
	福	士	直	治	丸	井		裕	三	橋	一	三	森	内 之保留
	山	田		知	山	谷	清	文	吉	田	ゆかり		吉	俣 洋
	和	田	寛	司	奥	田	忠	雄	大	田		圭	平	間 恵 美
	安	田		博	松	本	史	晴	中	野	博	之	久	慈 美 穂
	三	浦	猛	史	千	葉	雄	文	後	村	文	子	細	谷 健 司
	舩	木	久	義	豊	島	信	幸	秋	野		桂	上	沢 謙 一
	工	藤	泰	正	栗	林		豊	新	屋	孝	文	簗	田 潮
	佐	藤		剛	安	田	貴	司	東	山	国	男	大	山 力
	山	本	恒	太	津	田	英	一	米	内	正	明	小山内	修
	堤		静	子	橋	場	保	人	目	澤	伸	一	山	口 龍 城
	高	杉	勝	彦	工	藤	裕	司	中	居	敬	子	川	浪 泰 浩
	宮	野	孝	晶	田	村	琢	哉	中	川	伸	吾	里	村 智 彦
	佐	藤	忠	全	倉	橋	純	造	一	戸	善	正	櫛	引 利 貞
	七	尾	嘉	信	佐	藤	健	一	岡	島	裕	史	工	藤 智 久
	三	上	千	春	高	木	伸	也	高	杉	金之助		小	関 幸 一
	外	崎	れい	子										
委員長	山	本		浩										
副委員長	岩	田	史	昭	石	田	裕	美	出	﨑	和	夫		
総務委員	松	永	敬	子	三	宅	宏	実	稲	垣	公	雄	笠	野 英 弘
	関	口	直	樹	菅	原	哲	朗	田	﨑	博	道	松	田 基 子
	三ヶ田		礼	一	山	澤	文	裕	福	田	一	稔	宇	野 武
	二	宮	智	浩	小	竹	喜	也	田	内	慎	也	秋	田 勝 行
	中	尾	慶一郎		下	條	伸	彦	江	橋	千	晴	宮	本 忠
	小	澤	大	樹	小笠原		忠	儀	髙	井	和	紀		
委員	平	野		了	髙	橋	聖	一	永	井	雅	史	神	山 康 洋
	福	士	幸	洋	栗	原		崇	竹ノ脇		智	秋	鈴	木 克 宜
	葛	西	玲	広	濱	野		勉	寺	澤		淳	黒	川 重 男
	舟	喜	信	生	福	島	亮	一	中	梶	秀	則	堀	越 浩
	加	藤	憲	二	宮	川	良	輔	鈴	木	章	広	川	口 巖
	山	口	俊	昭	岡	泉		茂	朝	倉	康	善	木	塚 鉄 也
	平	井	宏	治	濱	﨑		滿	岸	川	剛	之	西	原 斗司男
	山	口	鉄	正	菅	原	正	幸	伊	東	毅	嗣	長	南 哲 生
	衛	藤	敬	輔	上久保			僚	中	段	亜由美		鈴	木 信 吾
	内	田	淳	二	関	根	明	子	中	山	二三男		﨑	村 尚 人
	吉	田	由美	子	杉	本	好	二	國	重	さゆり		髙	梨 治 紀

川口雅三　田邊賢一　山口　剛　富澤佑也
政岡航大　坊　百花　井澤貫太　田口雅紀
寺垣佑介　柿﨑繁信　橋口真夕　田中遥太
町屋毅博　山本高史　松橋伸哉　長谷川光昭
白幡博久　田畑幸浩　加藤雄樹　小林健也
幸田和洋　大貫大輔　小池則之　今井隆元
三浦　理　舟木雅美　阿部哲也　片岡英史
福居久志　三武紀子　長坂嘉久　井澤克行
林　剛史　稲葉晴伸　森島哲也　和田吉史
中野真吾　佐々木智也　木原哲也　越智敏文
小林　悟　中嶋純也　前田康博　松本守正
松本綾子　中田健治　石津雅之　加藤　泰
高田孝行　日野　剛　前田義朗　笠井康行
尾鷲一成　川端利行　濱本昌宏　吉野賢一郎
都甲尚生　山元尚史　黒田裕史　髙野瑞洋
遠藤信哉　角屋憲正　千葉雅也　菅間裕晃
岡崎正彦　角田真司　加藤木紳克　柄澤宏之
杉田　聡　塩田憲司　藤丸伸和　河野公紀
碓井　稔　武田知己　井上　哲　今後元彦
沼田守弘　田部長右衛門　松井　守　吉岡直彦
髙岡晃仁　葛目憲昭　寺崎雅巳　田島祥嗣
荒木健治　平江公一　黒木淳一郎　城間敏生
丹羽浩彰

競 技 会 役 員

競　技　会　役　員

（順不同・敬称略）

名誉会長	西　秀記	佐々木孝昌	倉光弘昭	
会長	川合俊一			
副会長	工藤拓実	藤原弘明	葛西正美	金川裕一
	須藤実和	大瀬良一	柿崎泰明	飛嶋克好
	成田昭司			
顧問	奈良岡隆	木村清一	木村良博	工藤裕司
	原　真紀	山谷光寛	生島典明	山形守平
	遠藤健三	田村正男	川合勝芳	箱崎二三彦
	根本　聡	織田祐蔵	鈴木信弘	三ツ林裕巳
	長尾正利	朝日健太郎	柳橋　武	佐藤文男
	西川友之	佐々木　紀	松崎晃治	遠藤俊郎
	船木正也	村瀬登使文	深澤陽一	廣田修二
	舟橋裕幸	浮田豊史	綱村昭彦	中村光男
	小野善晴	清原正泰	東内敏幸	岸本進一
	岸本　強	中島義雄	重野陽一	齊藤宗房
	阿部俊和	宮川　隆	中村　進	近藤幸二
	宮内秀樹	中冨一榮	白石幹幸	本松　賢
	林　新太郎	相星正人	前田俊広	新城　武
参与	赤平勇人	小豆畑　緑	天内慎也	蛯名和子
	大矢　保	小熊ひと美	小倉尚裕	柿崎孝治
	軽米智雅子	木戸喜美男	木下　靖	木村淳司
	工藤　健	工藤夕介	里村誠悦	澁谷洋子
	関　貴光	相馬純子	竹山美虎	舘山善也
	中田靖人	中村美津緒	奈良祥孝	長谷川章悦
	花田明仁	藤田　誠	万徳なお子	村川みどり
	山田千里	山本武朝	渡部伸広	秋田幸保
	伊藤永慈	伊藤雅輝	金谷　勝	木村　博
	木村慶憲	黒沼　剛	桑田哲明	高橋美奈
	外崎英継	成田和美	長谷川卓央	花田勝暁
	平山秀直	藤田成保	藤森真悦	松本和春
	三和不二義	山口孝夫	山田善治	和田祐治
	長谷川榮子	平田浩介	三橋あさみ	山内　勝
	秋田谷建幸	齊藤　渡	田中　透	佐々木敬藏
	成田　博	佐藤孝志	野呂　司	天坂昭市
	成田克子	佐々木慶和	平川　豊	山本清秋

参　　与

髙橋作藏　土岐志麻　天内博康　齋藤美鈴
松浦淳　川村仁　奈良陽子　楠美恭寛
笹山和信　三和由　平田昌子　帯川圭太
出町義成　鎌田常芳　赤坂寛　横山英大
鎌田寿　今正行　横内修　岡田正人
木津裕人　舘山新　小野正貴　金谷浩光
千葉康伸　齋藤賢剛　中村敦　白戸高史
大久保綾子　佐藤秀彦　横内信満　大久保文人
木村颯希　土岐政温　奈良英文　今国弘
佐々木正幸　泉宏明　角田毅　太田直樹
遠嶋祥剛　船橋正明　舘山公　髙野雅子
齊藤寿一　佐々木和人　川浪生郎　佐々木崇人
三橋大輔　片山善一朗　古川清彦　平野聡史
山内かおり　鳴海新一　外崎経明　工藤義人
鎌田郁　葛西明仁　川越七重　石岡秀子
佐々木雅規　高橋隆治　小田桐勇人　野呂雅人
工藤康人　倉橋純造　一戸善正　山本知也
前田済　津島淳　諏訪正徳　今井正樹
河野満　井戸端隆雄　中村雅彦　服部一雄
正部家淳司　高橋修一　菅原文子　中嶋與志久
長尾信　川浪泰浩　相馬克典　黒丸健吾
中川伸吾　今卓也　花田惇　髙橋秀親
佐藤健一　盛健一　中村紀徳　白鳥晶司
小形峰雄　工藤智久　大西透信　北畠滋郎
福田真奈美　成田幾末　佐々木重光　森隆
木村重介　乗田孝一　中山佳　長尾篤仁
小林耕正　森靖　杉森晋　神村典孝
坂本十一　津島克正　成田卓哉　斎藤文裕季
川嶋大史　長内明彦　豊嶋弘文　蒔苗元紹
三上保　長谷川靖久　白戸英行　宮重希典
小山内滋　高橋賢　秋田俊　中野拓哉
中田良子　北山聡　石田盛彦　木下保樹
笠島明　荒瀬潔　山平久美子　山中智
石木基夫　畑井英成　谷口幸博　齋藤直人
高橋弘一　岩見幸夫　野呂昌文　松野洋祐
宍倉慎次　中村佐　宮崎忠治　渋谷昭信
田畑俊助　奥静子　小松﨑明　工藤文久
今岡慶三　葛西均　櫛引ユキ子　楠美俊一

	工藤俊治	斉藤　誠	平山洋一	三國ケエ子
	三橋栄蔵	柳澤弘幸	中野　智	天坂春次
	佐々木富雄	工藤和彦	井上　守	小林秀樹
	鹿内信隆	白川喜代美	成田　信	
委員長	國分裕之			
副委員長	田澤康治	中田真紀子	村元宏禎	佐藤公俊
	齋藤達人	春藤裕和	浅水伸之	出町幸太郎
	山口修一			

委員	灰西克博	内藤拓也	荒木絵里香	石塚茂樹
	奥村祐年	鬼頭有紀子	工藤陽子	金野志保
	櫻井由香	實吉冬貴	鈴木国正	諏訪正美
	永田亮子	福井貴裕	松永敬子	柳田将洋
	晴山雅紀	小林祐馬	川浪昇吾	小山内忍
	本郷拓史	白取和也	寺山敏彦	村上誠明
	工藤渉太	大塚英知	寺沢太一	乗松朋博
	佐藤剛大	一條　渉	髙橋洋平	柿崎広美
	川口一仁	小田切亮磨	黒滝昭弘	大久保公雄
	福井　仁	我満真哉	池田　茂	武尾文雄
	久保沢孝志	佐々木　潤	市川敏夫	種市善治
	山本隆悦	松本正広	米内正明	春藤孝弘
	上田純士	畑中次夫	玉田英徳	平山裕那
	今　淳一	松橋　満	佐保美幸	岡本幸剛
	倉光淳仁	工藤巳幸	打谷桂子	

MEMO

総　　則
実　施　要　項

総　　則

下記二次元コードからご確認ください。



実 施 要 項

1 期　日

＜６人制種目＞　２０２６年１０月１１日（日）から１０月１４日（水）まで（４日間）

種　　別	10 月 11 日（日）	10 月 12 日（月）	10 月 13 日（火）	10 月 14 日（水）
成年男子	1　回　戦	準 々 決 勝	５・７位決定戦 準　決　勝	３・４位決定戦 決　　勝
成年女子	1　回　戦	準 々 決 勝	５・７位決定戦 準　決　勝	３・４位決定戦 決　　勝
少年男子	1　回　戦	2　回　戦	準 々 決 勝 ５・７位決定戦 準　決　勝	３・４位決定戦 決　　勝
少年女子	1　回　戦	2　回　戦	準 々 決 勝 ５・７位決定戦 準　決　勝	３・４位決定戦 決　　勝

＜ビーチバレーボール種目＞　２０２６年９月３日（木）から９月６日（日）まで（４日間）

種　　別	９月３日（木）	９月４日（金）	９月５日（土）	９月６日（日）
少年男子	1　回　戦	2　回　戦	準 々 決 勝 準　決　勝	５・７位決定戦 ３・４位決定戦 決　勝　戦
少年女子	1　回　戦	2　回　戦	準 々 決 勝 準　決　勝	５・７位決定戦 ３・４位決定戦 決　勝　戦

2 会　場

＜６人制種目＞　青森市（成年男子・少年男子）　マエダアリーナ
五所川原市　（成年女子）　五所川原市民体育館
つがる市　（少年女子）　伊藤鉱業アリーナつがる

＜ビーチバレーボール種目＞
青森市（少年男子・少年女子）　サンセットビーチあさむし特設会場

3 種別(種目)及び参加人員

種　　別	監　督	選　手	参加都道府県	小　計	合　計
６人制成年男子	1	14	10	150	1,068
６人制成年女子	1	14	10	150	
６人制少年男子	1	12	24	312	
６人制少年女子	1	12	24	312	
ビーチバレーボール少年男子	1	2	24	72	
ビーチバレーボール少年女子	1	2	24	72	

※　同一種目の選手と監督の兼任はできない。

4 競技上の規程及び方法

＜６人制種目＞

(1) 競技規則

2026年度公益財団法人日本バレーボール協会６人制競技規則による。

注１　競技は全試合５セット・マッチとする。ただし、少年男女については、１回戦から準々決勝、５・７位決定戦までを３セット・マッチとする。

注２　少年のネットの高さは、成年と同規定とする。

注３　リベロ・プレイヤー・システムについては、競技規則どおりとする。

(2) 競技方法

各種別ともトーナメント方式とし、３・４位と５・７位決定戦を行う。

(3) チーム名

チーム名は都道府県名とする。ユニフォームのチーム名も都道府県名とし、高等学校名・企業名などのユニフォームの着用を認めない。また、チーム名（ユニフォームへの記載を含む）を「○○選抜」としないこと。

＜ビーチバレーボール種目＞

(1) 競技規則

2026年度公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボール競技規則による。

注　競技は全試合３セット・マッチとする。

(2) 競技方法

各種別ともトーナメント方式とし、３・４位と５・７位決定戦を行う。

(3) チーム名

チーム名は都道府県名とする。ユニフォームのチーム名も都道府県名とし、高等学校名などのユニフォームの着用を認めない。また、チーム名（ユニフォームへの記載を含む）を「○○選抜」としないこと。

5 予選方法

(1) 予選は、都道府県大会及びブロック大会とする。

(2) 都道府県大会は各都道府県協会の主催とし、ブロック大会は所属都道府県協会の共催、開催地協会の主管とする。

(3) ブロック大会の所属都道府県及びその選抜チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	６人制				ビーチバレーボール	
		成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1	1	1
東　北	岩手、宮城、秋田、山形、福島	1	1	3	3	3	3
関　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京神奈川、山梨	1	1	4	4	4	4
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	1	1	2	2	2	2
東　海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	2	2	2	2
近　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	1	1	3	3	3	3
中　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1	1	2	2	2	2
四　国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	2	2	2	2
九　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎鹿児島、沖縄	1	1	4	4	4	4
開催県	青森	1	1	1	1	1	1
計		10	10	24	24	24	24

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるもののほか、次による。

(1) 公益財団法人日本バレーボール協会登録規定により、登録された者で構成されたチームで予選会に出場し、その結果推薦されたものでなければならない。

(2) 監督・選手は６人制種目とビーチバレーボール種目、両方に参加できる。なお、同一種目で異なる種別に参加することはできない。

(3) ブロック大会 及び 本大会に参加するチームは、都道府県 協会が代表として認めた単独チームか選抜チームでなければならない。ただし、チームの構成のいかんにかかわらず、チーム名は都道府県名とする。

注 チーム名（ユニフォームへの記載を含む）を「○○選抜」としないこと。

(4) 予選会（都道府県及びブロック）を通過し、本大会に代表として推薦された監督・選手の追加・変更（競技者番号の変更含む）は認められない。

(5) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ１、 公認バレーボールコーチ２、公認バレーボールコーチ３、公認バレーボールコーチ４の有資格者とする。

注 参加申込みの際は、資格を証明する登録証の写しを添付すること。

(6) ６人制種目に参加するベンチ入りスタッフは、監督１名、他スタッフ２名以内とする。

(7) 本大会に参加する監督・選手は、原則としてブロック大会に出場した監督・選手とし、変更は認められない。

(8) ビーチバレーボール種目の年齢基準は、2008年４月２日から2011年４月１日までに生まれた者が参加できる。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
６人制成年男子 ６人制成年女子 ６人制少年男子 ６人制少年女子 ビーチバレーボール少年男子 ビーチバレーボール少年女子	６人制成年女子 ６人制少年女子 ビーチバレーボール少年女子	６人制種目は１位 40 点、２位 35 点、３位 30 点、４位 25 点、５位（２チーム）各 17.5 点、７位（２チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。 ビーチバレーボール種目は１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位（２チーム）各 10.5 点、７位（２チーム）4.5 点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

(1) 男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に、表彰状を授与する。

(2) 男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

(3) 各種別の第１位から第７位までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

（１） 参加申込みは、下記に従い2026年９月３日(木)午後５時までに行うこと。
ただし、ビーチバレーボールは2026年８月１３日(木)午後５時までに行うこと。

	申　込　先	必　要　書　類
ア	公益財団法人日本スポーツ協会 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12階 TEL 03-6910-5808　FAX 03-6910-5820	ⅰ　参加申込書
イ	公益財団法人日本バレーボール協会 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目30番８号 ダヴィンチ千駄ヶ谷内 TEL 03-5786-2107　FAX03-5786-2109	ⅰ　チーム加入選手一覧 ⅱ　監督の資格を証明する登録証または認定が確認できる書類の写し ⅲ　予選会免除選手申請書（原本）（対象選手がいる場合）
ウ	（６人制成年男子・少年男子） 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会事務局 （青森市経済部　国スポ・障スポ競技課） 〒038-8505 青森県青森市柳川二丁目１番１号 TEL 017-761-4462　FAX 017-761-4489 （６人制成年女子） 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ五所川原市実行委員会事務局 （五所川原市教育委員会　スポーツ振興課） 〒037-8686 青森県五所川原市字布屋町41番地１ TEL 0173-35-2111　FAX 0173-23-4095 （６人制少年女子） 青の煌めきあおもり国スポ・障スポつがる市実行委員会事務局 （つがる市総務部　国スポ・障スポ推進室） 〒038-3138 青森県つがる市木造若緑52番地 TEL 0173-49-1193　FAX 0173-49-1212	ⅰ　チーム加入選手一覧 ⅱ　ふるさと選手制度活用の場合、ふるさと登録による出場選手一覧 ⅲ　監督の資格を証明する登録証又は認定が確認できる書類の写し ⅳ　予選会免除選手申請書の写し（対象選手がいる場合）
	（ビーチバレーボール少年男子・少年女子） 青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会事務局 （青森市経済部　国スポ・障スポ競技課） 〒038-8505 青森県青森市柳川二丁目１番１号 TEL 017-761-4462　FAX 017-761-4489	ⅰ　MRS登録（PDF登録証）の写し ⅱ　監督の資格を証明する登録証又は認定が確認できる書類の写し ⅲ　予選会免除選手申請書の写し（対象選手がいる場合）

注　上記アへの申込みは、所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて締切期限までに申込手続を完了すること。また、上記イ、ウについては、書留郵便又は宅配便により送付すること。

(2)　締切期限以降は、所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

(3)　参加申込締切後の監督・選手の変更は、疫病、傷害、妊娠など、また、公益財団法人日本バレーボール協会が認めた日本代表選手に該当する場合など特別な場合に限り認めるものとし、疫病、傷害、妊娠に該当する場合は診断書を添付する。その届出は代表者会議までとする。

＜提 出 先（交代（変更）届・棄権届・診断書）＞

※原本は「ア　公益財団法人日本バレーボール協会」へ提出

ア　〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目30番８号　ダヴィンチ千駄ヶ谷内
公益財団法人日本バレーボール協会
TEL 03-5786-2107　FAX 03-5786-2109
E-mail　national.events@jva.or.jp

イ　〒030-8570　青森県青森市長島一丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会事務局
（青森県国スポ・障スポ局　競技式典課 競技運営グループ）
TEL 017-734-9771　FAX 017-734-8015
E-mail　aomori2026kyougiunei@pref.aomori.lg.jp

ウ　（６人制成年男子・少年男子）
〒038-8505　青森県青森市柳川二丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会事務局
（青森市経済部　国スポ・障スポ競技課）
TEL 017-761-4462　FAX 017-761-4489
E-mail　volleyball2026@city.aomori.aomori.jp

（６人制成年女子）
〒037-8686　青森県五所川原市字布屋町41番地１
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ五所川原市実行委員会事務局
（五所川原市教育委員会　スポーツ振興課）
TEL 0173-35-2111　FAX 0173-23-4095
E-mail　kokusupo@city.goshogawara.lg.jp

（６人制少年女子）
〒038-3138　青森県つがる市木造若緑52番地
青の煌めきあおもり国スポ・障スポつがる市実行委員会事務局
（つがる市総務部　国スポ・障スポ推進室）
TEL 0173-49-1193　FAX 0173-49-1212
E-mail　volley2026-sanka@city.tsugaru.lg.jp

（ビーチバレーボール少年男子・少年女子）
〒038-8505　青森県青森市柳川二丁目１番１号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ青森市実行委員会事務局
（青森市経済部　国スポ・障スポ競技課）
TEL 017-761-4462　FAX 017-761-4489
E-mail　beachvolleyball2026@city.aomori.aomori.jp

なお、イ、ウについては原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10 参加上の注意

(1) 監督章は、公益財団法人日本バレーボール協会規定のものを用いること。

(2) 監督は、資格を証明する登録証又は認定が確認できる書類の写しを携帯すること。

11 その他

(1) 組合せ抽選会

＜６人制種目＞

日　時　　２０２６年９月６日(日) 午後３時

場　所　　公益財団法人日本バレーボール協会　会議室
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目 30 番８号
ダヴィンチ千駄ヶ谷内　公益財団法人日本バレーボール協会
TEL 03-5786-2107　FAX 03-5786-2109

＜ビーチバレーボール種目＞

日　時　　２０２６年８月１６日(日) 午後１時

場　所　　公益財団法人日本バレーボール協会　会議室
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷一丁目 30 番８号
ダヴィンチ千駄ヶ谷内　公益財団法人日本バレーボール協会
TEL 03-5786-2107　FAX 03-5786-2109

(2) 代表者会議

＜６人制種目＞

日　時　　２０２６年１０月１０日(土) 午後４時００分

場　所　　つがる市生涯学習交流センター「松の館」
〒038-3138 青森県つがる市木造若緑 52 番地
TEL 0173-49-1193　FAX 0173-49-1212

＜ビーチバレーボール種目＞

日　時　　２０２６年９月２日(水) 午後３時３０分

場　所　　青森県総合社会教育センター　大研修室
〒030-0111　青森県青森市大字荒川字藤戸 119 番地７
TEL 017-739-1251　FAX 017-739-2570

注　代表者会議には、両種目とも、チーム代表者が出席すること。

(3) 表彰式

総合表彰式を行わず、成績はホームページに掲載し賞状等は郵送する。

＜６人制種目＞

各会場にて競技終了後、各種別表彰式を行う。

＜ビーチバレーボール種目＞

会場にて競技終了後、各種別表彰式を行う。

MEMO

バレーボール競技日程
組　合　せ　表
練習会場割当表



〔７〕バレーボール競技（６人制）

競 技 日 程

青森市
五所川原市
つがる市

代表者会議	10月10日（土）	16時00分	つがる市生涯学習交流センター「松の館」

諸　会　議			
委員長会議	10月10日（土）	10時30分	つがる市生涯学習交流センター「松の館」
審判研修会 （講義）	10月10日（土）	12時30分	伊藤鉱業アリーナつがる　サブアリーナ
審判研修会 （実技）	10月10日（土）	13時30分	伊藤鉱業アリーナつがる　メインアリーナ
競技研修会	10月10日（土）	13時30分	伊藤鉱業アリーナつがる　サブアリーナ

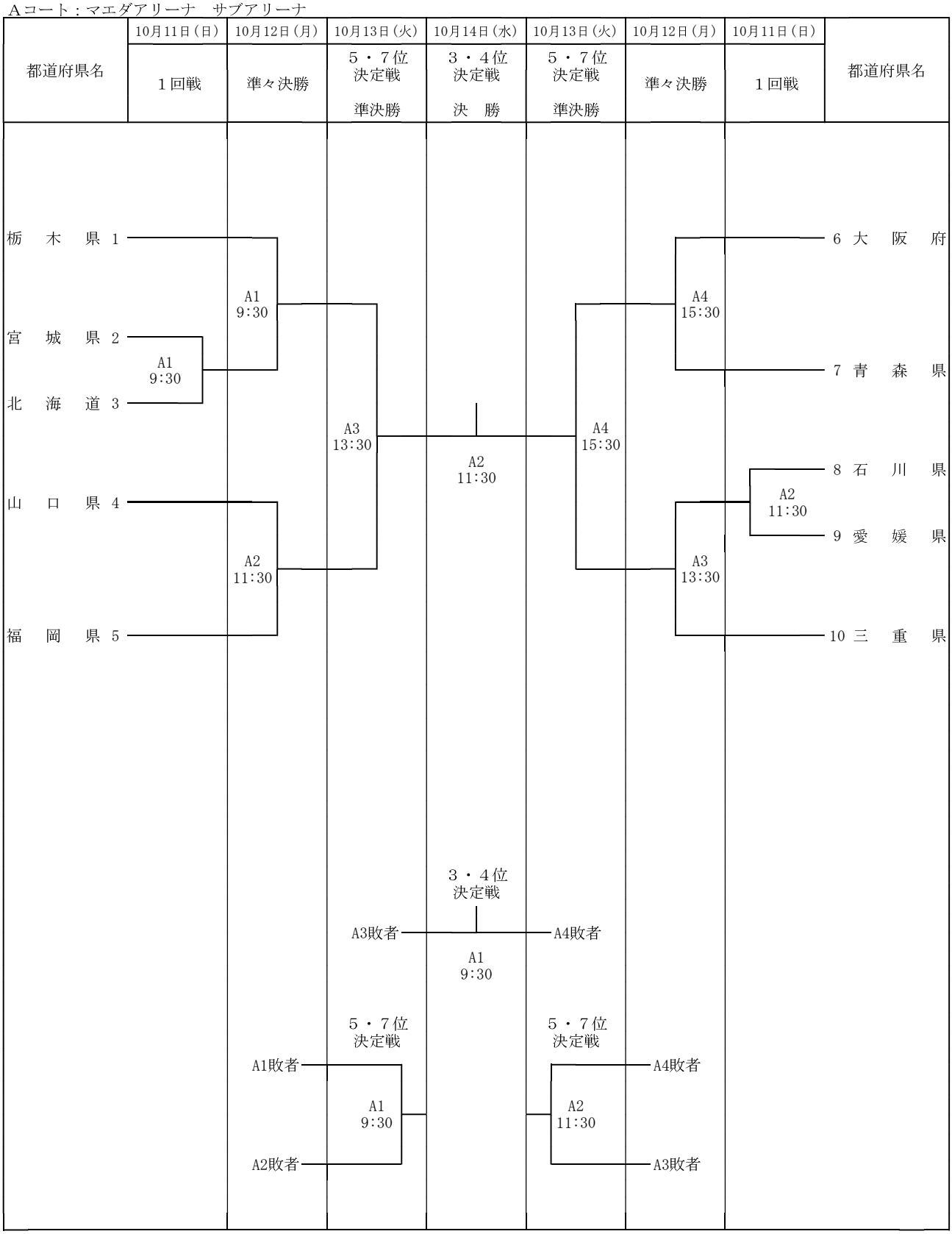
表　彰　式				
成年男子	５・７位表彰 ３・４位、１・２位表彰	10月13日（火） 10月14日（水）	試合終了後	マエダアリーナ サブアリーナ
成年女子	５・７位表彰 ３・４位、１・２位表彰	10月13日（火） 10月14日（水）		五所川原市民体育館
少年男子	５・７位表彰 ３・４位、１・２位表彰	10月13日（火） 10月14日（水）		マエダアリーナ メインアリーナ
少年女子	５・７位表彰 ３・４位、１・２位表彰	10月13日（火） 10月14日（水）		伊藤鉱業アリーナつがる

（注）表彰は、試合終了後コート上で行う。

				10月11日（日）	10月12日（月）	10月13日（火）	10月14日（水）
青森市	マエダアリーナ サブアリーナ	成年男子	A	1回戦（2試合） A１　9:30～ A２　11:30～	準々決勝（4試合） A１　9:30～ A２　11:30～ A３　13:30～ A４　15:30～	5・7位決定戦（2試合） A１　9:30～ A２　11:30～ 準決勝（2試合） A３　13:30～ A４　15:30～	3・4位決定戦（1試合） A１　9:30～ 決勝（1試合） A２　11:30～
五所川原市	五所川原市民体育館	成年女子	B	1回戦（2試合） B１　9:30～ B２　11:30～	準々決勝（4試合） B１　9:30～ B２　11:30～ B３　13:30～ B４　15:30～	5・7位決定戦（2試合） B１　9:30～ B２　11:30～ 準決勝（2試合） B３　13:30～ B４　15:30～	3・4位決定戦（1試合） B１　9:30～ 決勝（1試合） B２　11:30～
青森市	マエダアリーナ メインアリーナ	少年男子	C	1回戦（4試合） C１　9:30～ C２　10:50～ C３　12:10～ C４　13:30～	2回戦（4試合） C１　9:30～ C２　10:50～ C３　12:10～ C４　13:30～	準々決勝（2試合） C１　9:30～ C２　10:50～ 5・7位決定戦（1試合） C３　13:30～ 準決勝（1試合） C４　14:50～	【特設コート】 3・4位決定戦（1試合） 特１　9:30～ 決勝（1試合） 特２　11:30～
			D	1回戦（4試合） D１　9:30～ D２　10:50～ D３　12:10～ D４　13:30～	2回戦（4試合） D１　9:30～ D２　10:50～ D３　12:10～ D４　13:30～	準々決勝（2試合） D１　9:30～ D２　10:50～ 5・7位決定戦（1試合） D３　13:30～ 準決勝（1試合） D４　14:50～	
つがる市	伊藤鉱業アリーナつがる	少年女子	E	1回戦（4試合） E１　9:30～ E２　10:50～ E３　12:10～ E４　13:30～	2回戦（4試合） E１　9:30～ E２　10:50～ E３　12:10～ E４　13:30～	準々決勝（2試合） E１　9:30～ E２　10:50～ 5・7位決定戦（1試合） E３　13:30～ 準決勝（1試合） E４　14:50～	【特設コート】 3・4位決定戦（1試合） 特１　9:30～ 決勝（1試合） 特２　11:30～
			F	1回戦（4試合） F１　9:30～ F２　10:50～ F３　12:10～ F４　13:30～	2回戦（4試合） F１　9:30～ F２　10:50～ F３　12:10～ F４　13:30～	準々決勝（2試合） F１　9:30～ F２　10:50～ 5・7位決定戦（1試合） F３　13:30～ 準決勝（1試合） F４　14:50～	

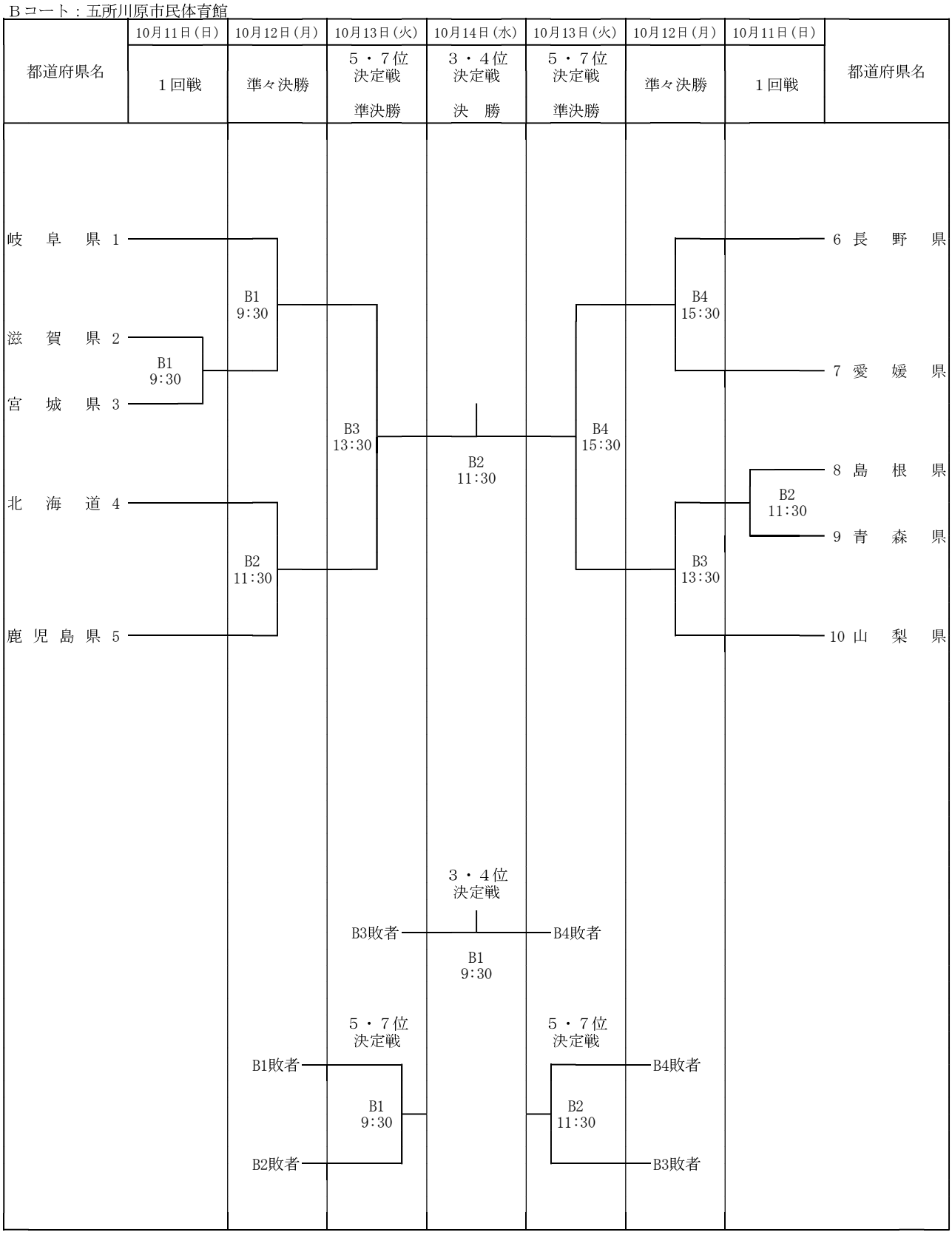
バレーボール競技（6人制種目）組合せ表
【成年男子】

Aコート：マエダアリーナ　サブアリーナ



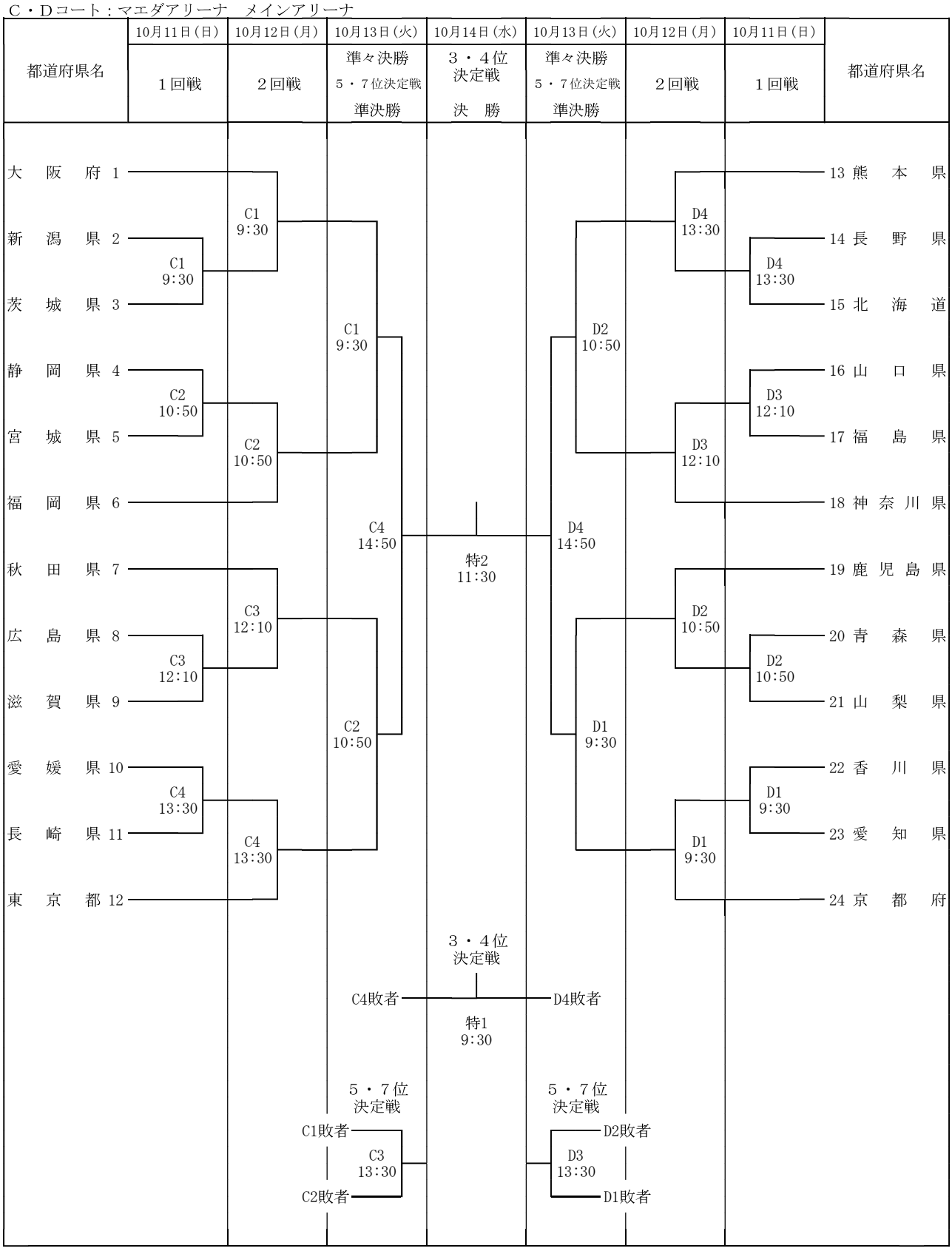
バレーボール競技（6人制種目）組合せ表
【成年女子】

Bコート：五所川原市民体育館



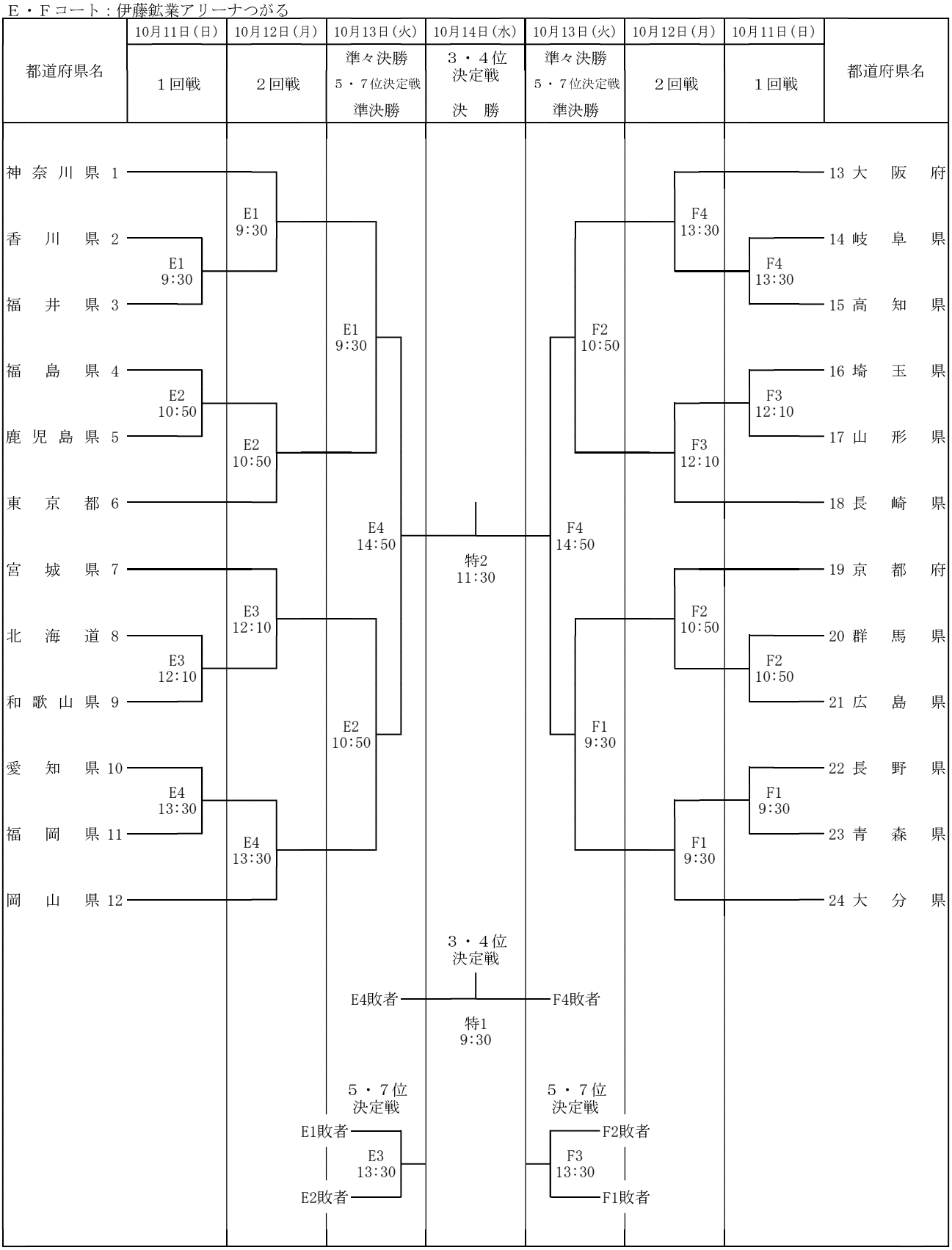
バレーボール競技（6人制種目）組合せ表
【少年男子】

C・Dコート：マエダアリーナ　メインアリーナ



バレーボール競技（6人制種目）組合せ表
【少年女子】

Ｅ・Ｆコート：伊藤鉱業アリーナつがる



バレーボール競技(成年男子)練習会場割当表

10月10日(土) 競技開始前日　　練習時間60分　下段:試合時間

	8:30～9:30	9:30～10:30	10:30～11:30	11:30～12:30	12:30～13:30	16:00～
青森工業高校(A)	宮城県 11日 A1 9:30	石川県 11日 A2 11:30	栃木県 12日 A1 9:30	福岡県 12日 A2 11:30	大阪府 12日 A4 15:30	代表者会議
青森東高校(A)	北海道 11日 A1 9:30	愛媛県 11日 A2 11:30	山口県 12日 A2 11:30	三重県 12日 A3 11:30	青森県 12日 A4 15:30	

10月11日(日) 競技1日目　　練習時間80分　下段:試合時間

	8:30～9:50	9:50～11:10	11:10～12:30	12:30～13:50
青森工業高校(A)	石川県 11日 A2 11:30	栃木県 12日 A1 9:30	福岡県 12日 A2 11:30	大阪府 12日 A4 15:30
青森東高校(A)	愛媛県 11日 A2 11:30	山口県 12日 A2 11:30	三重県 12日 A3 13:30	青森県 12日 A4 15:30

※第1試合のチームは試合会場で練習

10月12日(月) 競技2日目　　練習時間80分　下段:試合時間

	8:30～9:50	10:10～11:30	12:10～13:30
青森工業高校(A)	福岡県 12日 A2 11:30	11日 A2 勝者 12日 A3 13:30	大阪府 12日 A4 15:30
青森東高校(A)	山口県 12日 A2 11:30	三重県 12日 A3 13:30	青森県 12日 A4 15:30

※第1試合のチームは試合会場で練習

10月13日(火) 競技3日目　　練習時間80分　下段:試合時間

	8:30～9:50	10:10～11:30	12:10～13:30
青森工業高校(A)	12日 A4 敗者 13日 A2 11:30	12日 A1 勝者 13日 A3 13:30	12日 A4 勝者 13日 A4 15:30
青森東高校(A)	12日 A3 敗者 13日 A2 11:30	12日 A2 勝者 13日 A3 13:30	12日 A3 勝者 13日 A4 15:30

※第1試合のチームは試合会場で練習

10月14日(水) 競技4日目　　練習時間80分　下段:試合時間

	8:30～9:50
青森工業高校(A)	13日 A3 勝者 14日 A2 11:30
青森東高校(A)	13日 A4 勝者 14日 A2 11:30

※第1試合のチームは試合会場で練習

バレーボール競技（成年女子）練習会場割当表

10月10日（土） 競技開始前日　　練習時間80分　　下段：試合時刻

時間 / 会場	8:30～9:50	10:00～11:20	11:30～12:50	16:00～
五所川原第一中学校Aコート	滋賀県 11日 B1 9:30	岐阜県 12日 B1 9:30	鹿児島県 12日 B2 11:30	代表者会議
五所川原第一中学校Bコート	島根県 11日 B2 11:30	山梨県 12日 B3 13:30		
五所川原工科高等学校Aコート	宮城県 11日 B1 9:30	北海道 12日 B2 11:30	愛媛県 12日 B4 15:30	
五所川原工科高等学校Bコート	青森県 11日 B2 11:30	長野県 12日 B4 15:30		

10月11日（日）競技1日目　　練習時間80分　　下段：試合時刻

時間 / 会場	8:30～9:50	10:10～11:30	12:10～13:30	13:50～15:10
五所川原第一中学校	島根県 11日 B2 11:30	岐阜県 12日 B1 9:30	鹿児島県 12日 B2 11:30	長野県 12日 B4 15:30
五所川原工科高等学校	青森県 11日 B2 11:30	北海道 12日 B2 11:30	山梨県 12日 B3 13:30	愛媛県 12日 B4 15:30

※第1試合の2チームは競技会場で練習

10月12日（月） 競技2日目　　練習時間80分　　下段：試合時刻

時間 / 会場	8:30～9:50	10:10～11:30	12:10～13:30
五所川原第一中学校	北海道 12日 B2 11:30	11日 B2 勝者 12日 B3 13:30	長野県 12日 B4 15:30
五所川原工科高等学校	鹿児島県 12日 B2 11:30	山梨県 12日 B3 13:30	愛媛県 12日 B4 15:30

※第1試合の2チームは競技会場で練習

10月13日（火） 競技3日目　　練習時間80分　　下段：試合時刻

時間 / 会場	8:30～9:50	10:10～11:30	12:10～13:30
五所川原第一中学校	12日 B4 敗者 13日 B2 11:30	12日 B1 勝者 13日 B3 13:30	12日 B3 勝者 13日 B4 15:30
五所川原工科高等学校	12日 B3 敗者 13日 B2 11:30	12日 B2 勝者 13日 B3 13:30	12日 B4 勝者 13日 B4 15:30

※第1試合の2チームは競技会場で練習

10月14日（水） 競技4日目　　練習時間80分　　下段：試合時刻

時間 / 会場	8:30～9:50
五所川原第一中学校	13日 B3 勝者 14日 B2 11:30
五所川原工科高等学校	13日 B4 勝者 14日 B2 11:30

※第1試合の2チームは競技会場で練習

バレーボール競技(少年男子)練習会場割当表

10月10日(土) 競技開始前日　　練習時間60分　下段:試合時間

会場＼時間	8:30～9:30	9:30～10:30	10:30～11:30	11:30～12:30	12:30～13:30	13:30～14:30	16:00～
青森工業高校(B)	新潟県 11日 C1 9:30	静岡県 11日 C2 10:50	広島県 11日 C3 12:10	愛媛県 11日 C4 13:30	大阪府 12日 C1 9:30	秋田県 12日 C3 12:10	代表者会議
青森東高校(B)	香川県 11日 D1 9:30	青森県 11日 D2 10:50	山口県 11日 D3 12:10	長野県 11日 D4 13:30	京都府 12日 D1 9:30	神奈川県 12日 D3 12:10	
青森商業高校(A)	茨城県 11日 C1 9:30	宮城県 11日 C2 10:50	滋賀県 11日 C3 12:10	長崎県 11日 C4 13:30	福岡県 12日 C2 10:50	東京都 12日 C4 13:30	
青森商業高校(B)	愛知県 11日 D1 9:30	山梨県 11日 D2 10:50	福島県 11日 D3 12:10	北海道 11日 D4 13:30	鹿児島県 12日 D2 10:50	熊本県 12日 D4 13:30	

※試合日時が早い方から割当

10月11日(日) 競技1日目　　練習時間80分　下段:試合時間

会場＼時間	8:30～9:50	9:50～11:10	11:10～12:30	12:30～13:50	13:50～15:10
青森工業高校(B)	静岡県 11日 C2 10:50	広島県 11日 C3 12:10	愛媛県 11日 C4 13:30	大阪府 12日 C1 9:30	秋田県 12日 C3 12:10
青森東高校(B)	青森県 11日 D2 10:50	山口県 11日 D3 12:10	長野県 11日 D4 13:30	京都府 12日 D1 9:30	神奈川県 12日 D3 12:10
青森商業高校(A)	宮城県 11日 C2 10:50	滋賀県 11日 C3 12:10	長崎県 11日 C4 13:30	福岡県 12日 C2 10:50	東京都 12日 C4 13:30
青森商業高校(B)	山梨県 11日 D2 10:50	福島県 11日 D3 12:10	北海道 11日 D4 13:30	鹿児島県 12日 D2 10:50	熊本県 12日 D4 13:30

※第1試合のチームは試合会場で練習

10月12日(月) 競技2日目　　練習時間80分　下段:試合時間

会場＼時間	8:30～9:50	9:50～11:10	11:10～12:30
青森工業高校(B)	11日 C2 勝者 12日 C2 10:50	秋田県 12日 C3 12:10	11日 C4 勝者 12日 C4 13:30
青森東高校(B)	11日 D2 勝者 12日 D2 10:50	神奈川県 12日 D3 12:10	11日 D4 勝者 12日 D4 13:30
青森商業高校(A)	福岡県 12日 C2 10:50	11日 C3 勝者 12日 C3 12:10	東京都 12日 C4 13:30
青森商業高校(B)	鹿児島県 12日 D2 10:50	11日 D3 勝者 12日 D3 12:10	熊本県 12日 D4 13:30

※第1試合のチームは試合会場で練習

10月13日(火) 競技3日目　　練習時間80分(但し、11:00以降は60分)　下段:試合時間

会場＼時間	8:30～9:50		11:00～12:00	12:00～13:00
青森工業高校(B)	12日 C3 勝者 13日 C2 10:50		13日 C1 敗者 13日 C3 13:30	13日 C1 勝者 13日 C4 14:50
青森東高校(B)	12日 D3 勝者 13日 D2 10:50		13日 D1 敗者 13日 D3 13:30	13日 D1 勝者 13日 D4 14:50
青森商業高校(A)	12日 C4 勝者 13日 C2 10:50		13日 C2 敗者 13日 C3 13:30	13日 C2 勝者 13日 C4 14:50
青森商業高校(B)	12日 D4 勝者 13日 D2 10:50		13日 D2 敗者 13日 D3 13:30	13日 D2 勝者 13日 D4 14:50

※第1試合のチームは試合会場で練習

10月14日(水) 競技4日目　　練習時間80分　下段:試合時間

会場＼時間	8:30～9:50
青森工業高校(B)	13日 C4 勝者 14日 特2 11:30
青森東高校(B)	13日 D4 勝者 14日 特2 11:30

※第1試合のチームは試合会場で練習

バレーボール競技（少年女子）練習会場割当表

10月10日（土） 競技開始（1日前）　　練習時間80分　　下段：試合時刻

会場＼時間	8:30～9:50	9:50～11:10	11:10～12:30	12:30～13:50	16:00～
木造高等学校A	香川県 11日 E1 9:30	鹿児島県 11日 E2 10:50	愛知県 11日 E4 13:30	東京都 12日 E2 10:50	代表者会議
木造高等学校B	長野県 11日 F1 9:30	広島県 11日 F2 10:50	岐阜県 11日 F4 13:30	京都府 12日 F2 10:50	
木造中学校A	福井県 11日 E1 9:30	北海道 11日 E3 12:10	福岡県 11日 E4 13:30	宮城県 12日 E3 12:10	
木造中学校B	青森県 11日 F1 9:30	埼玉県 11日 F3 12:10	高知県 11日 F4 13:30	長崎県 12日 F3 12:10	
柏総合体育センター	福島県 11日 E2 10:50	和歌山県 11日 E3 12:10	神奈川県 12日 E1 9:30	岡山県 12日 E4 13:30	
稲垣体育館	群馬県 11日 F2 10:50	山形県 11日 F3 12:10	大分県 12日 F1 9:30	大阪府 12日 F4 13:30	

10月11日（日）競技1日目　　練習時間80分　　下段：試合時刻

会場＼時間	8:30～9:50	9:50～11:10	11:10～12:30	12:30～13:50
木造高等学校A	福島県 11日 E2 10:50	北海道 11日 E3 12:10	愛知県 11日 E4 13:30	岡山県 12日 E4 13:30
木造高等学校B	群馬県 11日 F2 10:50	埼玉県 11日 F3 12:10	岐阜県 11日 F4 13:30	大阪府 12日 F4 13:30
木造中学校A	鹿児島県 11日 E2 10:50	和歌山県 11日 E3 12:10	福岡県 11日 E4 13:30	
木造中学校B	広島県 11日 F2 10:50	山形県 11日 F3 12:10	高知県 11日 F4 13:30	
柏総合体育センター	神奈川県 12日 E1 9:30	東京都 12日 E2 10:50	宮城県 12日 E3 12:10	
稲垣体育館	大分県 12日 F1 9:30	京都府 12日 F2 10:50	長崎県 12日 F3 12:10	

10月12日（月） 競技2日目　　練習時間80分　　下段：試合時刻

会場＼時間	8:30～9:50	9:50～11:10	11:10～12:30
木造高等学校A	11日 E2 勝者 12日 E2 10:50	宮城県 12日 E3 12:10	11日 E4 勝者 12日 E4 13:30
木造高等学校B	11日 F2 勝者 12日 F2 10:50	長崎県 12日 F3 12:10	11日 F4 勝者 12日 F4 13:30
木造中学校A	東京都 12日 E2 10:50	11日 F3 勝者 12日 E3 12:10	岡山県 12日 E4 13:30
木造中学校B	京都府 12日 F2 10:50	11日 F3 勝者 12日 F3 12:10	大阪府 12日 F4 13:30

※第1試合のチームは競技会場で練習

10月13日（火） 競技3日目　　練習時間80分（但し、11:00以降は60分）　　下段：試合時刻

会場＼時間	8:30～9:50		11:00～12:00	12:00～13:00
木造高等学校A	12日 E3 勝者 13日 E2 10:50		13日 E1 勝者 13日 E4 14:50	13日 E2 勝者 13日 E4 14:50
木造高等学校B	12日 F3 勝者 13日 F2 10:50		13日 F1 勝者 13日 F4 14:50	13日 F2 勝者 13日 F4 14:50
木造中学校A	12日 E4 勝者 13日 E2 10:50		13日 E1 敗者 13日 E3 13:30	13日 E2 敗者 13日 E3 13:30
木造中学校B	12日 F4 勝者 13日 F2 10:50		13日 F1 敗者 13日 F3 13:30	13日 F2 敗者 13日 F3 13:30

※第1試合のチームは競技会場で練習

10月14日（水） 競技4日目　　練習時間80分　　下段：試合時間

会場＼時間	8:30～9:50
木造高等学校	13日 E4 勝者 14日 特2 11:30
木造中学校	13日 F4 勝者 14日 特2 11:30

※第1試合のチームは競技会場で練習

バレーボール競技の見方
都道府県別参加人数一覧
参加監督・選手一覧

バレーボール競技の見方

バレーボールの歴史

バレーボールは、1895年アメリカ合衆国でウィリアム・G・モルガンによって考案され、ＹＭＣＡを通じて全米各地に、そして世界各国へと伝えられた。今日では、220を越える国々が国際バレーボール連盟（ＦＩＶＢ）に加盟する世界でもメジャーなスポーツとなっている。

わが国には1913年、ＹＭＣＡ体育主事Ｆ・Ｈ・ブラウンによって紹介された。主としてＹＭＣＡを中心に競技は行われていたが、1919年大阪毎日新聞社の主催により女子中学校大会が開催されたのが体育大会にとりあげられたはじめであった。当初わが国では９人制バレーボールが盛んに行われていて、1919年ごろより神戸高商を中心に研究と普及につとめた。そして、1923年には第６回極東オリンピック大会に参加するまでに発展した。

第二次世界大戦後、バレーボール競技は急速に普及、発展し、国民に最も親しまれるスポーツの一つとなった。1951年には国際バレーボール連盟に加盟、９人制に加え６人制も盛んに競技されるようになった。1953年早大の渡米を皮切りに幾多の国際大会に参加するようになり、日本の６人制バレーボールの技術は、長足の進歩をとげ、アジア競技大会、世界選手権大会において輝かしい戦績を収めるに至った。

1964年東京オリンピック大会では、初めてオリンピック正式種目となったバレーボール競技で、全日本女子は大松博文監督の指導の下、金メダルを獲得した。変化球サーブや回転レシーブなどを駆使した「東洋の魔女」の黄金期が訪れ、1968年メキシコ、1972年ミュンヘンの両大会で銀メダル、1976年モントリオール大会では２度目の金メダルに輝いた。だが、1984年ロサンゼルス大会の銅メダル獲得後は順位を落とし続ける不振で、2000年にはシドニー大会で初めて出場権を逃した。しかし、記憶に新しい2012年ロンドン大会では、準々決勝でアジアの強豪中国を破り、準決勝で敗れたものの、３位決定戦で韓国を下し、７大会28年ぶりに銅メダルを獲得した。ネーションズリーグ2025では4位入賞を果たし、世界ランキング上位を維持している。

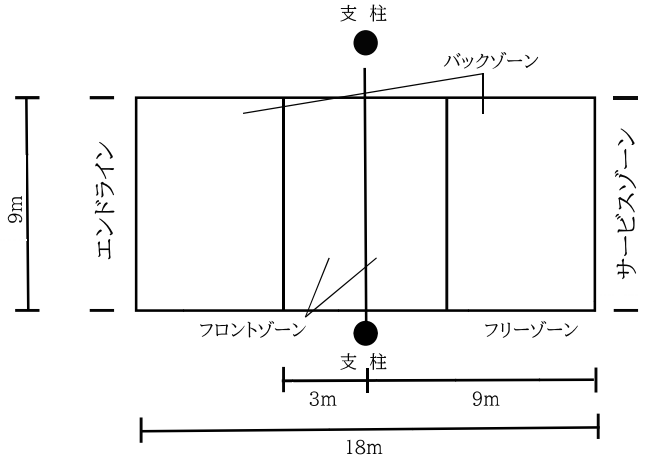
また、全日本男子は東京大会、メキシコ大会、そしてミュンヘン大会では金メダルといった輝かしい成績を収め、時間差攻撃など新しい技術を開発して世界のバレーボールをリードしてきたが、近年北京大会に出場するなど健闘するものの世界との差が広がってしまった。しかし、2019年ワールドカップでは、史上最多の８勝を挙げて実に28年ぶりとなる４位入賞。さらに、ネーションズリーグ2024で本大会最高順位の2位で銀メダルを獲得した。トップレベルのスピードと粘り強さが武器である日本のバレーボールは、男女ともに世界から注目を集めている。

このように今やバレーボールは国民のスポーツとして、その普及にはめざましいものがあり、９人制バレーボールやビーチバレーボール、ソフトバレーボールなど全国各地で盛んにプレーされている。

青の煌めきあおもり国スポでは、青森市、五所川原市、つがる市の３市３会場で、熱戦が繰り広げられ、真の日本一のチームがみなさんの目の前で決まる。その歓喜の瞬間をお見逃しなく。

6人制バレーボールのルール

1 コート



2 ネットの高さ

種 別	男 子	女 子
成 年 の 部	2m43cm	2m24cm
少 年 の 部	2m43cm	2m24cm

3 チームの編成

(1) 第80回国民スポーツ大会バレーボール競技実施要項により、1チームの監督・選手は次のとおりである。

種 別	監督	選手	計
成 年 男 子	1	14	15
成 年 女 子	1	14	15
少 年 男 子	1	12	13
少 年 女 子	1	12	13

(2) 試合は、両チームおのおの 6 名のプレーヤーで行われる。

4 得点を得て、セット・試合に勝つこと

(1) サービス権の有無に関係なく、ラリーに勝った場合にチームは 1 点を得る。

(2) セットは(5セットマッチの最終第5セットを除き)最低2点をリードし、25 点を先取したチームが取る。24－24 の同点になった場合は、2点のリードが得られるまで続く。

(3) 5セットマッチの最終第 5 セットは、最低 2 点をリードし、15 点を先取したチームが取る。14-14 の同点になった場合は、2点のリードが得られるまで続く。

(4) 成年男女は全試合5セットマッチで行う。3セットを先取したチームが試合に勝利する。

(5) 少年男女は3セットマッチで行う。2セットを先取したチームが試合に勝利する。ただし、準決勝、3・4位決定戦、決勝戦は5セットマッチで行われる。

5 競技開始

(1) 両チームはエンドライン(多面コート)、あるいはコート中央(特設 1 面)に整列し、ファーストレフェリーの合図により一礼した後、ネット付近で握手をする。

(2) その後スターティングプレーヤー(各チーム6名)がコートに入る。

3・4位決定戦、決勝戦では、アナウンスにより紹介されたスターティングプレーヤーが1名ずつコートに入る。

(3) サービス権を得たチームの最初のサーバーにより、ボールはファーストレフェリーに許可されたサービスがヒットされた時点でインプレーとなる。

6 インターバルとコートチェンジ

(1) セット間の時間をインターバルという。すべてのインターバルは3分間である。

(2) 各チームが第1セットでどちらのコートに入るかは、試合開始前に両チームキャプテン立ち会いのもとに行うトスによって決める。各セット後コートチェンジする。

(3) 最終セットでは、どちらかのチームが8点(5セットマッチ)、あるいは13点 (3セットマッチ)に達したときにコートチェンジする。

7 ボールをプレーすること

(1) インプレー中の選手によるボールへの接触を「ヒット」という。
チームは、返球のため最大3回のヒット(ブロックに加えて)が許される。

(2) ボールは、身体のどの部分で触れてもよい。(足や脚や頭でもよい)

8 ボールをプレーするときの反則

(1) フォアヒット:チームが返球する前に、ボールを4回ヒットすること。
ただし、ブロックの接触はチームヒットの回数に数えない。

(2) アシステッドヒット:チームメイトまたは構造物・物体からの助けを得ること。

(3) キャッチ:ボールをつかむ、または投げること。
この場合、ボールはヒット後、接触しているところから離れない。

(4) ダブルコンタクト:1人の選手が連続してボールを２回ヒットすること。またはボールが 1人の選手の身体の様々な部分に連続して触れること。ただし、チームの最初のヒットでは、1つの動作中であれば、ボールは身体の様々な部分に連続して接触してもよい。

9 サービス

(1) サービスとは、自らトスしたボールを片方の手(腕)で打ち、ネットを越えて相手コートに送るプレーである。サービスが打たれた時点でインプレーとなる。

(2) サービスのトスは、1回だけ許される。(やり直しは認められない)

(3) サービス許可のホイッスルの後、8秒以内にボールをヒットしなければならない。

(4) サービスボールがネットに触れて相手コートに入っても反則にはならない。

(5) 選手は、セット開始前にチームが提出したラインアップシートに記入されたサービス順に従わなくてはならない。

(6) 第1セット、最終セットで最初にサービスするチームは、両チームキャプテンの立ち会いのもとに行うコイントスによって決める。他のセットは、直前のセットで最初のサービスを打たなかったチームのサービスにより開始される。

10 アタックヒットの反則

(1)バックプレーヤー(後衛)が、フロントゾーン内でネット上端よりも完全に高い位置にあるボールをアタックヒットして完了したとき、反則となる。ただし、バックゾーンから踏み切ってアタックヒットを完了したときは、反則とはならない。

(2)自チームのフロントゾーン内にいるリベロが指を使ったオーバーハンドパスで上げたボールを、他の選手がネット上端より高い位置でアタックヒットを完了したとき、反則となる。

11 ブロック

（1） ブロックとは、選手がネット上端より高い位置で、相手チームから来るボールをネット近くで阻止する動作のことである。

（2） フロントプレーヤー（前衛）だけがブロックを完了することができる。

ブロックでは、相手チームのプレーを妨害しない限り、選手は手や腕をネットを越えて（相手空間内に）伸ばしてボールに触れてもよい。

12 タッチネット（ネットに接触する反則）

（1） ボールをプレーする動作中の選手による両アンテナ間の接触は反則である。

ボールをプレーする動作の中には、（主に）踏み切りからヒット（またはプレーの試み）と安定した着地、新たな動作への準備が含まれる。

（2） 相手チームのプレーを妨害しない限り、選手は支柱、ロープ、またはアンテナの外側にあるネットや他の物体に触れてもよい。

（3） ボールがネットにかかり、その反動でネットが選手に触れても、反則ではない。

13 ペネトレーションフォルト（相手コートへ侵入する反則）

（1） 選手の片方の足（両足）が相手コートに完全に侵入したとき、反則となる。

（2） 片方の足（両足）の一部がセンターラインに触れているか、センターライン真上の空間にあれば、その足（両足）は相手コートに触れてもよい。

（3） 相手のプレーを妨害しない限り、足首より上の身体のどの部分が相手コートに触れてもよい。

14 オーバーネット（ネットの向こう側に手を伸ばす反則）

（1） 相手チームのアタックヒットの前に、選手が相手空間でボールもしくは相手選手に触れたとき、反則となる。

（2） ブロックでは、相手チームのプレーを妨害しない限り、選手は手と腕をネットを越えて伸ばしてもよい。

15 ポジショナルフォルト（ポジションの反則）

（1） サービスが打たれた瞬間、両チームの選手は（サーバーを除き）それぞれのコート内に位置していなければならない。レシービングチームの選手はサービスヒット時、ローテーションの順に位置していなければならない。

サービングチームの選手はサービスヒット時、どの位置にいてもよい。

（2） ポジションの反則は、選手のコート面に接している両足の位置により決定される。

（3） サービスが打たれた後、選手は自チームのコートとフリーゾーンのどの位置にいても、移動してもよい。

16 タイムアウト

（1） 各チームは、1セットにつき2回までのタイムアウトを要求することができる。

（2） ボールがアウトオブプレーでサービスのホイッスルの前に、監督がハンドシグナルを示して要求する。チームの要求によるすべてのタイムアウトは 30 秒間である。

17 選手交代（サブスティチューション）

（1） 各チームは、1セットにつき6回までの選手交代を要求することができる。

（2） 交代選手がアウトオブプレー中に、選手交代ゾーン（センターラインからアタックラインまでのベンチサイド）に入って要求する。

（3） スターティングラインアップの選手は、1セットにつき1回だけ交代によりコートを離れることができ、また1セットにつき1回だけ、元のポジションに限り、戻ることができる。
（4） 交代選手は、1セットにつき1回だけスターティングラインアップの選手と交代し、試合に出ることができる。ベンチに戻る場合は、先に交代したスターティングラインアップの選手とだけ代わることができる。

18 リベロ

（1） 各チームは、守備専門の選手であるリベロを2人まで指名することができる。
（2） 試合中、いかなるときでもコートに立てるのは、1人のリベロだけである。
（3） リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。
（4） リベロは、バック（後衛）のポジションのどの選手とも入れ替わることができる。
リベロの入れ替えは通常の選手交代には数えず、回数に制限はない。
（5） リベロは、バックプレーヤーとしてのみプレーすることができ、いかなる場所からでも、ボール全体がネット上端より高い位置にあるときは、攻撃することが許されない。

【バレーボール用語】

【ポジション編】

アウトサイドヒッター（OH）：主にレフトやライトからスパイク攻撃をするプレーヤーのこと。
ミドルブロッカー（MB）：センターのポジションでブロックとクイックやブロード攻撃の役割を担うプレーヤー
オポジット（OP）：セッターの対角にいるスパイカーのこと。後衛でも攻撃に参加するため守備には参加しない
セッター（S）：おもにトスを上げる役割を持つプレーヤー
リベロ（L）：守備専門の選手のこと。他の選手と違う色のユニフォームを着ている。

【プレー編】

レセプション：一般にサーブレシーブといわれており、相手チームのサーブを受ける動作のこと。
ディグ：サーブ以外の相手チームからのスパイクやフェイント等の返球に対する 1 本目のレシーブのこと。
リリーフサーバー：試合途中にコートに入るサーバー。試合の流れを変えるために投入される。

バレーボール競技の特性

バレーボールは、ネットによって分けられたコート上で、2つのチームにより行われるスポーツである。すべての人々に幅広く試合を提供できるように、特有の状況に応じた様々な様式がある。

試合の目標は、相手コートにボールを落とすために、ネットを越してボールを送ること、そして相手チームの同様な努力を阻止することである。チームは、返球するために、ボールを3回打つ（ブロックの接触に加えて）ことが出来る。

ボールは、サーバーが、ネットを越えて相手コートへ打つサービスによって、インプレー状態になる。ラリーは、ボールがコートに落ちるか、ボール”アウト”になるか、又は正しく返球できなくなるまで続けられる。

バレーボールでは、それぞれのラリーに勝つと得点を得る（ラリーポイント方式）。レシーブチームがラリーに勝った場合は、得点とサービス権を得て、そのチームの選手は、時計回りに1つずつポジションを移動する。



都道府県別参加人数一覧

地　区	番号	都道府県	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	ﾋﾞｰﾁﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ 少年男子	ﾋﾞｰﾁﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ 少年女子	合　計
北海道	1	北海道	15	15	13	13	3	3	62
東北	2	青森県	15	15	13	13	3	3	62
	3	岩手県					3	3	6
	4	宮城県	15	13	13	13	3	3	60
	5	秋田県			13				13
	6	山形県				13		3	16
	7	福島県			13	13	3		29
関東	8	茨城県			13			3	16
	9	栃木県	13				3		16
	10	群馬県				13		3	16
	11	埼玉県				13	3	3	19
	12	千葉県					3		3
	13	東京都			13	13		3	29
	14	神奈川県			13	13			26
	15	山梨県		15	13		3		31
北信越	16	新潟県			13		3		16
	17	長野県		15	13	13		3	44
	18	富山県					3	3	6
	19	石川県	15						15
	20	福井県				13			13
東海	21	静岡県			13			3	16
	22	愛知県			13	13	3	3	32
	23	三重県	15						15
	24	岐阜県		15		13	3		31
近畿	25	滋賀県		15	13		3		31
	26	京都府			13	13		3	29
	27	大阪府	15		13	13	3	3	47
	28	兵庫県						3	3
	29	奈良県							0
	30	和歌山県				13	3		16
中国	31	鳥取県					3	3	6
	32	島根県		15					15
	33	岡山県				13	3	3	19
	34	広島県			13	13			26
	35	山口県	15		13				28
四国	36	香川県			13	13	3		29
	37	徳島県							0
	38	愛媛県	15	15	13		3	3	49
	39	高知県				13		3	16
九州	40	福岡県	15		13	13	3	3	47
	41	佐賀県					3		3
	42	長崎県			13	13		3	29
	43	熊本県			13			3	16
	44	大分県				13			13
	45	宮崎県						3	3
	46	鹿児島県		15	13	13	3		44
	47	沖縄県					3		3
合計			148	148	312	312	72	72	1,064

参加監督・選手一覧
（成年男子）

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

北海道

監督	青島　賢司			札幌市立義務教育学校福移学園(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	須藤和希	175	26	株式会社なの花北海道
2	奥山永己	178	23	北海道運搬機株式会社
3	東藤大悟	180	28	札幌市立手稲東中学校(教)
4	米村恒輝	185	26	不動木材株式会社
5	大竹優稀	180	29	株式会社エスライン
7	奥田基嗣	187	32	橋本総業株式会社
8	藤倉歩樹	183	25	札幌市立北野台中学校(教)
9	岩渕琉太	170	22	株式会社出光プランテック北海道
10	田垣遼大	177	21	専修大学
14	沓澤大地	185	20	専修大学
6	佐藤陸善	180	28	株式会社菊地
11	丹治伶耶	171	23	札幌市消防局
12	中林一真	185	27	アイロード株式会社
13	寺山大生	183	22	北ガスフレアスト株式会社

青森県

監督	小田桐　亮磨			青森県立青森第一養護学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	山口拓也	175	34	ブランデュー弘前
2	鳴海魁馬	190	21	東海大学
3	三浦拓人	188	19	名城大学
4	種市耕己	185	22	ブランデュー弘前
5	佐藤空雅	185	22	ブランデュー弘前
6	有馬佑太	184	30	ブランデュー弘前
7	澤頭俊縁	180	21	亜細亜大学
8	菊池建	183	21	八戸工業大学
9	武田来夢	182	22	ブランデュー弘前
10	岡本知也	185	23	富士通カワサキレッドスピリッツ
11	桑村拳也	180	30	五所川原アスリートクラブ
12	春藤洸介	185	27	ブランデュー弘前
13	山内蘭真	170	21	ブランデュー弘前
14	千田莉夢	170	19	八戸工業大学

宮城県

監督	石丸出穂			仙台大学(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	相澤裕真	170	21	仙台大学
2	佐藤颯太	193	21	仙台大学
3	小林祐太	190	20	仙台大学
4	齋藤洸太	185	20	仙台大学
5	本田隼士	183	20	仙台大学
6	室颯太朗	182	20	仙台大学
7	山内拓也	180	20	仙台大学
8	大浦悠	178	20	仙台大学
9	佐藤柊也	178	20	仙台大学
10	土岐大成	181	19	仙台大学
11	太田暖人	165	20	仙台大学
12	吉田拓真	167	19	仙台大学
13	木村悠聖	183	19	仙台大学
14	佐藤大志	188	18	仙台大学

栃木県

監督	河野裕輔			レーヴィス栃木
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
1	架谷也斗	183	26	レーヴィス栃木
②	十文字龍翔	191	27	レーヴィス栃木
3	タナカ ショーン 力	180	27	レーヴィス栃木
4	山﨑仁	185	24	レーヴィス栃木
5	萬羽柊哉	170	25	レーヴィス栃木
6	森﨑健史	186	33	レーヴィス栃木
8	荒木田光一	192	26	レーヴィス栃木
9	渡邊優真	190	22	レーヴィス栃木
10	赤川尚暉	173	26	レーヴィス栃木
11	安達希音	174	22	レーヴィス栃木
12	髙附雄大郎	174	23	レーヴィス栃木
13	奥村航	191	35	レーヴィス栃木

参加監督・選手一覧
(成年男子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

石川県

監督	石田　和重			星稜高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
1	波佐間　泰平	184	28	信州ブリリアントアリーズ
2	宮本　優羽	180	21	立正大学
③	小松　隼太	185	25	金沢教員クラブ
4	越中　秀地	186	19	立正大学
6	米澤　琉治	186	22	スカイロケッツ秋田
7	森田　凌雅	185	27	石川県バレーボール協会
8	瀧田　大輔	178	27	金沢教員クラブ
10	角田　空翔	172	19	龍谷大学
11	佐藤　銀汰	184	19	桃山学院大学
12	増田　誠也	170	37	金沢教員クラブ
14	竹田　智貴	175	26	金沢教員クラブ
15	上田　哲平	180	22	金沢教員クラブ
18	中村　晃輔	184	23	石川県バレーボール協会
19	道井　淳平	197	28	金沢教員クラブ

三重県

監督	亀田　吉彦			昭和四日市石油株式会社四日市製油所
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	鳴海　宏太	182	26	コスモテクノ四日市株式会社
2	橋本　拓磨	171	23	三重県立特別支援学校 西日野にじ学園(教)
3	平田　和聖	180	23	岡三証券株式会社
4	新山　輝	183	22	株式会社エルテックス
5	内本　歩夢	166	24	コスモルブサービス株式会社
6	中村　有晴	174	24	水ｉｎｇＡＭ株式会社
7	白井　康靖	181	22	三重県立特別支援学校 西日野にじ学園(教)
8	森垣　拓真	184	27	四日市市役所
10	髙橋　堅斗	192	23	株式会社サイトウ工研
9	工藤　築	186	22	東京海上日動パートナーズ三重支店四日市支社
11	端　滉也	188	25	コスモテクノ四日市株式会社
12	永島　雄大	190	23	ジャパンマテリアル株式会社
13	森垣　陸	188	24	株式会社エルテックス
14	本部　翔太	190	24	スーパーサンシ株式会社

大阪府

監督	荒川　憲弘			近畿大学附属高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
1	阿雲　竜太郎	203	21	近畿大学
2	秦　健太郎	193	21	近畿大学
3	川野　誠和	193	21	近畿大学
4	大鍋　勇馬	193	20	近畿大学
5	下桝　登二朗	189	20	近畿大学
7	寺林　和博	188	20	近畿大学
8	尾﨑　亮太	187	18	近畿大学
9	安田　成希	185	19	近畿大学
⑩	三杉　遥	185	21	近畿大学
12	北野　泰生	178	19	近畿大学
13	本田　琥生	177	19	近畿大学
14	中武　詩	180	19	近畿大学
16	小瀬　維都	170	19	近畿大学
17	池田　章	186	18	近畿大学

山口県

監督	小林　尚登			東亜大学（教）
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	永見　琳	184	21	東亜大学
2	首藤　柚希	178	19	東亜大学
3	福井　健太	189	21	東亜大学
4	村上　宙永	196	19	東亜大学
5	今泉　遥斗	184	19	東亜大学
6	川原　大虎	175	19	東亜大学
7	金城　哉汰	173	19	東亜大学
8	廣川　怜也	174	19	東亜大学
9	山本　澪	188	19	東亜大学
10	澤村　楓真	182	18	東亜大学
11	松井　優有	172	19	東亜大学
12	兼武　壮羽	185	19	東亜大学
13	前島　健里	177	20	東亜大学
14	川村　柳正	182	18	東亜大学

参加監督・選手一覧
（成年男子）

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

愛媛県

監督	石丸　直司			愛媛県立松山北高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	萩山　祥太	178	31	愛媛県立みなら特別支援学校(教)
2	中越　敬大	174	22	株式会社鍋ゴム
3	井戸　響	193	21	大阪産業大学
4	白川　玲	184	22	株式会社アイ・エヌ・エス
5	鈴木　秀太	180	18	関西福祉大学
6	久保田　雄	182	22	森實運輸株式会社
7	稲葉　涼太	178	24	愛媛県立八幡浜高等学校(教)
8	大西　祥太	188	33	愛媛県立宇和特別支援学校(教)
9	竹田　成矢	180	27	ダイオーエンジニアリング株式会社
10	栗山　弥葵	180	20	大阪産業大学
11	増井　総二郎	181	18	立命館大学
12	大本　汐音	186	27	株式会社大本鉄筋
13	丹生谷　一旭	173	37	愛媛大学附属特別支援学校(教)
14	大野　将貴	167	27	株式会社四電工

福岡県

監督	山口　嗣之			西日本工業大学(職)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	福元　浩太郎	180	27	ＪＦＥ西日本
2	山下　晃	180	25	ヴィアティン三重･四日市
3	山田　美雄	180	22	ヴィアティン三重･四日市
4	古賀　健太	188	28	無所属
5	井上　琉聖	165	22	無所属
6	照屋　舜	183	19	立命館大学
7	中村　玲央	195	19	慶応義塾大学
8	西村　彪馬	171	21	西日本工業大学
9	山下　天舞	177	21	西日本工業大学
10	山崎　友暉	168	21	西日本工業大学
11	塚原　和弥	180	21	西日本工業大学
12	嵯峨　慎人	174	20	西日本工業大学
13	道崎　天斗	168	20	西日本工業大学
14	竹内　琥太郎	181	19	西日本工業大学

参加監督・選手一覧
（成年女子）

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

北海道

監督	後藤　優介			アルテミス北海道
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	廣瀬未佳	168	26	アルテミス北海道
2	青木優	162	22	アルテミス北海道
3	杉山由奈	172	22	アルテミス北海道
4	渡邉優	171	29	アルテミス北海道
5	野口茜	172	23	アルテミス北海道
6	辻桃奈	168	22	アルテミス北海道
7	山田菜那光	172	24	アルテミス北海道
8	榎園紗和	162	23	アルテミス北海道
9	古野愛心	172	22	アルテミス北海道
10	丸山桐果	173	20	アルテミス北海道
11	長尾のどか	165	27	アルテミス北海道
12	久保花音	163	20	アルテミス北海道
13	三反畑奈々星	165	22	アルテミス北海道
14	鳥本香琳	163	23	アルテミス北海道

青森県

監督	山本　奨			青森ＢＬＯＯＭ
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	野呂加南子	173	25	青森ＢＬＯＯＭ
2	宮地佳乃	177	24	青森ＢＬＯＯＭ
3	大野果歩	182	33	青森ＢＬＯＯＭ
4	山田美花	174	32	青森ＢＬＯＯＭ
5	境紗里奈	164	28	青森ＢＬＯＯＭ
6	川村咲貴	175	24	青森ＢＬＯＯＭ
7	帯川葵	164	27	青森ＢＬＯＯＭ
8	及川彩那	169	25	青森ＢＬＯＯＭ
9	森川寛叶	164	25	青森ＢＬＯＯＭ
10	中塩小雪	170	23	青森ＢＬＯＯＭ
11	上沢沙織	183	24	リガーレ仙台
12	堀川莉緒	172	23	青森ＢＬＯＯＭ
13	小山内瑞貴	156	24	青森ＢＬＯＯＭ
14	野崎優里佳	178	32	青森ＢＬＯＯＭ

宮城県

監督	松田　健太郎			東北福祉大学(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	吉村結	158	21	東北福祉大学
4	平野空	164	21	東北福祉大学
3	横田夏音	171	20	東北福祉大学
9	北堀未森	163	19	東北福祉大学
7	杉尾華	168	19	東北福祉大学
12	谷中聖菜	163	19	東北福祉大学
11	菅原百音	167	19	東北福祉大学
6	浦田朋佳	166	18	東北福祉大学
2	小野姫花	171	18	東北福祉大学
5	工藤紗莉依	162	18	東北福祉大学
8	津藤遥	161	18	東北福祉大学
10	長谷川めぐ	165	18	東北福祉大学

山梨県

監督	辻　知恵			株式会社山梨中央銀行
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
1	山田栞奈	177	25	株式会社山梨中央銀行
2	北原彩夏	171	22	株式会社山梨中央銀行
3	姫野来実	163	31	株式会社山梨中央銀行
4	黒岩瑶	178	22	株式会社山梨中央銀行
5	桃田紗希	170	22	株式会社山梨中央銀行
6	黒岩かのん	169	26	株式会社山梨中央銀行
9	唐川愛璃	163	29	株式会社山梨中央銀行
10	河井楓佳	171	26	株式会社山梨中央銀行
11	遠藤葵	169	21	株式会社山梨中央銀行
⑫	中村好花	175	27	株式会社山梨中央銀行
13	深町菜月	162	19	株式会社山梨中央銀行
14	川渕のん	165	20	株式会社山梨中央銀行
15	坂田愛子	168	18	株式会社山梨中央銀行
16	内澤璃々	158	18	株式会社山梨中央銀行

参加監督・選手一覧
（成年女子）

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

長野県

監督	川久保　忍			株式会社薗部技研
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	渡邊　あやか	171	31	長野市立北部中学校(教)
2	清水　千彬	162	33	JA長野厚生連 長野松代総合病院
3	茨木　瑞季	170	32	アズビル太信株式会社
5	矢野　亜未	162	32	株式会社信電舎
4	小池　清美	175	28	セイコーエプソン株式会社
9	水沢　柚	164	28	学校法人長野日本大学高等学校（教）
7	降幡　幸奈	163	27	信学会長野北幼稚園
10	藤澤　慧	165	25	長野県信用金庫
8	川久保　桃花	170	24	株式会社ヨネクボ
11	西澤　麗	172	24	アートセッティングデリバリー株式会社
6	西原　桃香	170	23	株式会社ニットー
12	五味　さら	176	23	株式会社牛越製作所
13	山岸　優月	160	23	ながの農協
14	鈴木　菜々香	174	18	東京都市大学塩尻高等学校

岐阜県

監督	南谷　武司			株式会社岐阜リオレーナ
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
1	森　愛可	166	23	ぎふ農業協同組合
2	内田　千晴	166	22	ぎふ農業協同組合
3	倉嶋　くるみ	172	22	ぎふ農業協同組合
4	石﨑　愛香	170	23	ぎふ農業協同組合
5	古屋　七夕	164	23	ぎふ農業協同組合
6	山本　裕香	170	33	ぎふ農業協同組合
7	西辻　陽南	157	22	ぎふ農業協同組合
8	那須　彩香	180	24	ぎふ農業協同組合
9	中尾　千尋	162	25	ぎふ農業協同組合
10	髙石　明美	171	27	ぎふ農業協同組合
11	髙澤　理子	167	23	ぎふ農業協同組合
⑫	水野　梨加	172	25	ぎふ農業協同組合
13	佐藤　麗奈	172	25	ぎふ農業協同組合
14	北山　佳月	173	24	ぎふ農業協同組合

滋賀県

監督	川島　基			びわこ成蹊スポーツ大学(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	繁田　香春	163	21	びわこ成蹊スポーツ大学
4	長岡　菜月	171	21	びわこ成蹊スポーツ大学
7	田谷　純菜	159	18	びわこ成蹊スポーツ大学
8	野田　唯加	161	18	びわこ成蹊スポーツ大学
10	南　桃花	168	20	びわこ成蹊スポーツ大学
12	下石　珠由	175	19	びわこ成蹊スポーツ大学
13	一宮　優和	154	19	びわこ成蹊スポーツ大学
14	谷口　凜	156	20	同志社大学
6	矢部　晃	163	20	兵庫大学
5	矢部　明	170	21	兵庫県立大学
9	立花　紗季	156	21	天理大学
3	井上　采香	166	21	神戸学院大学
2	上田　萌果	173	21	神戸学院大学
11	八木　千奈美	163	19	兵庫大学

島根県

監督	中谷　壮志			出雲市立平田中学校（教）
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	山﨑　知優	167	26	社会福祉法人荘原福祉会東部保育園
2	古藤　愛理	174	24	島根県立隠岐島前高等学校(教)
4	伊藤　麻耶	167	26	出雲市立直江保育所
5	持田　実咲	170	22	社会福祉法人農心会 カラフルデイサービスセンター
6	高木　真子	170	19	出雲医療看護専門学校
8	伊達山　紗来	170	22	社会福祉法人こうほうえん
9	部田　光	170	21	社会福祉法人仁多福祉会阿井保育所
10	川谷　心乃	161	22	松江赤十字病院
13	三加茂　あかり	168	20	島根大学
12	西村　美幸	158	19	園田学園大学
3	御神本　心晴	173	19	園田学園大学
14	石田　恵	171	18	関西福祉大学
11	林　桜子	156	19	関西福祉大学
7	野津　心	171	21	流通科学大学

参加監督・選手一覧
（成年女子）

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

愛媛県

監督	伊　藤　真　弓			(株)フジ･スポーツ＆フィットネス
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　　属
①	日　野　美　里	180	24	松山市立雄新中学校(教)
2	五　頭　朋　佳	165	25	社会福祉法人愛媛慈恵会
3	田　中　心　温	171	18	松　山　大　学
4	田　井　美　月	167	19	河原医療福祉専門学校
5	古　川　珠　菜	167	26	ALSOK愛媛株式会社
6	井　上　雛　里	171	24	愛 媛 県 警 察 学 校
7	藤　田　　晴	166	23	愛媛県立松山南高等学校(教)
8	池　田　ひなた	163	21	松 山 東 雲 女 子 大 学
9	小　松　加　奈	167	19	松 山 東 雲 女 子 大 学
10	加　納　ひより	161	23	伊　予　銀　行
11	上　谷　心　愛	166	22	フジにじいろ保育園
12	永　野　妃　那	166	24	住友生命保険相互会社
13	井　上　媛　可	159	24	株式会社ＭｏｆｕＦｉｌｍ
14	丹　　唯珠羽	155	21	松 山 東 雲 女 子 大 学

鹿児島県

監督	濱　田　幸　二			鹿　屋　体　育　大　学(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　　属
①	天　野　　恋	170	21	鹿　屋　体　育　大　学
2	小牟田　実　温	165	21	鹿　屋　体　育　大　学
3	小　山　莉　央	174	20	鹿　屋　体　育　大　学
4	髙　倉　桜　和	166	20	鹿　屋　体　育　大　学
5	山　田　帆乃香	180	19	鹿　屋　体　育　大　学
6	若　松　真　央	174	19	鹿　屋　体　育　大　学
7	光　井　結　菜	159	19	鹿　屋　体　育　大　学
8	森　川　仁　湖	173	19	鹿　屋　体　育　大　学
9	二　石　み　ゆ	175	18	鹿　屋　体　育　大　学
10	木　村　響　稀	165	19	鹿　屋　体　育　大　学
11	渡　邊　文　乃	170	18	鹿　屋　体　育　大　学
12	福　元　遥　奈	160	19	鹿　屋　体　育　大　学
13	山　下　凛　華	170	18	鹿　屋　体　育　大　学
14	木　築　紗　良	169	18	鹿　屋　体　育　大　学

参加監督・選手一覧
(少年男子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

北海道

監督	山内隆宏			北海高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	三谷 南々斗	185	17	札幌大谷高等学校
2	金津 獅勇	190	17	東海大学付属札幌高等学校
3	川口 隼和	190	17	北海道科学大学高等学校
4	橋本 宗太	190	16	東海大学付属札幌高等学校
5	小西出 隼翔	185	15	札幌大谷高等学校
6	兼田 創右	185	15	東海大学付属札幌高等学校
7	櫻庭 瞬貴	183	17	札幌大谷高等学校
8	吉田 昂平	182	17	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
9	清水 隆臣	182	15	東海大学付属札幌高等学校
10	小塚 響	181	17	北海高等学校
11	丸山 紘弥	180	17	北海道科学大学高等学校
12	後藤 一汰朗	177	17	東海大学付属札幌高等学校

青森県

監督	春藤裕和			青森県立弘前工業高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	一戸 汰希虎	167	17	青森県立弘前工業高等学校
2	三浦 孔志郎	185	17	青森県立弘前工業高等学校
3	城前 圭郁	182	17	青森県立弘前工業高等学校
4	花田 逸綺	175	17	青森県立弘前工業高等学校
5	三橋 圭	170	16	青森県立弘前工業高等学校
6	蛯名 憧成	175	16	青森県立弘前工業高等学校
7	山本 玄騎	187	17	青森県立弘前工業高等学校
8	佐藤 琉惺	165	17	青森県立弘前工業高等学校
9	栗山 優音	175	16	青森県立弘前工業高等学校
10	小野 倖大朗	176	16	青森県立青森工業高等学校
11	杉野森 塑生	182	16	青森県立五所川原工科高等学校
12	真野 楓叶	184	15	青森県立弘前工業高等学校

宮城県

監督	吉田康宏			東北高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	中村 創信	183	17	東北高等学校
2	植 卓弓	186	17	東北高等学校
3	高橋 望夢	174	17	東北高等学校
4	山村 優真	192	17	東北高等学校
5	坂井 旭	186	16	東北高等学校
6	遠藤 洋斗	183	16	東北高等学校
7	菊地 新大	185	17	東北高等学校
8	三上 叶	183	17	東北高等学校
9	陶山 琉輝	178	16	東北高等学校
10	赤羽 勇臥	180	15	東北高等学校
11	畠山 大輝	178	17	東北高等学校
12	小笠原 ノア	189	15	東北高等学校

秋田県

監督	本間海翔			秋田県立雄物川高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	小野 瑛太	182	17	秋田県立雄物川高等学校
2	伊藤 和波	180	17	秋田県立雄物川高等学校
3	最上 竣英	182	17	秋田県立雄物川高等学校
4	松任 佑征	190	17	秋田県立雄物川高等学校
5	菊池 和葉	191	17	秋田県立雄物川高等学校
6	藤嶋 彩人	186	17	秋田県立雄物川高等学校
7	寺田 聖	170	16	秋田県立雄物川高等学校
8	長谷川 響	166	17	秋田県立雄物川高等学校
9	山口 寛太	166	17	秋田県立雄物川高等学校
10	小池 悠斗	169	16	秋田県立雄物川高等学校
11	髙橋 幸樹	181	16	秋田県立雄物川高等学校
12	北畠 旭	178	16	秋田県立雄物川高等学校

参加監督・選手一覧
(少年男子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

福島県

監督	信　成　健　人			福島県立相馬高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　　属
①	狩　野　礼　温	172	17	福島県立相馬高等学校
2	阿　部　智　優	179	17	福島県立相馬高等学校
3	福　島　悠　矢	168	17	福島県立相馬高等学校
4	菅　原　蒼　太	173	17	福島県立相馬高等学校
5	髙　久　崇　眞	180	16	福島県立相馬高等学校
6	田　仲　遥　翔	172	16	福島県立相馬高等学校
7	島　　楓　輝	172	16	福島県立相馬高等学校
8	渡　邉　颯　太	183	16	福島県立相馬高等学校
9	堀　井　瑛　匠	179	16	福島県立相馬高等学校
10	篠　原　陸　汰	167	16	福島県立相馬高等学校
11	菅　野　公　平	172	16	福島県立相馬高等学校
12	菅　野　奏　詩	177	15	福島県立相馬高等学校

茨城県

監督	吉　田　達　也			土浦日本大学高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　　属
①	松　崎　広　翔	180	17	土浦日本大学高等学校
2	白　石　凰　真	191	16	土浦日本大学高等学校
3	菊　田　飛　成	188	16	土浦日本大学高等学校
4	白　土　涼　介	187	17	土浦日本大学高等学校
5	相　関　快　晴	188	16	土浦日本大学高等学校
6	三　村　琉　星	181	17	土浦日本大学高等学校
7	水　田　哲　平	181	17	土浦日本大学高等学校
8	内　藤　　慧	180	17	土浦日本大学高等学校
9	窪　田　拓　実	180	16	土浦日本大学高等学校
10	大　野　叶　翔	173	17	土浦日本大学高等学校
11	皆　川　　岳	170	17	土浦日本大学高等学校
12	寺　田　楓　吾	160	16	土浦日本大学高等学校

東京都

監督	高　橋　真　輝			駿台学園高等学校(職)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　　属
1	小布施　琢　磨	199	17	駿台学園高等学校
2	原　田　　新	193	17	明治大学付属中野高等学校
③	落　合　康　陽	192	17	駿台学園高等学校
4	畠　　昊太郎	181	17	駿台学園高等学校
5	竹　内　祐一郎	181	16	駿台学園高等学校
6	イ　　ジュソン	185	16	駿台学園高等学校
7	井　上　陽　太	174	16	駿台学園高等学校
8	竹　内　颯　汰	180	17	駿台学園高等学校
9	前　田　鳴　斗	179	16	駿台学園高等学校
10	清　野　光　央	173	16	駿台学園高等学校
11	野　中　豪　太	184	16	駿台学園高等学校
12	秋　本　晃　希	175	17	駿台学園高等学校

神奈川県

監督	山　崎　一　真			武相高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　　属
①	佐　藤　春　斗	189	17	武相高等学校
2	宮　下　獅　堂	188	17	武相高等学校
3	松本ランビック	183	17	三浦学苑高等学校
4	水　井　琉　生	173	17	川崎市立橘高等学校
5	藤　生　　理	192	16	武相高等学校
6	大　津　涼　玖	185	16	武相高等学校
7	熊　田　吏　稀	184	16	武相高等学校
8	シンクレアー笑里男	180	16	川崎市立橘高等学校
9	牧　　由　大	181	16	武相高等学校
10	太田原　悠　斗	173	16	武相高等学校
11	柴　田　那　智	171	16	武相高等学校
12	佐　竹　亮　真	168	16	武相高等学校

参加監督・選手一覧
(少年男子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

山梨県

監督	月岡裕二			日本航空高等学校(職)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	中島唯斗	179	17	日本航空高等学校
2	沖颯太	184	17	日本航空高等学校
3	渡邉聡也	185	17	日本航空高等学校
4	古屋祐磨	179	17	日本航空高等学校
5	市川瑛士	181	17	日本航空高等学校
6	河邉劉浩	178	17	日本航空高等学校
7	池田光喜	184	17	日本航空高等学校
8	荒木陽斗	199	17	日本航空高等学校
9	加戸琉斗	179	17	山梨県立日川高等学校
10	藤原慧人	175	16	日本航空高等学校
11	平賀悠真	168	17	日本航空高等学校
12	鈴木叶夢	170	15	日本航空高等学校

新潟県

監督	澤田圭介			新発田中央高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	太田大介	183	17	新発田中央高等学校
2	遠藤昊明	185	17	新潟県立上越総合技術高等学校
3	榎烈華	185	17	新潟県立佐渡高等学校
4	前田穂積	174	17	新発田中央高等学校
5	齋藤新	176	17	新発田中央高等学校
6	小林絢	184	17	関根学園高等学校
7	石井健琉	184	17	新発田中央高等学校
8	笠原廉太郎	183	17	新発田中央高等学校
9	古俣勇朔	186	15	東京学館新潟高等学校
10	小林耕太朗	188	15	新潟県立上越総合技術高等学校
11	曽我悠羽	173	16	新発田中央高等学校
12	本間大智	173	16	新潟県立佐渡高等学校

長野県

監督	壬生裕之			松本国際高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	溝渕冬馬	173	17	松本国際高等学校
2	小田切紘貴	173	16	松本国際高等学校
3	鎌田治真	186	16	松本国際高等学校
4	下田寛翔	186	16	松本国際高等学校
5	木村海斗	183	17	松本国際高等学校
6	市川純乃介	182	15	松本国際高等学校
7	西村陸翔	181	16	松本国際高等学校
8	清水瑛太	181	16	松本国際高等学校
9	長縄眞斗	178	17	松本国際高等学校
10	石井大宙	178	16	松本国際高等学校
11	大和将也	178	15	松本国際高等学校
12	伊藤蒼空	178	15	松本国際高等学校

静岡県

監督	川田直人			島田樟誠高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	松永颯助	175	17	聖隷クリストファー高等学校
2	藤原駆琉	171	16	聖隷クリストファー高等学校
3	川島珀人	189	17	聖隷クリストファー高等学校
4	伴将弥	185	17	聖隷クリストファー高等学校
5	田浦慶大	186	17	聖隷クリストファー高等学校
6	神谷諒	176	17	聖隷クリストファー高等学校
7	大内皓斗	179	17	聖隷クリストファー高等学校
8	赤堀颯哉	173	17	浜松日体高等学校
9	高橋昂希	178	17	静岡県立浜松工業高等学校
10	鈴木温人	175	17	浜松修学舎高等学校
11	金原大湖	184	17	浜松日体高等学校
12	近藤翔	186	16	浜松修学舎高等学校

参加監督・選手一覧
(少年男子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

愛知県

監督	渡辺義幸			大同大学大同高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	北川祐真	186	17	愛知工業大学名電高等学校
2	植木結生	170	17	愛知工業大学名電高等学校
3	福島諒	186	17	愛知工業大学名電高等学校
4	富田レオン	191	17	大同大学大同高等学校
5	水野伊優	170	17	大同大学大同高等学校
6	ビルグンオチル	188	17	豊橋中央高等学校
7	増谷タレス	180	17	豊橋中央高等学校
8	横江琉衣	181	17	星城高等学校
9	永井孝汰	173	17	星城高等学校
10	金田紺	182	17	愛知工業大学名電高等学校
11	福谷政宗	191	17	愛知工業大学名電高等学校
12	中島大揮	178	17	愛知工業大学名電高等学校

滋賀県

監督	野村幸司			近江高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	草野烈	182	17	近江高等学校
2	北川慶大	176	17	近江高等学校
3	小山晴魁	186	17	近江高等学校
4	和田歩樹	186	17	滋賀県立甲西高等学校
5	藤田峻	175	17	滋賀県立甲西高等学校
6	山下慶	185	16	近江高等学校
7	谷口元毅	180	16	近江高等学校
8	橋本蒼空	185	16	近江高等学校
9	川本暉貴	175	16	近江高等学校
10	榊原準乃助	193	15	近江高等学校
11	髙橋蓮	171	17	近江高等学校
12	杉山立樹	170	17	近江高等学校

大阪府

監督	山口誠			清風高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	澤田侍弦	172	17	清風高等学校
2	石川叶真	189	17	清風高等学校
3	田原璃晟	190	17	清風高等学校
4	西村海司	183	16	清風高等学校
5	伊藤匠太朗	181	17	清風高等学校
6	森田陸	178	17	清風高等学校
7	池ノ上理人	187	16	清風高等学校
8	森脇佑介	181	16	清風高等学校
9	田中杏侍	183	15	清風高等学校
10	出口大誠	175	16	清風高等学校
11	岩口暖	172	16	清風高等学校
12	猪原悠馬	182	15	清風高等学校

京都府

監督	豊田充浩			東山高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	岩田怜緯	189	17	東山高等学校
2	イジハン	192	17	東山高等学校
3	東村悠叶	189	17	東山高等学校
4	駒込詠斗	181	17	東山高等学校
5	伊藤颯希	177	17	東山高等学校
6	小林蒼昊	178	16	東山高等学校
7	須貝大志	182	17	東山高等学校
8	平方大翔	182	16	東山高等学校
9	比後佑希	164	16	東山高等学校
10	ﾚﾌﾏﾝ ﾓﾊﾒﾄﾞ ｼｬﾌｨｳﾙ	192	15	東山高等学校
11	村上裕仁郎	172	17	東山高等学校
12	辻本侑央	168	16	東山高等学校

参加監督・選手一覧
(少年男子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

広島県

監督	鴫　田　奈　弥			広島県立広島井口高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
1	伊　藤　聖　哉	186	17	崇　徳　高　等　学　校
2	井　上　大　我	178	17	崇　徳　高　等　学　校
③	臺　　進一郎	178	17	崇　徳　高　等　学　校
4	迫　田　大　智	180	17	崇　徳　高　等　学　校
5	砂　田　悠　次	182	17	崇　徳　高　等　学　校
6	宮　田　康　介	181	17	崇　徳　高　等　学　校
7	本　多　一　喜	180	17	崇　徳　高　等　学　校
8	中　村　蒼　実	172	17	崇　徳　高　等　学　校
9	藤　本　光　志	171	17	崇　徳　高　等　学　校
10	寺　岡　蒼　大	182	16	崇　徳　高　等　学　校
11	荻　田　恭　吾	191	17	広島城北高等学校
12	直　弘　羽　琉	183	17	広島工業大学高等学校

山口県

監督	有　吉　健　二			高川学園高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	桒　田　　剛	184	17	高川学園高等学校
2	比　嘉　一　心	180	17	高川学園高等学校
3	菅　田　泰　心	170	17	高川学園高等学校
4	藤　村　陸　功	182	16	高川学園高等学校
5	加　納　蒼　士	177	17	高川学園高等学校
6	田　中　太　翔	182	17	山口県立宇部商業高等学校
7	平　元　一　世	170	17	高川学園高等学校
8	市　岡　颯　汰	172	17	山口県立南陽工業高等学校
9	三　井　桜志郎	170	15	高川学園高等学校
10	原　田　琉　煌	178	15	高川学園高等学校
11	河　田　陽　虎	174	16	高川学園高等学校
12	中　尾　樹　陸	190	15	高川学園高等学校

香川県

監督	淵　﨑　龍司郎			香川県立高松工芸高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	藤　岡　柊　涼	176	17	香川県立高松工芸高等学校
2	多　田　桜　音	183	17	香川県立高松工芸高等学校
3	中　村　太　紀	185	17	香川県立高松工芸高等学校
4	白　井　啓　太	181	17	香川県立高松工芸高等学校
5	澤　田　　翔	178	16	香川県立高松工芸高等学校
6	岡　　武　蔵	169	16	香川県立高松工芸高等学校
7	佐々木　遼　介	181	17	英　明　高　等　学　校
8	中　尾　宥　太	171	16	香川県立高松工芸高等学校
9	岡　田　大　駕	174	17	香川県立高松工芸高等学校
10	眞　木　悠　翔	169	16	香川県立高松工芸高等学校
11	佐　伯　海　奄	177	16	英　明　高　等　学　校
12	石　原　咲　汰	167	16	香川県立高松工芸高等学校

愛媛県

監督	梶　原　健　作			愛媛県立小松高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	小　山　　千	180	17	新　田　高　等　学　校
2	笠　松　　來	183	17	新　田　高　等　学　校
3	河　野　晃　大	183	16	新　田　高　等　学　校
4	眞　鍋　治　貴	181	17	愛媛県立三島高等学校
5	光　田　琥　珀	181	17	新　田　高　等　学　校
6	三　並　虎　徹	180	17	愛媛県立松山工業高等学校
7	中　島　煌　太	177	17	愛媛県立小松高等学校
8	本　多　恭　章	176	17	愛媛県立松山北高等学校
9	三　浦　雪　斗	170	17	愛媛県立松山工業高等学校
10	松　村　航　幸	187	17	新　田　高　等　学　校
11	玉　井　悠　翔	168	17	愛媛県立松山工業高等学校
12	野　村　悠　真	170	15	愛媛県立小松高等学校

参加監督・選手一覧
(少年男子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

福岡県

監督	藤元聡一			東福岡高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	吉塚栄大	190	17	東福岡高等学校
3	矢島航晴	184	17	東福岡高等学校
5	比嘉晃跳	181	17	東福岡高等学校
2	新山明	180	17	福岡大学附属大濠高等学校
6	岩野泰雅	179	17	東福岡高等学校
7	吉村蓮	173	17	東福岡高等学校
8	種田力	180	16	東福岡高等学校
9	岩本明樹	190	17	福岡大学附属大濠高等学校
10	馬屋原匠見	183	15	東福岡高等学校
11	小田颯真	161	17	東福岡高等学校
12	高島慶樹	171	16	東福岡高等学校
4	池田海夢	171	17	東福岡高等学校

長崎県

監督	朝長孝介			長崎県立大村工業高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	下村晃生	186	17	長崎県立大村工業高等学校
2	末永留偉	181	17	長崎県立大村工業高等学校
3	富永誠治郎	174	17	長崎県立大村工業高等学校
4	眞﨑仁之介	191	17	長崎県立大村工業高等学校
5	松﨑士竜	180	17	長崎県立大村工業高等学校
6	松尾寿哉	192	16	長崎県立大村工業高等学校
7	浅田海瑛	190	17	長崎県立佐世保南高等学校
8	米村尚太朗	167	17	長崎県立大村工業高等学校
9	松尾陽向	168	17	長崎県立大村工業高等学校
10	土井颯太	190	15	長崎県立大村工業高等学校
11	田中唯士	187	16	長崎県立大村工業高等学校
12	松本幸大	165	17	長崎県立大村工業高等学校

熊本県

監督	藤原樹			熊本県立熊本北高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
1	野中友雅	182	16	鎮西高等学校
2	一ノ瀬漣	191	17	鎮西高等学校
3	木永青空	184	17	鎮西高等学校
④	平川陽翔	186	17	鎮西高等学校
5	本田悠真	180	17	鎮西高等学校
6	税所蓮嘉	187	16	鎮西高等学校
7	池松颯汰	178	16	鎮西高等学校
8	岩下遼大	180	15	鎮西高等学校
9	田中雅輝	184	15	鎮西高等学校
10	西岡龍之介	185	15	鎮西高等学校
11	山崎孝大	170	17	鎮西高等学校
12	竹脇銀	172	15	鎮西高等学校

鹿児島県

監督	田代博明			鹿児島県立種子島高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	飯伏文矢	177	17	鹿児島県立川内商工高等学校
2	宇都口一輝	175	17	鹿児島県立川内商工高等学校
3	別府凌河	181	17	鹿児島市立鹿児島商業高等学校
4	田中洸	194	16	鹿児島県立川内商工高等学校
5	柏木陸歩	193	17	鹿児島県立鹿屋高等学校
6	石塚翔満	184	16	鹿児島県立川内商工高等学校
7	嘉村暖大	165	17	鹿児島県立川内商工高等学校
8	立野駿介	174	17	鹿児島県立川内商工高等学校
9	松沢志音	176	16	鹿児島県立川内商工高等学校
10	白坂健	182	15	鹿児島県立川内商工高等学校
11	大塚悠都	180	17	鹿児島市立鹿児島商業高等学校
12	濱口滉大	183	16	鹿児島県立川内商工高等学校

参加監督・選手一覧
(少年女子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

北海道

監督	岡　本　祐　子			旭川実業高等学校（教）
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　　属
①	千　葉　涼　夏	166	17	旭川実業高等学校
2	柳　原　奈　苗	180	17	旭川実業高等学校
3	青　木　も　も	171	17	旭川実業高等学校
4	清　水　心　愛	168	17	旭川実業高等学校
5	永　坂　美　姿	166	17	旭川実業高等学校
6	矢　萩　梨　花	165	17	北海道帯広南商業高等学校
7	柳　田　哩　子	158	17	東海大学付属札幌高等学校
8	藤　本　芽　愛	174	16	札幌大谷高等学校
9	今　西　月　乃	175	16	旭川実業高等学校
10	田　中　咲　妃	161	16	旭川実業高等学校
11	川　原　好　葉	161	16	旭川実業高等学校
12	八　田　結　衣	172	15	札幌大谷高等学校

青森県

監督	白　取　和　也			青森県立青森西高等学校（教）
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　　属
①	松　橋　美　空	172	17	青森県立青森西高等学校
2	佐　藤　楓　子	169	17	青森県立青森西高等学校
3	下　向　亜香里	171	17	青森県立青森西高等学校
4	山　本　理　乃	165	17	青森県立青森西高等学校
5	松　本　心　乃	152	17	下山学園高等学校
6	楠　美　琉　那	172	17	青森県立青森西高等学校
7	石　塚　杏　音	161	17	青森県立青森西高等学校
8	小　野　優　芽	162	17	下山学園高等学校
9	伊　藤　里　心	162	16	下山学園高等学校
10	松　岡　心　美	168	16	下山学園高等学校
11	田　邊　真　央	167	16	青森県立青森西高等学校
12	木　村　柚　羽	157	15	青森県立青森西高等学校

宮城県

監督	岡　崎　典　生			古川学園高等学校（教）
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　　属
1	工　藤　光　莉	178	17	古川学園高等学校
2	井　上　桃　花	173	15	古川学園高等学校
3	モンデシ　ライニ	185	15	古川学園高等学校
4	髙　橋　り　ら	178	17	古川学園高等学校
⑤	熊　谷　杏　奈	160	17	古川学園高等学校
6	ファン　シ　ン	183	17	古川学園高等学校
7	鈴　木　日　香	173	17	古川学園高等学校
8	松　井　陽　菜	163	15	古川学園高等学校
9	山　﨑　ひかる	168	17	古川学園高等学校
10	生　田　やちる	171	15	古川学園高等学校
11	坂　上　琉　奈	148	16	古川学園高等学校
12	池　田　夕　緋	175	16	古川学園高等学校

山形県

監督	石　田　和　也			米沢中央高等学校（教）
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　　属
①	和　田　かな芽	171	17	米沢中央高等学校
2	吉　田　瑠　那	179	17	米沢中央高等学校
3	加　藤　あうる	178	17	米沢中央高等学校
4	佐　藤　かずさ	175	17	米沢中央高等学校
5	小　島　颯　夏	174	16	米沢中央高等学校
6	石　田　千紗貴	159	17	米沢中央高等学校
7	小　原　香　月	176	16	米沢中央高等学校
8	関　根　空　愛	166	17	米沢中央高等学校
9	落　合　咲　心	168	15	米沢中央高等学校
10	中　嶋　桜　子	164	15	米沢中央高等学校
11	日下部　亜　絆	159	16	米沢中央高等学校
12	遠　藤　風　吹	149	17	米沢中央高等学校

参加監督・選手一覧
(少年女子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

福島県

監督	佐　藤　浩　明			郡山女子大学附属高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	清　野　陽　愛	170	17	郡山女子大学附属高等学校
2	松　永　紗　弥	170	17	郡山女子大学附属高等学校
3	小　松　史　知	170	17	郡山女子大学附属高等学校
4	井　澤　歩　花	169	16	郡山女子大学附属高等学校
5	菅　原　姫　愛	156	16	郡山女子大学附属高等学校
6	後　藤　美　怜	160	16	郡山女子大学附属高等学校
7	小　松　　楓	170	17	郡山女子大学附属高等学校
8	藤　原　　紅	177	16	郡山女子大学附属高等学校
9	根　本　藍　梨	171	16	郡山女子大学附属高等学校
10	栁　田　莉　緒	169	15	郡山女子大学附属高等学校
11	鈴　木　梓　沙	171	16	郡山女子大学附属高等学校
12	佐　藤　かりん	167	16	郡山女子大学附属高等学校

群馬県

監督	佐々木　雄　司			高崎健康福祉大学高崎高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	若　狭　奈　夕	176	17	群馬県立高崎女子高等学校
2	青　栁　美沙希	179	16	高崎健康福祉大学高崎高等学校
3	杉　村　まゆり	176	17	高崎商科大学附属高等学校
4	二　村　　茜	174	17	高崎健康福祉大学高崎高等学校
5	刃　刀　維　乃	174	16	高崎健康福祉大学高崎高等学校
6	加　藤　紗　良	172	17	高崎商科大学附属高等学校
7	井　上　杏　子	171	17	群馬県立高崎女子高等学校
8	山　根　蘭　那	170	16	高崎健康福祉大学高崎高等学校
9	須　田　華　帆	162	15	群馬県立高崎女子高等学校
10	伊　東　　心	164	16	高崎健康福祉大学高崎高等学校
11	後　藤　柚　奈	158	15	高崎健康福祉大学高崎高等学校
12	仙　石　彩　乃	163	15	高崎健康福祉大学高崎高等学校

埼玉県

監督	伊　藤　潔　美			細田学園高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	定　山　桜　和	170	17	細田学園高等学校
2	平　沼　日　頼	180	17	細田学園高等学校
3	松　本　絆　奈	176	16	細田学園高等学校
4	中　島　果　穂	176	16	細田学園高等学校
5	青　塚　梨　夏	170	17	細田学園高等学校
6	蓑　田　ゆずき	173	16	細田学園高等学校
7	荒　井　七　海	172	16	細田学園高等学校
8	比留間　陽　菜	171	17	狭山ヶ丘高等学校
9	瀬　尾　莉　美	167	16	細田学園高等学校
10	大　野　　唯	167	16	細田学園高等学校
11	清　沢　更　紗	167	17	細田学園高等学校
12	林　　聖　蘭	160	17	細田学園高等学校

東京都

監督	貫　井　直　輝			八王子実践高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	吉　井　　美樹	176	17	八王子実践高等学校
2	紅　野　花　歩	190	17	八王子実践高等学校
3	小　林　愛　雅	175	17	八王子実践高等学校
4	米　谷　かおり	177	17	八王子実践高等学校
5	大　雲　舞　子	183	16	八王子実践高等学校
6	平　野　　愛	164	16	八王子実践高等学校
7	小宮山　智　花	172	16	八王子実践高等学校
8	松　田　幸弥伽	153	17	八王子実践高等学校
9	廣　澤　佳　奈	167	17	八王子実践高等学校
10	小　林　莉央奈	167	15	八王子実践高等学校
11	堀　川　　梢	180	16	八王子実践高等学校
12	河　村　芽　来	155	16	八王子実践高等学校

参加監督・選手一覧
(少年女子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

神奈川県

監督	佐　藤　喜一郎			横浜隼人高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	杉　原　南　美	157	17	横浜隼人高等学校
2	瀧　澤　咲　羽	163	17	横浜隼人高等学校
3	石　渡　心　珠	167	17	横浜隼人高等学校
4	佐々木　結　愛	165	17	横浜隼人高等学校
5	松　澤　　杏	175	17	横浜隼人高等学校
6	河　瀬　結　衣	176	17	横浜隼人高等学校
7	片　野　　杏	171	17	横浜隼人高等学校
8	石　川　汐　花	165	17	横浜隼人高等学校
9	川　嵜　美　涼	159	17	横浜隼人高等学校
10	佐々木　佳　音	171	17	横浜隼人高等学校
11	安　達　美　月	158	15	横浜隼人高等学校
12	比　企　愛　椛	166	15	横浜隼人高等学校

長野県

監督	今　井　一　仁			東京都市大学塩尻高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	篠　原　美　澪	156	17	東京都市大学塩尻高等学校
2	梅　野　紗　永	183	17	東京都市大学塩尻高等学校
3	白　鳥　珠　理	171	17	東京都市大学塩尻高等学校
4	滝　澤　利　桜	165	17	東京都市大学塩尻高等学校
5	中　藪　愛　菜	164	17	東京都市大学塩尻高等学校
6	長　井　莉　子	160	17	東京都市大学塩尻高等学校
7	山　﨑　新　菜	171	16	東京都市大学塩尻高等学校
8	村　上　美咲希	171	16	東京都市大学塩尻高等学校
9	谷　口　ひなた	174	16	松本国際高等学校
10	徳　本　ほたる	165	16	東京都市大学塩尻高等学校
11	宮　川　心　花	174	17	東京都市大学塩尻高等学校
12	中牟田　こまち	170	15	東京都市大学塩尻高等学校

福井県

監督	松　岡　素　彦			仁愛女子高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	玉　森　利　桜	170	17	仁愛女子高等学校
2	杉　井　美　緒	176	17	仁愛女子高等学校
3	宮　崎　香　穂	176	17	仁愛女子高等学校
4	戸　谷　瑠　菜	170	17	仁愛女子高等学校
5	上　坂　　凛	165	17	仁愛女子高等学校
6	野　路　かりん	168	17	仁愛女子高等学校
7	冠　者　ひかり	174	16	仁愛女子高等学校
8	宮　本　咲　羽	170	15	仁愛女子高等学校
9	本　禄　美　由	155	17	仁愛女子高等学校
10	牧　野　　蕗	167	15	仁愛女子高等学校
11	寺　本　遥　海	162	16	仁愛女子高等学校
12	中　田　こもも	162	16	仁愛女子高等学校

愛知県

監督	中　村　与　直			誠信高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	永　野　来　奈	174	17	誠信高等学校
2	岡　田　彩　芭	180	17	誠信高等学校
3	白　井　美　有	176	17	豊橋中央高等学校
4	杉　山　咲　楽	174	17	誠信高等学校
5	仲　村　優　希	172	17	豊橋中央高等学校
6	小　関　夏　姫	172	17	誠信高等学校
7	鈴　木　煌　来	168	17	豊橋中央高等学校
8	早　坂　優　杏	165	17	豊橋中央高等学校
9	足　立　歩　優	165	17	豊橋中央高等学校
10	荒　木　茜　璃	174	16	誠信高等学校
11	片　桐　杏　倫	168	16	誠信高等学校
12	中　野　陽　葵	155	16	誠信高等学校

参加監督・選手一覧
(少年女子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

岐阜県

監督	浦田拓馬			済美高等学校（教）
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	堀　楓華	171	17	済美高等学校
2	荒川由衣	175	17	岐阜県立岐阜商業高等学校
3	冨成結輝	173	17	済美高等学校
4	冨田由理	170	16	岐阜第一高等学校
5	蔵元楓乃	170	16	済美高等学校
6	山口心結	165	17	済美高等学校
7	杉山綺咲	165	17	岐阜第一高等学校
8	小川　舞	162	17	済美高等学校
9	小瀬　楓	162	16	済美高等学校
10	山本愛梨	160	16	岐阜第一高等学校
11	坂　直美	158	16	岐阜第一高等学校
12	松原妃七	158	17	済美高等学校

京都府

監督	三輪欣之			京都橘高等学校（職）
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	髙橋　灯	168	17	京都橘高等学校
2	中川芽生	181	17	福知山淑徳高等学校
3	岡村みづき	165	17	京都橘高等学校
4	久嶋歌乃	167	17	京都橘高等学校
5	足立めい	170	17	京都橘高等学校
6	片岡　優	175	16	京都橘高等学校
7	木元柑花	158	16	京都橘高等学校
8	井上奈々	175	16	京都橘高等学校
9	大川幸愛	162	16	京都橘高等学校
10	藤村百唯	168	16	京都橘高等学校
11	山内穂香	171	15	京都橘高等学校
12	藤田結愛	168	15	京都橘高等学校

大阪府

監督	池条義則			金蘭会高等学校（教）
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
1	杉本　蓮	172	15	金蘭会高等学校
②	中山沙也	168	17	金蘭会高等学校
3	園部蒼依	170	17	金蘭会高等学校
4	吉田桜香	168	17	金蘭会高等学校
5	西村里音	180	16	金蘭会高等学校
6	吉本曖月	171	17	四天王寺高等学校
7	水野加菜	179	16	金蘭会高等学校
8	松浪来実	163	16	金蘭会高等学校
9	松井　優	175	16	金蘭会高等学校
10	酒井志穂	173	15	金蘭会高等学校
11	中村愛実	163	15	金蘭会高等学校
12	小野花結	160	15	金蘭会高等学校

和歌山県

監督	山尾綾甫			開智高等学校（教）
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	入宮桜歌	164	17	開智高等学校
2	長田紗代	163	17	開智高等学校
3	木野村　優	163	17	開智高等学校
4	島倉紀ノ花	169	17	開智高等学校
5	大方美乃	149	17	開智高等学校
6	庄司妃華	164	17	開智高等学校
7	上野莉胡	170	17	和歌山県立日高高等学校
8	古屋結里華	166	16	開智高等学校
9	脇本夢奈	162	16	開智高等学校
10	大石沙弥佳	175	16	開智高等学校
11	谷郷志歩	152	15	開智高等学校
12	安澤亜実	168	15	開智高等学校

参加監督・選手一覧
(少年女子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

岡山県

監督	西畑美希			就実高等学校（職）
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	加藤由詩	162	17	就実高等学校
2	三宅陽菜	173	17	就実高等学校
3	半原紗々子	164	17	就実高等学校
4	山本那奈	161	17	岡山県立岡山東商業高等学校
5	西元和夏	180	17	岡山県立津山高等学校
6	吉本奏	173	16	就実高等学校
7	瀧口凛	164	16	就実高等学校
8	柳佳歩	165	16	就実高等学校
9	光森愛莉	172	16	就実高等学校
10	西上萌叶	173	16	岡山県美作高等学校
11	大西雪路	174	15	就実高等学校
12	野上結菜	172	16	就実高等学校

広島県

監督	和田直樹			銀河学院高等学校（教）
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	門田侑乃	172	17	進徳女子高等学校
2	岡村心彩	172	17	進徳女子高等学校
3	卜部歩夢	170	17	銀河学院高等学校
4	西坂茉華	168	17	進徳女子高等学校
5	佐藤佑名	168	17	進徳女子高等学校
6	中尾仁智夏	165	17	銀河学院高等学校
7	宇家梨音	164	17	広島桜が丘高等学校
8	柳浦あおい	159	17	進徳女子高等学校
9	林愛月	162	16	進徳女子高等学校
10	橋本珠季	155	16	進徳女子高等学校
11	津村琉夏	155	16	銀河学院高等学校
12	卜部夢月	167	15	銀河学院高等学校

香川県

監督	林蓉子			四国学院大学香川西高等学校(教)
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	今田心々奈	165	17	香川県立高松南高等学校
2	西川真央	167	17	四国学院大学香川西高等学校
3	平井稟	165	17	香川県立高松南高等学校
4	田邉心美	165	17	香川県立高松南高等学校
5	藤村羽優	166	16	香川県立高松南高等学校
6	小松羽夢	164	17	香川県立高松商業高等学校
7	高橋南帆	166	17	四国学院大学香川西高等学校
8	西山彩月	171	16	英明高等学校
9	矢野華衣莉	162	17	四国学院大学香川西高等学校
10	楠田華海	166	17	香川県立高松商業高等学校
11	尾松愛依子	161	16	香川県立高松南高等学校
12	眞鍋葵	153	16	香川県立高松南高等学校

高知県

監督	近藤武志			高知中央高等学校（教）
番号	選手氏名	身長	年齢	所属
①	前川美咲	168	17	高知中央高等学校
2	ﾛﾄﾞﾘｹﾞｽ ﾘﾘｱｰﾉ ｶﾛﾘｰﾈ	186	17	高知中央高等学校
3	栗栖芭唯菜	158	17	高知中央高等学校
4	クリスタル ヤスメリス メルセデス ヌニェス	182	17	高知中央高等学校
5	益岡彩巴	175	17	高知高等学校
6	キャリーアレイナ波音	172	16	明徳義塾高等学校
7	向田朱寧	168	17	高知中央高等学校
8	沖野鈴乃愛	165	16	高知中央高等学校
9	和田鈴菜	173	15	高知中央高等学校
10	石田望生	162	16	高知中央高等学校
11	鎌倉星空	166	15	高知中央高等学校
12	池田美紗希	163	15	高知中央高等学校

参加監督・選手一覧
(少年女子)

○印は主将　年齢は令和８年４月１日現在

福岡県

監督	葛　西　廣　紀			福岡工業大学附属城東高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	永　野　瑠　杏	159	17	福岡工業大学附属城東高等学校
2	花　田　萌　音	172	17	福岡工業大学附属城東高等学校
3	中　嶋　優　愛	173	17	福岡工業大学附属城東高等学校
4	飼鶴丸　芽　生	176	17	福岡工業大学附属城東高等学校
5	六　角　莉　希	170	17	福岡工業大学附属城東高等学校
6	岩　下　愛　華	171	16	福岡工業大学附属城東高等学校
7	後上里　紅　葉	161	16	福岡工業大学附属城東高等学校
8	寺　本　琉　花	160	16	福岡工業大学附属城東高等学校
9	我　謝　綾　香	158	15	福岡工業大学附属城東高等学校
10	髙　木　麻　央	180	17	福岡女学院高等学校
11	川　口　陽　菜	168	17	西日本短期大学附属高等学校
12	貞　弘　涼々香	176	17	福岡県立北九州高等学校

長崎県

監督	出　野　久仁子			西海市教育委員会
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	黒　田　鈴　那	169	17	長崎県立西彼杵高等学校
2	泉　　明　星	180	17	長崎県立西彼杵高等学校
3	小　崎　心　晴	178	16	長崎県立西彼杵高等学校
4	岡　　紗津貴	174	16	長崎県立西彼杵高等学校
5	三　原　心　遙	174	16	長崎県立西彼杵高等学校
6	内　田　貴　子	168	16	長崎県立西彼杵高等学校
7	八　並　聖　夏	163	17	長崎県立西彼杵高等学校
8	松　本　莉　音	169	16	長崎県立西彼杵高等学校
9	山　田　詩　月	156	17	長崎県立西彼杵高等学校
10	川　尻　沙　季	163	17	長崎県立西彼杵高等学校
11	平　石　椛々音	164	17	長崎県立西彼杵高等学校
12	岩　切　心　奈	160	17	長崎県立西彼杵高等学校

大分県

監督	竹　内　誠　二			東九州龍谷高等学校(教)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
1	松　尾　侑　和	180	17	東九州龍谷高等学校
②	忠願寺　莉　桜	183	17	東九州龍谷高等学校
3	鎌　倉　詩　織	171	17	東九州龍谷高等学校
4	吉　村　はぐみ	170	17	東九州龍谷高等学校
5	兼　武　咲　希	172	16	東九州龍谷高等学校
6	森　川　夢　月	174	16	東九州龍谷高等学校
7	平　田　千咲紀	170	16	東九州龍谷高等学校
8	忠願寺　陽　茉	170	15	東九州龍谷高等学校
9	大　橋　乃　々	157	16	東九州龍谷高等学校
10	福　田　結　衣	158	17	東九州龍谷高等学校
11	安　田　愛　梨	173	17	東九州龍谷高等学校
12	廣　瀬　安寿紗	173	17	東九州龍谷高等学校

鹿児島県

監督	西　田　幸　浩			鹿児島城西高等学校(職)
番号	選　手　氏　名	身長	年齢	所　属
①	砂　坂　莉　湖	163	17	鹿児島城西高等学校
2	田　畑　梨乃音	165	15	鹿児島城西高等学校
3	積　山　侑　依	165	17	鹿児島城西高等学校
4	二　見　蓮　羽	169	17	鹿児島城西高等学校
5	徳　永　涼　華	167	17	鹿児島城西高等学校
6	川　添　未　愛	167	16	鹿児島城西高等学校
7	頼　冨　果　穂	174	16	鹿児島城西高等学校
8	大　赦　ひとみ	172	15	鹿児島城西高等学校
9	隈　元　聖　菜	174	17	鹿児島県立薩摩中央高等学校
10	岩　川　にちか	161	16	鹿児島城西高等学校
11	桑　原　優　奈	153	17	鹿児島城西高等学校
12	杤　山　聖　奈	161	16	鹿児島城西高等学校

バレーボール競技成績採点方法
男女総合（天皇杯得点）成績一覧表
女子総合（皇后杯得点）成績一覧表
過去の成績一覧表「栄光のあと」

バレーボール競技成績採点方法

（１）　競技得点算出方法

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
６人制成年男子 ６人制成年女子 ６人制少年男子 ６人制少年女子 ビーチバレーボール少年男子 ビーチバレーボール少年女子	６人制成年女子 ６人制少年女子 ビーチバレーボール少年女子	６人制種目は１位 40 点、２位 35 点、３位 30 点、４位 25 点、５位（２チーム）各 17.5 点、７位（２チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。 ビーチバレーボール種目は１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位（２チーム）各 10.5 点、７位（２チーム）4.5 点の競技得点を与える。

（２）　参加得点

大会（ブロック大会含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

男女総合（天皇杯得点）成績一覧表

都道府県＼種別		6人制				ビーチバレーボール		競技得点合計	参加得点	得点総合計	順位
		成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	少年男子	少年女子				
1	北海道										
2	青森県										
3	岩手県										
4	宮城県										
5	秋田県										
6	山形県										
7	福島県										
8	茨城県										
9	栃木県										
10	群馬県										
11	埼玉県										
12	千葉県										
13	東京都										
14	神奈川県										
15	山梨県										
16	新潟県										
17	長野県										
18	富山県										
19	石川県										
20	福井県										
21	静岡県										
22	愛知県										
23	三重県										
24	岐阜県										
25	滋賀県										
26	京都府										
27	大阪府										
28	兵庫県										
29	奈良県										
30	和歌山県										
31	鳥取県										
32	島根県										
33	岡山県										
34	広島県										
35	山口県										
36	香川県										
37	徳島県										
38	愛媛県										
39	高知県										
40	福岡県										
41	佐賀県										
42	長崎県										
43	熊本県										
44	大分県										
45	宮崎県										
46	鹿児島県										
47	沖縄県										

女子総合（皇后杯得点）成績一覧表

都道府県＼種別		6人制		ビーチバレーボール	競技得点合計	参加得点	得点総合計	順位
		成年女子	少年女子	少年女子				
1	北海道							
2	青森県							
3	岩手県							
4	宮城県							
5	秋田県							
6	山形県							
7	福島県							
8	茨城県							
9	栃木県							
10	群馬県							
11	埼玉県							
12	千葉県							
13	東京都							
14	神奈川県							
15	山梨県							
16	新潟県							
17	長野県							
18	富山県							
19	石川県							
20	福井県							
21	静岡県							
22	愛知県							
23	三重県							
24	岐阜県							
25	滋賀県							
26	京都府							
27	大阪府							
28	兵庫県							
29	奈良県							
30	和歌山県							
31	鳥取県							
32	島根県							
33	岡山県							
34	広島県							
35	山口県							
36	香川県							
37	徳島県							
38	愛媛県							
39	高知県							
40	福岡県							
41	佐賀県							
42	長崎県							
43	熊本県							
44	大分県							
45	宮崎県							
46	鹿児島県							
47	沖縄県							

過去の成績一覧表「栄光のあと」

上段：開催地

回	年 開催県	一般男子 6人制	一般男子 9人制	教員男子 6人制	教員男子 9人制	一般女子 6人制	一般女子 9人制	高校男子 6人制	高校男子 9人制	高校女子 6人制	高校女子 9人制
1	昭和 21 京都・奈良・滋賀 大阪・兵庫	西宮市									
			全兵庫 (兵庫)				中村高女クラブ (東京)		廣島二中 〔広島〕		一宮女子農業學校 (兵庫)
2	昭和 22 石川	金沢市									
			オール京都 (京都)		福岡市教員 (福岡)		岡崎高女みくさ會 (愛知)		鹿屋中學校 (鹿児島)		岡崎市立高等女学校 (愛知)
3	昭和 23 福岡		福岡市		福岡市		久留米市		福岡市		久留米市
			嚶鳴クラブ (広島)		鶴陽クラブ (福岡)		入部倶樂部 (岡山)		韮山高校 〔静岡〕		中村高校 (東京)
4	昭和 24 京都・千葉・埼玉 山梨・神奈川	横浜市									
			嚶鳴クラブ (広島)				北海ドレスメーカー女學院 (北海道)		韮山高校 〔静岡〕		中村高校 (東京)
5	昭和 25 愛知	岡崎市									
			八幡製鐵所 (福岡)		鶴陽クラブ (福岡)		倉紡萬壽 (岡山)		韮山高校 〔静岡〕		豊橋東高校 (愛知)
6	昭和 26 広島		呉市				呉市		広島市		広島市
			倉紡萬壽 (岡山)				山紡足利 (栃木)		韮山高校 〔静岡〕		豊橋東高校 (愛知)
7	昭和 27 福島・宮城 山形		福島市				福島市		山形市		山形市
			八幡製鐵所 (福岡)				鐘紡四日市 (三重)		藤沢高校 (神奈川)		豊橋東高校 (愛知)
8	昭和 28 香川・徳島 愛知・愛媛		徳島市				丸亀市		徳島市		丸亀市
			東レ九鱗會 (滋賀)				鐘紡四日市 (三重)		大館鳳鳴高校 〔秋田〕		久喜高校 (埼玉)
9	昭和 29 北海道	小樽市									
			慶應義塾大学 (東京)				鐘紡四日市 (三重)		藤沢高校 (神奈川)		中村高校 (東京)
10	昭和 30 神奈川		川崎市		川崎市		川崎市		藤沢市		川崎市
			住友金属小倉製鉄所 (福岡)		鶴陽クラブ (福岡)		大日本紡績貝塚工場 (大阪)		琴ヶ丘高校 〔兵庫〕		中村高校 (東京)
11	昭和 31 兵庫		神戸市		神戸市		明石市		明石市		姫路市
			住友金属小倉 (福岡)		鶴陽クラブ (福岡)		倉紡倉敷 (岡山)		藤沢高校 (神奈川)		中村高校 (東京)
12	昭和 32 静岡		浜松市		浜松市		熱海市		浜松市		浜松市
			住友金属 (福岡)		世田ヶ谷教員 (東京)		大日本紡績貝塚工場 (大阪)		藤沢高校 (神奈川)		四天王寺高校 (大阪)
13	昭和 33 富山		魚津市		高岡市		高岡市		魚津市		高岡市
			東洋レーヨン九鱗会 (滋賀)		金沢教員 (石川)		大日本紡績貝塚工場 (大阪)		藤沢高校 (神奈川)		四天王寺高校 (大阪)
14	昭和 34 東京・埼玉	東京都（世田谷区駒沢）									
			八幡製鉄 (福岡)		福岡市教員 (福岡)		倉紡倉敷 (岡山)		崇徳高校 〔広島〕		中村高校 (東京)
15	昭和 35 熊本		八代市		熊本市		熊本市		熊本市		八代市
			東洋レーヨン九鱗会 (滋賀)		広島市教員 (広島)		日清紡島田工場 (静岡)		熊本工業高校 〔熊本〕		豊橋東高校 (愛知)

一般種別に６人制を追加

16	昭和 36 秋田	大館市	大館市	鷹巣町	鷹巣町	大館市	大館市		鷹巣町		鷹巣町
		東洋レーヨン九鱗会 (滋賀)	東洋レーヨン九鱗会 (滋賀)	広島市教員団 (広島)	旭川市教員 (北海道)	ヤシカ本社 (東京)	倉紡倉敷 (岡山)		藤沢商業高校 (神奈川)		四天王寺高校 (大阪)

9人制を廃止

17	昭和37 岡山	倉敷市		倉敷市		倉敷市		津山市		津山市	
		日本鋼管 (神奈川)		広島教員 (広島)		倉紡倉敷 (岡山)		姫路南高校 (兵庫)		四天王寺高校 (大阪)	
18	昭和38 山口	山口市		山口市		山口市		宇部市		宇部市	
		日本鋼管 (神奈川)		新潟県教員クラブ (新潟)		倉紡倉敷 (岡山)		藤沢高校 (神奈川)		四天王寺高校 (大阪)	
19	昭和39 新潟	新発田市									
		松下電器 (大阪)		新潟教員 (新潟)		倉紡倉敷 (岡山)		中央大学附属高校 (東京)		今治明徳高 (愛媛)	
20	昭和40 岐阜	高山市		高山市		高山市		高山市		穂積市	
		日本鋼管 (神奈川)		岐阜教員 (岐阜)		フジクラブ (東京)		中央大学附属高校 (東京)		四天王寺高校 (大阪)	
21	昭和41 大分	大分市		大分市		臼杵市		大分市		臼杵市	
		松下電器 (大阪)		大分教員 (大分)		フジクラブ (東京)		中央大学附属高校 (東京)		四天王寺高校 (大阪)	
22	昭和42 埼玉	川越市		川越市		川越市		大宮市		大宮市	
		住友金属 (福岡)		埼玉教員 (埼玉)		倉紡倉敷 (岡山)		中央大学附属高校 (東京)		豊橋東高校 (愛知)	
23	昭和43 福井	敦賀市		敦賀市		敦賀市		鯖江市		敦賀市	
		松下電器 (大阪)		長崎教員 (長崎)		倉紡倉敷 (岡山)		崇徳高校 (広島)		四天王寺高校 (大阪)	
24	昭和44 長崎	佐世保市		佐世保市		佐世保市		佐世保市		長崎市	
		松下電器 (大阪)		長崎教員 (長崎)		東洋紡守口 (大阪)		崇徳高校 (広島)		四天王寺高校 (大阪)	
25	昭和45 岩手	江刺市		江刺市		江刺市		花巻市		花巻市	
		松下電器 (大阪)		岐阜教員 (岐阜)		東洋紡守口 (大阪)		中央大学附属高校 (東京)		鹿児島照国高校 (鹿児島)	
26	昭和46 和歌山	御坊市									
		松下電器 (大阪)		和歌山教員 (和歌山)		ユニチカ貝塚 (大阪)		大阪商業大学附属高校 (大阪)		高田高校 (岩手)	
27	昭和47 鹿児島	鹿屋市									
		日本鋼管 (神奈川)		千葉教員 (千葉)		ユニチカ貝塚 (大阪)		大阪商業大学附属高校 (大阪)		中村高校 (東京)	
28	昭和48 千葉	千葉市									
		旭化成旭陽会 (岡山)		千葉教員 (千葉)		ユニチカ貝塚 (大阪)		大阪商業大学附属高校 (大阪)		八王子実践高校 (東京)	
29	昭和49 茨城	古河市									
		富士フィルム (神奈川)		茨城教員 (茨城)		鐘紡 (三重)		東海大第四高校 (北海道)		博多女子商業高校 (福岡)	

種別名を変更

回	年	成年男子一般		成年男子教員		成年女子		少年男子		少年女子	
	開催県	6人制	9人制	6人制	9人制	6人制	9人制	6人制	9人制	6人制	9人制
30	昭和50 三重	鈴鹿市									
		新日鉄製鐵 (大阪)		大阪教員 (大阪)		ユニチカ貝塚 (大阪)		崇徳高校 (広島)		四天王寺高校 (大阪)	一宮女子農業學校 (兵庫)

教員種別を廃止

31	昭和51 佐賀	鳥栖市									
			岩崎通信機 (東京)				久光製薬 (佐賀)	崇徳高校 (広島)		成安女子高校 (京都)	四天王寺高校 (大阪)

成年男子種別に9人制を追加

32	昭和52 青森	青森市				むつ市		青森市		青森市	
		住友金属排球団 (福岡)	茨城教員 (茨城)			カネボウ (三重)		弘前工業高校 (青森)		泉州高校 (大阪)	

成年女子種別に９人制を追加

33	昭和 53 長野	下諏訪町			岡谷市		岡谷市・辰野町		下諏訪町		
		富士フィルム （神奈川）	岐阜教員 （岐阜）		カネボウ （三重）	宮崎マツダ （宮崎）	宇部商業高校 （山口）		宇都宮女子商業高校 （栃木）		
34	昭和 54 宮崎	都城市			都城市				小林市		
		専売広島 （広島）	岐阜教員 （岐阜）		カネボウ （三重）	宮崎マツダ （宮崎）	藤沢商業高校 （神奈川）		古川商業高校 （宮城）		
35	昭和 55 栃木	佐野市									
		新日本製鉄 （大阪）	佐野排球会 （栃木）		久光製薬 （佐賀）	富士電機川崎 （神奈川）	大阪商業大学付属高校 （大阪）		成安女子高校 （京都）		
36	昭和 56 滋賀	守山市			守山市				近江八幡市		
		専売広島 （広島）	電電岡山 （岡山）		カネボウ （三重）	日清紡能登川 （滋賀）	大阪選抜 （大阪）		宇都宮女子商業高校 （栃木）		
37	昭和 57 島根	斐川町			出雲市	安来市	出雲市		安来市		
		富士フィルム （神奈川）	オリンパス辰野 （長野）		カネボウ （三重）	西日本相互銀行 （福岡）	東洋高校 （東京）		全東京 （東京）		
38	昭和 58 群馬	伊勢崎市			伊勢崎市		太田市		大泉市・太田市		
		住友金属排球団 （福岡）	群馬教員クラブ （群馬）		久光製薬 （佐賀）	群馬銀行 （群馬）	青森選抜 （青森）		氷上農業高校 （兵庫）		
39	昭和 59 奈良	新庄町	香芝町		桜井市	香芝町	桜井市		当麻市		
		住友金属 （福岡）	専売九州 （福岡）		東洋紡 （大阪）	西日本銀行 （福岡）	法政二高 （神奈川）		古川商業高校 （宮城）		
40	昭和 60 鳥取	倉吉市	羽合町		倉吉市	北条町	倉吉市		倉吉市		
		松下電器 （大阪）	山形クラブ （山形）		ダイエー （大阪）	群馬銀行 （群馬）	法政二高 （神奈川）		全東京 （東京）		
41	昭和 61 山梨	櫛形町	甲府市		櫛形町	甲府市	山梨市		竜王町		
		コスモ石油 （三重）	山梨クラブ （山梨）		久光製薬 （佐賀）	山梨中央銀行 （山梨）	東亜学園高校 （東京）		氷上高校 （兵庫）		
42	昭和 62 沖縄	浦添市	平良市		上野村	浦添市	具志川市		那覇市		
		日本電気 （東京）	沖縄銀行 （沖縄）		ダイエー （大阪）	琉球銀行 （沖縄）	東海大第四高校 （北海道）		扇城高校 （大分）		

成年種別が１・２部制となる

回	年	成年男子１部		成年男子２部	成年女子１部		成年女子２部	少年男子	少年女子
	開催県	６人制	９人制	９人制	６人制	９人制	９人制	６人制	６人制
43	昭和 63 京都	福知山市	綾部市	舞鶴市	綾部市	舞鶴市	福知山市	舞鶴市	福知山市
		神戸製鋼 （兵庫）	京都選抜 （京都）	全京都男子 （京都）	ダイエー （大阪）	日立金属安来 （島根）	神奈川選抜 （神奈川）	神奈川選抜 （神奈川）	氷上高校 （兵庫）
44	平成元 北海道	深川市		岩見沢市	深川市		岩見沢市		
		東レ九鱗会 （静岡）	三菱電機 （兵庫）	大阪 （大阪）	久光製薬 （佐賀）	山梨中央銀行 （山梨）	埼玉選抜 （埼玉）	福岡選抜 （福岡）	埼玉選抜 （埼玉）
45	平成２ 福岡	久留米市	福岡市		久留米市	福岡市		直方市	
		富士フィルム （神奈川）	富士通 （兵庫）	福岡 （福岡）	ユニチカ （大阪）	群馬銀行 （群馬）	福岡 （福岡）	広島ジュニア （広島）	全東京 （東京）
46	平成３ 石川	金沢市			山中町		金沢市	山中町	加賀市
		富士フィルム （神奈川）	富士通 （兵庫）	広島選抜 （広島）	イトーヨーカドー （埼玉）	群馬銀行 （群馬）	福岡 （福岡）	全京都 （京都）	大阪選抜 （大阪）
47	平成４ 山形	余目町	酒田市		遊佐町		酒田市		八幡町
		富士フィルム （神奈川）	富士通 （兵庫）	神奈川選抜 （神奈川）	日立 （東京）	西日本銀行 （福岡）	のじぎく （兵庫）	宮城 （宮城）	扇城高校 （大分）
48	平成５ 香川・徳島	善通寺市	白鳥町	丸亀市	善通寺市	引田町	宇多津町	飯山町	丸亀市
		富士フィルム （神奈川）	岡山選抜 （岡山）	香川旧友会 （香川）	イトーヨーカドー （埼玉）	群馬銀行 （群馬）	神奈川 （神奈川）	釜利谷高等学校 （神奈川）	國學院大學栃木高等学校 （栃木）

49	平成6 愛知	名古屋市		田原町	春日井市	田原町	名古屋市	豊橋市	春日井市
		富士フィルム (神奈川)	富士通 (兵庫)	岡山選抜 (岡山)	日本電装 (愛知)	群馬銀行 (群馬)	愛知選抜 (愛知)	福岡選抜 (福岡)	九州文化学園高等学校 (長崎)
50	平成7 福島	会津若松市	喜多方市		会津若松市	喜多方市		福島市	
		住友金属工業排球団 (福岡)	富士通 (兵庫)	神奈川選抜 (神奈川)	イトーヨーカドー・プリオール (埼玉)	群馬銀行 (群馬)	ニットークラブ (福島)	神奈川県	岡山県
51	平成8 広島	広島市	三次会場	加計町	呉市	府中市		広島市	吉田町
		富士フィルム (神奈川)	富士通 (兵庫)	広島倶楽部 (広島)	大阪選抜 (大阪)	マツダ (広島)	千葉選抜 (千葉)	大阪府	大分県
52	平成9 大阪	堺市	泉大津市		貝塚市	熊取町	阪南市	牧方市	大阪市
		大阪選抜 (大阪)	住友電工 (大阪)	大阪選抜 (大阪)	東芝シーガルズ (神奈川)	群馬銀行 (群馬)	大阪選抜 (大阪)	大阪府	大阪府
53	平成10 神奈川	南足柄市	藤沢市	座間市	相模原市		座間市	藤沢市	南足柄市
		富士フィルム (神奈川)	住友電工 (大阪)	神奈川選抜 (神奈川)	東芝シーガルズ (神奈川)	神奈川中央交通 (神奈川)	神奈川選抜 (神奈川)	埼玉県	石川県

成年種別の１・２部制を廃止

回	年	成年男子		成年女子		少年男子	少年女子
	開催県	6人制	9人制	6人制	9人制	6人制	6人制
54	平成11 熊本	牛深市	人吉市	合志町	相良村	熊本市	熊本市
		NEC (東京)	富士通 (兵庫)	熊本選抜 (熊本)	群馬銀行 (群馬)	埼玉県	宮城県
55	平成12 富山	黒部市	朝日町	黒部市	入善町	魚津市	滑川市
		東レアローズ (静岡)	北陸電力 (富山)	日立ベルフィーユ (東京)	群馬銀行 (群馬)	長野県	山口県
56	平成13 宮城	岩沼市	志津川町・津山町	岩沼市	志津川町・歌津町	田尻町	古川市・小牛田町
		ＪＴサンダーズ (広島)	東北リコー (宮城)	パイオニア・レッドウイングス (山形)	群馬銀行 (群馬)	埼玉県	長崎県
57	平成14 高知	中芸地区	安芸市	中芸地区	安芸市	須崎市	大正町
		ＪＴサンダーズ (広島)	東北リコー (宮城)	シーガルズ (岡山)	群馬銀行 (群馬)	長野県	東京都
58	平成15 静岡	富士川町	伊豆長岡町	裾野市	天城湯ヶ島町	富士市	三島市
		サントリー (大阪)	東北リコー (宮城)	シーガルズ (岡山)	群馬銀行 (群馬)	長野県	京都府
59	平成16 埼玉	越谷市	所沢市	行田市	所沢市	深谷市	川越市
		ＪＴサンダーズ (広島)	中部徳洲会病院 (沖縄)	シーガルズ (岡山)	パイオニア所沢 (埼玉)	埼玉県	長崎県
60	平成17 岡山	高梁市	吉備中央町	赤磐市	岡山市	玉野市	岡山市
		ＪＴサンダーズ (広島)	岡山選抜 (岡山)	シーガルズ (岡山)	松下電池 (大阪)	広島県	長崎県
61	平成18 兵庫	小野市	明石市	多可町	洲本市	加古川市	たつの市
		サントリーサンバーズ (大阪)	富士通 (兵庫)	シーガルズ (岡山)	富士通テン (兵庫)	長野県	長崎県
62	平成19 秋田	大館市	大館市	大館市	北秋田市	横手市	横手市
		ＪＴサンダーズ (広島)	中部徳洲会病院 (沖縄)	東レアローズ (滋賀)	TDK (秋田)	福岡県	京都府
63	平成20 大分	別府市	日田市	別府市	豊後高田市	別府市	別府市
		大分三好 (大分)	中部徳洲会病院 (沖縄)	シーガルズ (岡山)	佐伯長陽会Ｉ・Ｏ (大分)	愛知県	山口県
64	平成21 新潟	小千谷市	魚沼市	小千谷市	魚沼市	長岡市	長岡市
		ジェイテクトＳＴＩＮＧＳ (愛知)	東北リコー (宮城)	シーガルズ (岡山)	佐賀エレクトロニックス (佐賀)	千葉県	大分県
65	平成22 千葉	東金市	茂原市	茂原市	東金市	東金市	大網白里町
		ＪＴサンダーズ (広島)	住友電工 (大阪)	シーガルズ (岡山)	富士通テン (兵庫)	福岡県	宮城県

成年種別の９人制を廃止

回	年 開催県	６人制 成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
66	平成 23 山口	山口市	山口市	宇部市	防府市
		FC 東京 （東京）	東レアローズ （滋賀）	山口県	山口県
67	平成 24 岐阜	安八町	美濃加茂市	山県市	海津市
		豊田合成 （愛知）	久光製薬 （佐賀）	愛知県	長崎県
68	平成 25 東京	立川市	羽村市	町田市	町田市
		豊田合成 （愛知）	パイオニアレッドウィングス （山形）	愛知県	東京都
69	平成 26 長崎	諫早市	諫早市	島原市	佐世保市
		ながさき （長崎）	岡山シーガルズ （岡山）	福岡県	大阪府
70	平成 27 和歌山	橋本市	橋本市	橋本市	御坊市
		東レアローズ （静岡）	岡山シーガルズ （岡山）	福岡県	長崎県
71	平成 28 岩手	一関市	一関市	花巻市	花巻市
		ＪＴサンダーズ （広島）	上尾メディックス （埼玉）	東京都	大阪府

ビーチバレーボール種目の追加

回	年 開催県	６人制 成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	ビーチバレーボール 男子	女子
72	平成 29 愛媛	八幡浜市	伊方町	伊予市	鬼北町	伊予市	伊予市
		FC 東京 （東京）	久光製薬スプリングス （佐賀）	東京都	大阪府	愛媛県	福井県
73	平成 30 福井	あわら市	あわら市	坂井市	坂井市	小浜市	小浜市
		ＪＴサンダーズ （広島）	久光製薬株式会社 （佐賀）	京都府	東京都	愛媛県	神奈川県

ビーチバレーボール種目の種別変更

回	年 開催県	６人制 成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	ビーチバレーボール 少年男子	少年女子
74	令和元 茨城	ひたちなか市	ひたちなか市	ひたちなか市	結城市	大洗町	大洗町
		東レ株式会社 （静岡）	東レ株式会社 （滋賀）	京都府	東京都	沖縄県	東京都
75	令和２ 鹿児島	いちき串木野市	鹿屋市	鹿児島市	鹿児島市	大崎町	大崎町
		中止					
76	令和３ 三重	津市	津市	津市	津市	津市	津市
		中止					
77	令和４ 栃木	佐野市	鹿沼市	宇都宮市	宇都宮市	足利市	足利市
		筑波大 （茨城）	石川選抜 （石川）	熊本県	宮城県	沖縄県	岐阜県
特別	令和５ 鹿児島	いちき串木野市	鹿屋市	鹿児島市	鹿児島市	大崎町	大崎町
		ＪＴサンダーズ （広島）	久光スプリングス （佐賀）	山口県	東京都	沖縄県	東京都
78	令和６ 佐賀	小城市	佐賀市	吉野ヶ里町・みやき町	鳥栖市	伊万里市	伊万里市
		埼玉アザレア （埼玉県）	久光スプリングス （佐賀）	東京都	岡山県	長崎県	愛媛県
79	令和７ 滋賀	草津市	草津市	近江八幡市	守山市	長浜市	長浜市
		筑波大 （茨城県）	岡山シーガルズ （岡山県）	熊本県	岡山県	佐賀県	京都府
80	令和8 青森	青森市	五所川原市	青森市	つがる市	青森市	青森市

青　森　市

競　技　役　員

（順不同・敬称略）

≪マエダアリーナ≫

全体総括委員長	國分裕之			
全体総括副委員長	大瀬良一	齋藤達人		
競技委員長	堀越由高			
競技副委員長	浅井浩輝	倉光雄大	堀内将雄	
競技委員	大鰐由紀	我満真哉	木村健司	工藤慎也
	小松崎瞬	櫻井桂后	高木和彦	米田泰史
コンポジション主任	小田桐崇	小松崎瞬		
コンポジション委員	伊瀬谷和樹	藤田研二		
式典主任	玉田英徳	成田康佑		
式典委員	山谷倫規	渡辺充		
コート主任	工藤大輝	山本衛		
コート委員	大鰐由紀	木村颯太郎	小松崎瞬	櫻井桂后
	高木和彦	山田烈		
記録報道主任	小山内忍			
記録報道委員	菅原明彦	鈴木洸晶		
放送主任	平山裕那			
放送委員	伊藤佳央理	伊東美絵子		
練習会場主任	藤田研二			
練習会場委員	荒内真咲	工藤隆弘	布施正太郎	
審判副委員長	勝又正	工藤治	田野昭彦	晴山雅紀
審判委員	浅野修平	伊藤薫	小野晧平	川村陽平
	酒巻祐亮	髙橋暢広	高橋宏明	多田直樹
	田中哲	新岡勇士	早坂行博	山道律人
記録主任	小田桐崇	横濱愛莉		
記録委員	生田元気	小田桐崇	蠣崎広樹	久保博基
	佐藤明徳	佐藤剛大	須藤研二	田代まどか
	成田優月	深沢直幹	三上健	横濱愛莉
総務委員長	本郷拓史			
総務副委員長	柴田一生			
総務委員	下川原侑生	成田康佑	平山裕那	
総合成績計算委員長	堀越由高			
総合成績計算委員	小山内忍	川口雅志		
コートオフィシャル主任	川渕雄大	小角大樹	山川貴正	

競 技 補 助 員

（順不同・敬称略）

≪ マエダアリーナ（新青森県総合運動公園）≫

青森市立造道中学校
青森市立沖館中学校
青森市立荒川中学校
青森市立東中学校
青森県立青森高等学校
青森県立青森東高等学校
青森県立青森工業高等学校
青森県立青森商業高等学校
青森県立青森南高等学校
青森県立青森北高等学校
青森県立青森中央高等学校
青森山田高等学校
青森明の星高等学校

競 技 会 係 員

（順不同・敬称略）

≪ マエダアリーナ（新青森県総合運動公園）≫

青の煌めきあおもり国スポ･障スポ青森市実施本部職員

競 技 会 補 助 員

（順不同・敬称略）

≪ マエダアリーナ（新青森県総合運動公園）≫

運営ボランティアの皆様

種別表彰式次第(成年男子)

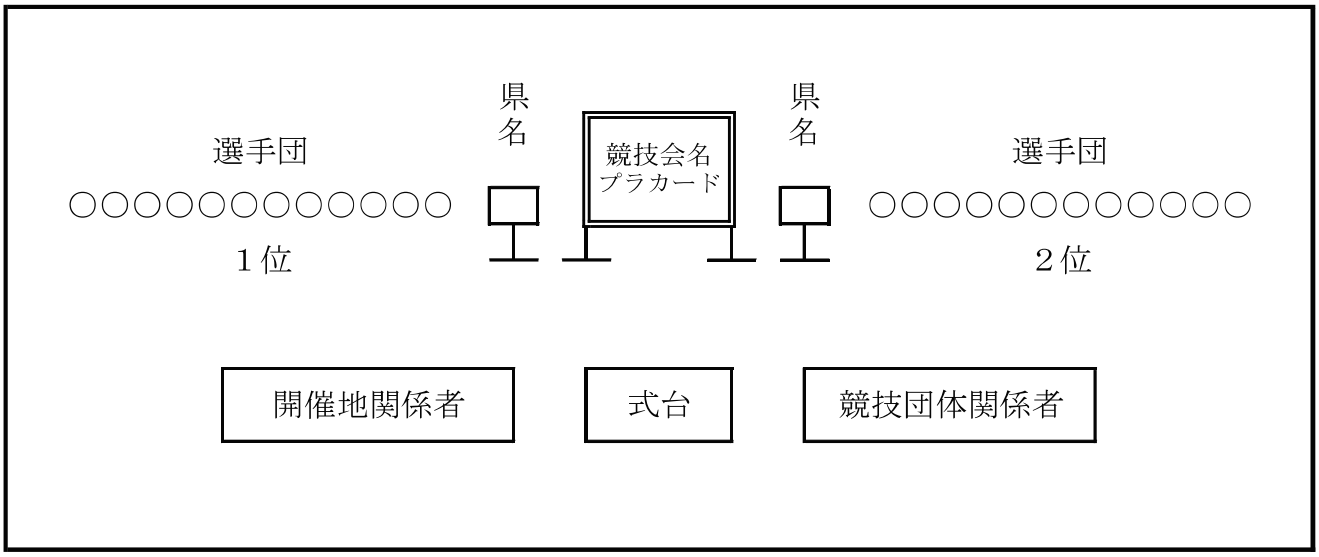
① 日　　時　　令和８年10月14日(水)　決勝戦終了後（30分後）予定時刻14：00

② 会　　場　　マエダアリーナ（サブアリーナ）

③ 式 次 第

順序	次　　第	時　間	備　考
	選　手　集　合	13：55	
	選手・来賓・役員整列	13：55	
1	開　式　通　告	14：00	ファンファーレ
2	種　別　成　績　発　表	14：01	
3	賞　状　授　与	14：03	得賞歌「見よ勇者は帰りぬ」
4	競技会会長あいさつ	14：05	
5	歓　送　の　こ　と　ば	14：08	青森市副市長
6	大会旗・日本協会旗・県旗・市旗儀礼	14：11	「若い力」
7	国　旗　儀　礼	14：13	「君が代」
8	種　別　終　了　宣　言	14：15	ファンファーレ
9	閉　式　通　告	14：16	ファンファーレ
10	選　手　解　散	14：17	

④ 種別表彰式整列要領



種別表彰式次第(少年男子)

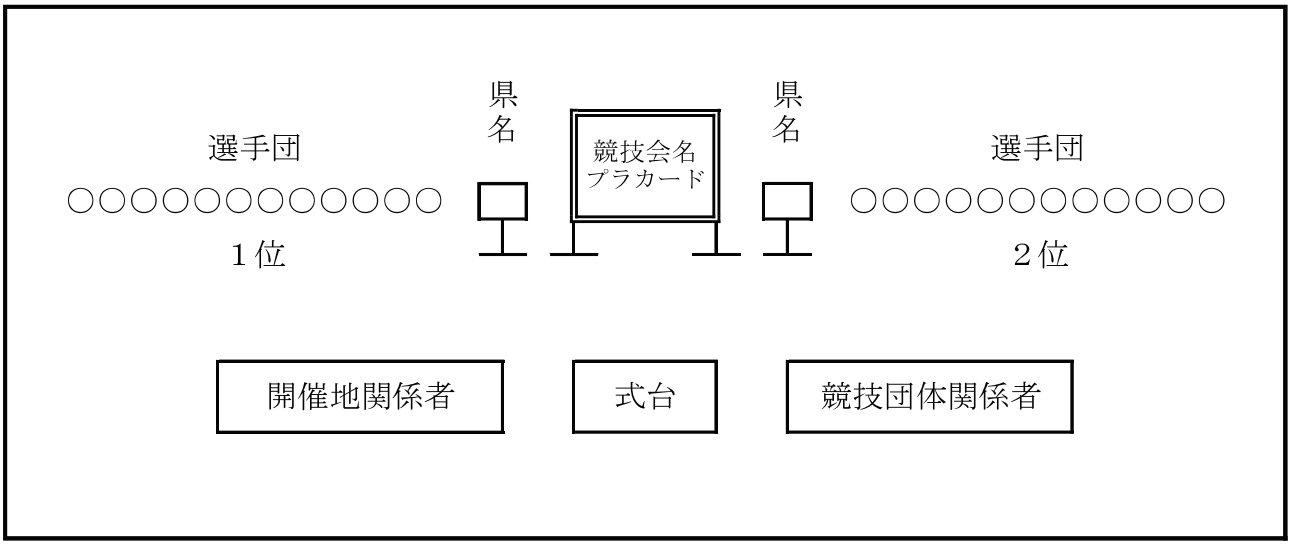
① 日　　時　　令和８年10月14日(水)　決勝戦終了30分後　予定時刻14：00

② 会　　場　　マエダアリーナ（メインアリーナ)

③ 式 次 第

順序	次　　第	時　間	備　考
	選　手　集　合	13：55	
	選手・来賓・役員整列	13：55	
1	開　式　通　告	14：00	ファンファーレ
2	種　別　成　績　発　表	14：01	
3	賞　状　授　与	14：03	得賞歌「見よ勇者は帰りぬ」
4	競技会会長あいさつ	14：05	
5	歓　送　の　こ　と　ば	14：08	青森市副市長
6	大会旗・日本協会旗・県旗・市旗儀礼	14：11	「若い力」
7	国　旗　儀　礼	14：13	「君が代」
8	種　別　終　了　宣　言	14：15	ファンファーレ
9	閉　式　通　告	14：16	ファンファーレ
１０	感　謝　状　贈　呈	14：17	
１１	選　手　解　散	14：20	

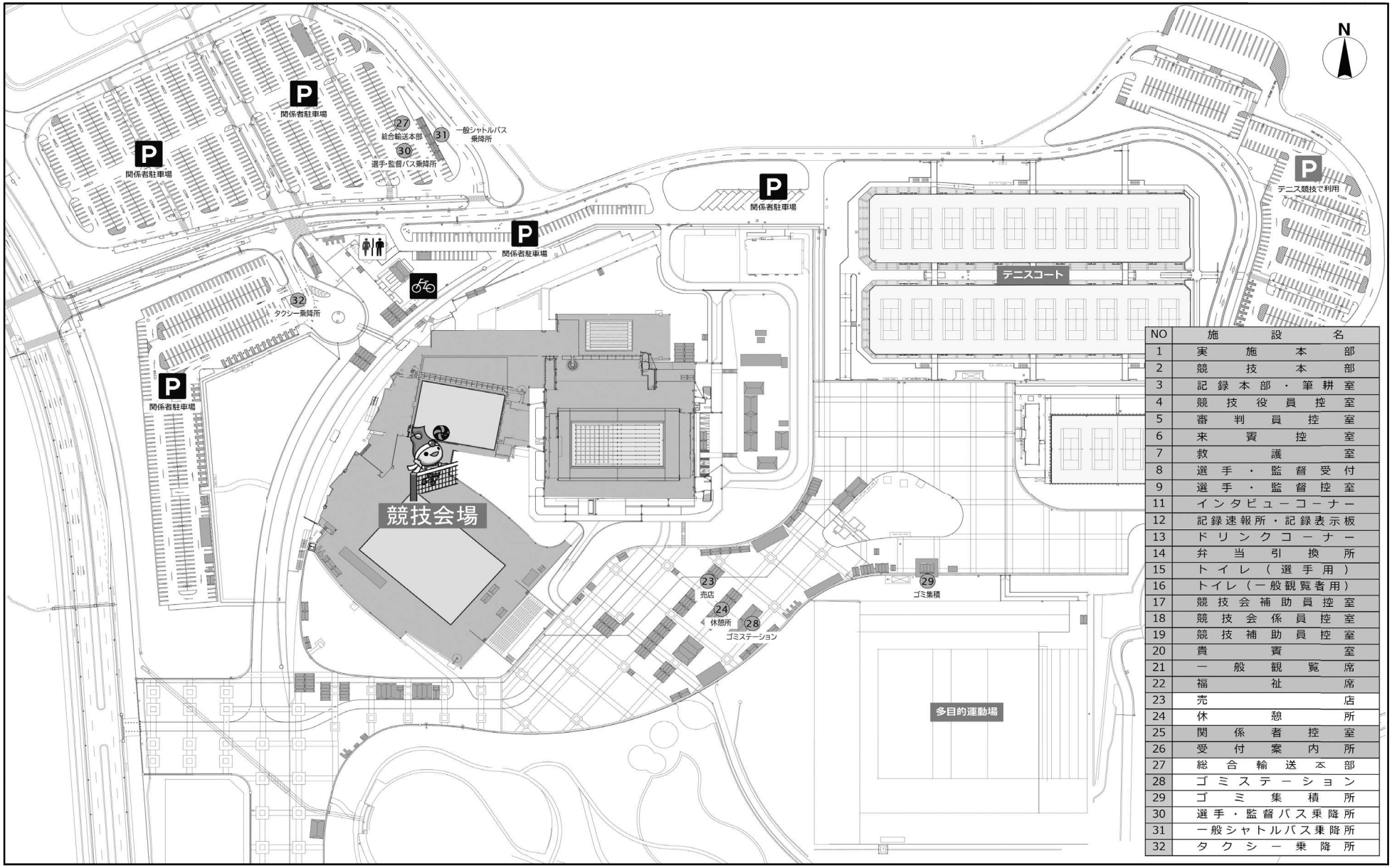
④ 種別表彰式整列要領



青森市競技会場・練習会場案内図（成年男子・少年男子）

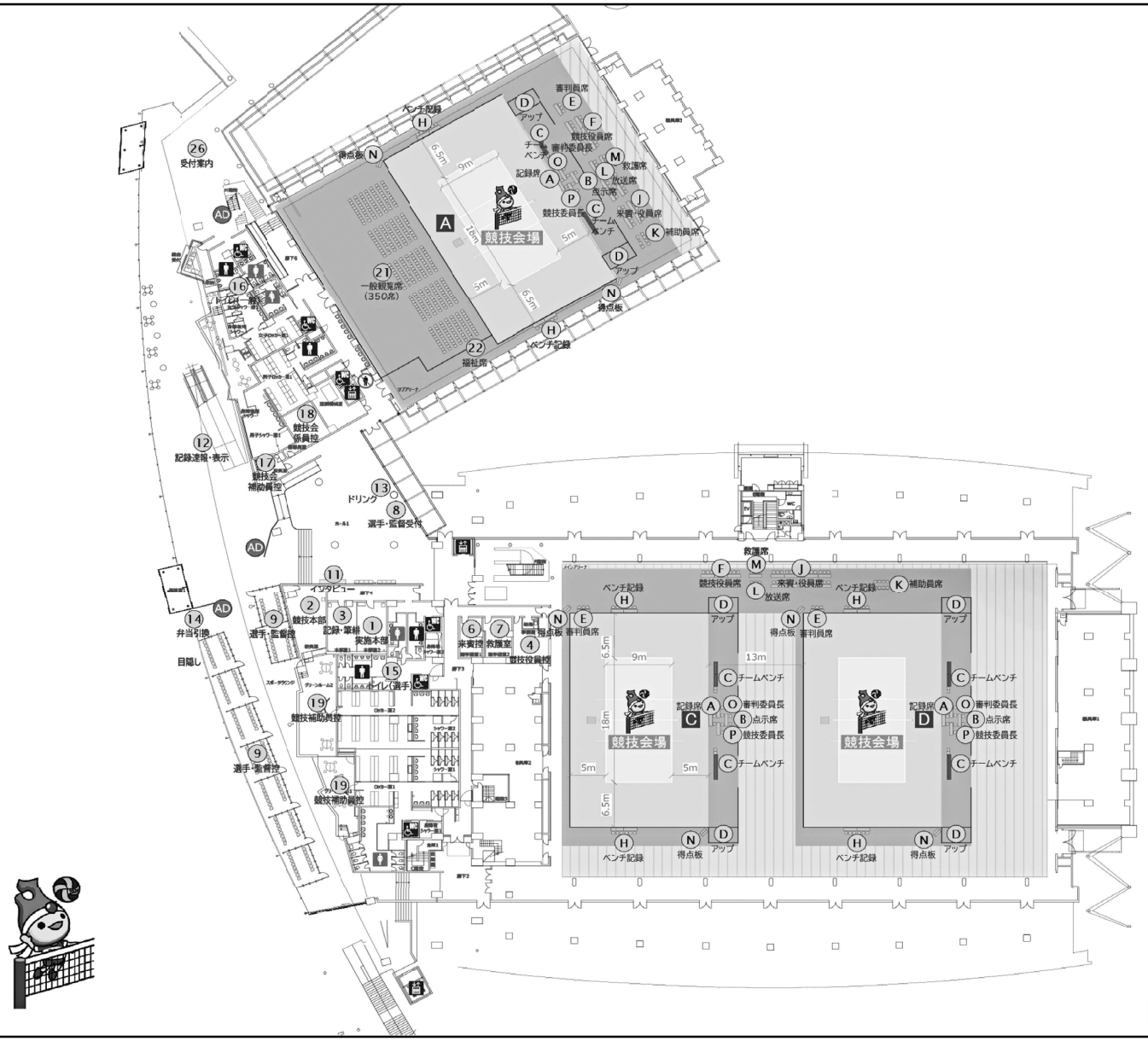


マエダアリーナ　周辺図



NO	施設名
1	実施本部
2	競技本部
3	記録本部・筆耕室
4	競技役員控室
5	審判員控室
6	来賓控室
7	救護室
8	選手・監督受付
9	選手・監督控室
11	インタビューコーナー
12	記録速報所・記録表示板
13	ドリンクコーナー
14	弁当引換所
15	トイレ（選手用）
16	トイレ（一般観覧者用）
17	競技会補助員控室
18	競技会係員控室
19	競技補助員控室
20	貴賓室
21	一般観覧席
22	福祉席
23	売店
24	休憩所
25	関係者控室
26	受付案内所
27	総合輸送本部
28	ゴミステーション
29	ゴミ集積所
30	選手・監督バス乗降所
31	一般シャトルバス乗降所
32	タクシー乗降所

マエダアリーナ　１階

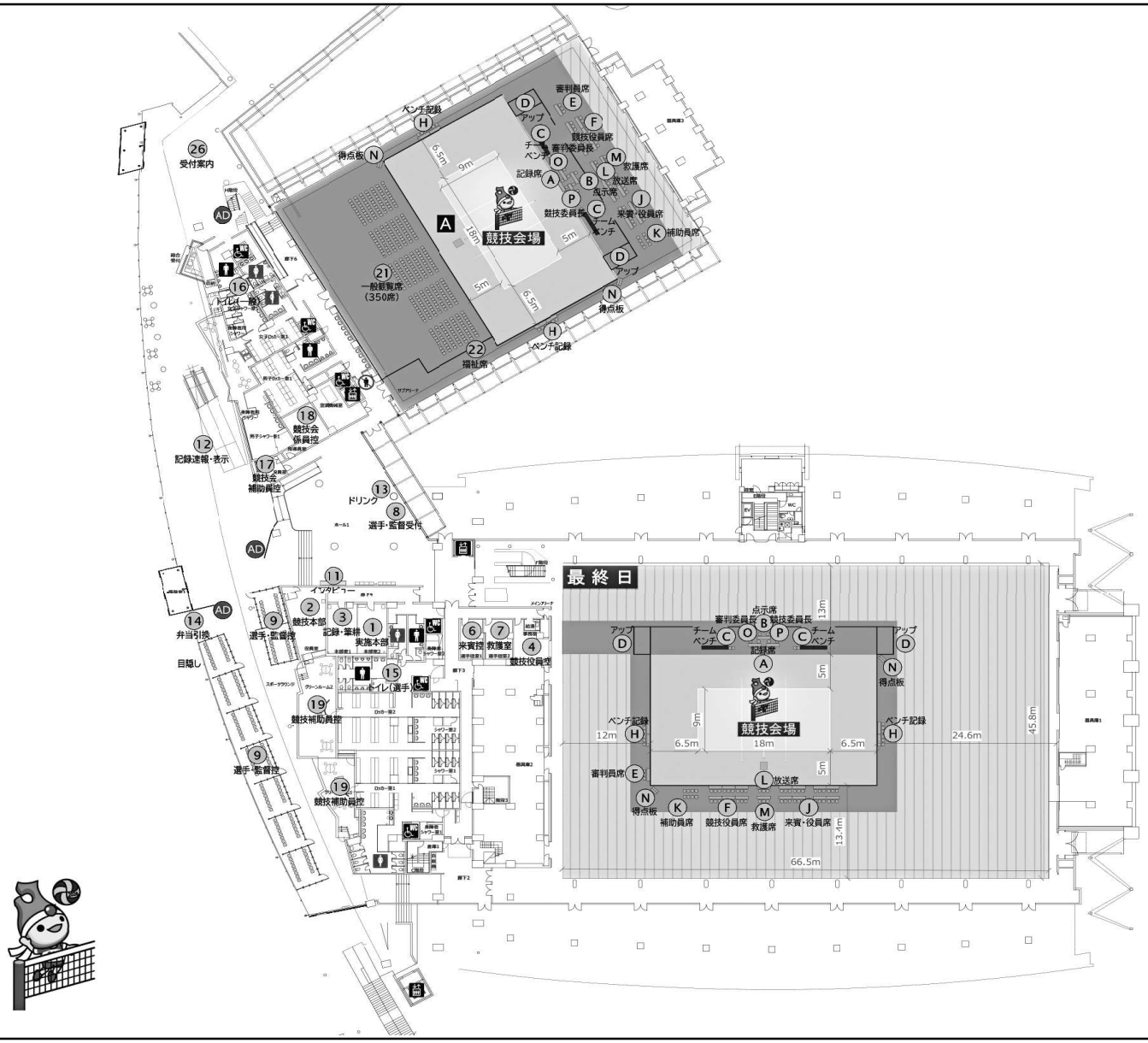


NO	施設名
A	記録席
B	点示席
C	チームベンチ
D	ウォームアップエリア
E	審判員席
F	競技役員席
H	チームベンチ記録席
J	来賓・競技会役員席
K	競技補助員席
L	放送席
M	救護席
N	得点板
O	審判委員長席
P	競技委員長席

NO	施設名
1	実施本部
2	競技本部
3	記録本部・筆耕室
4	競技役員控室
5	審判員控室
6	来賓控室
7	救護室
8	選手・監督受付
9	選手・監督控室
11	インタビューコーナー
12	記録速報所・記録表示板
13	ドリンクコーナー
14	弁当引換所
15	トイレ（選手用）
16	トイレ（一般観覧者用）
17	競技会補助員控室
18	競技会係員控室
19	競技補助員控室
20	貴賓室
21	一般観覧席
22	福祉席
23	売店
24	休憩所
25	関係者控室
26	受付案内所
27	総合輸送本部
28	ゴミステーション
29	ゴミ集積所
30	選手・監督バス乗降所
31	一般シャトルバス乗降所
32	タクシー乗降所

凡例
卓球フェンス

マエダアリーナ　１階

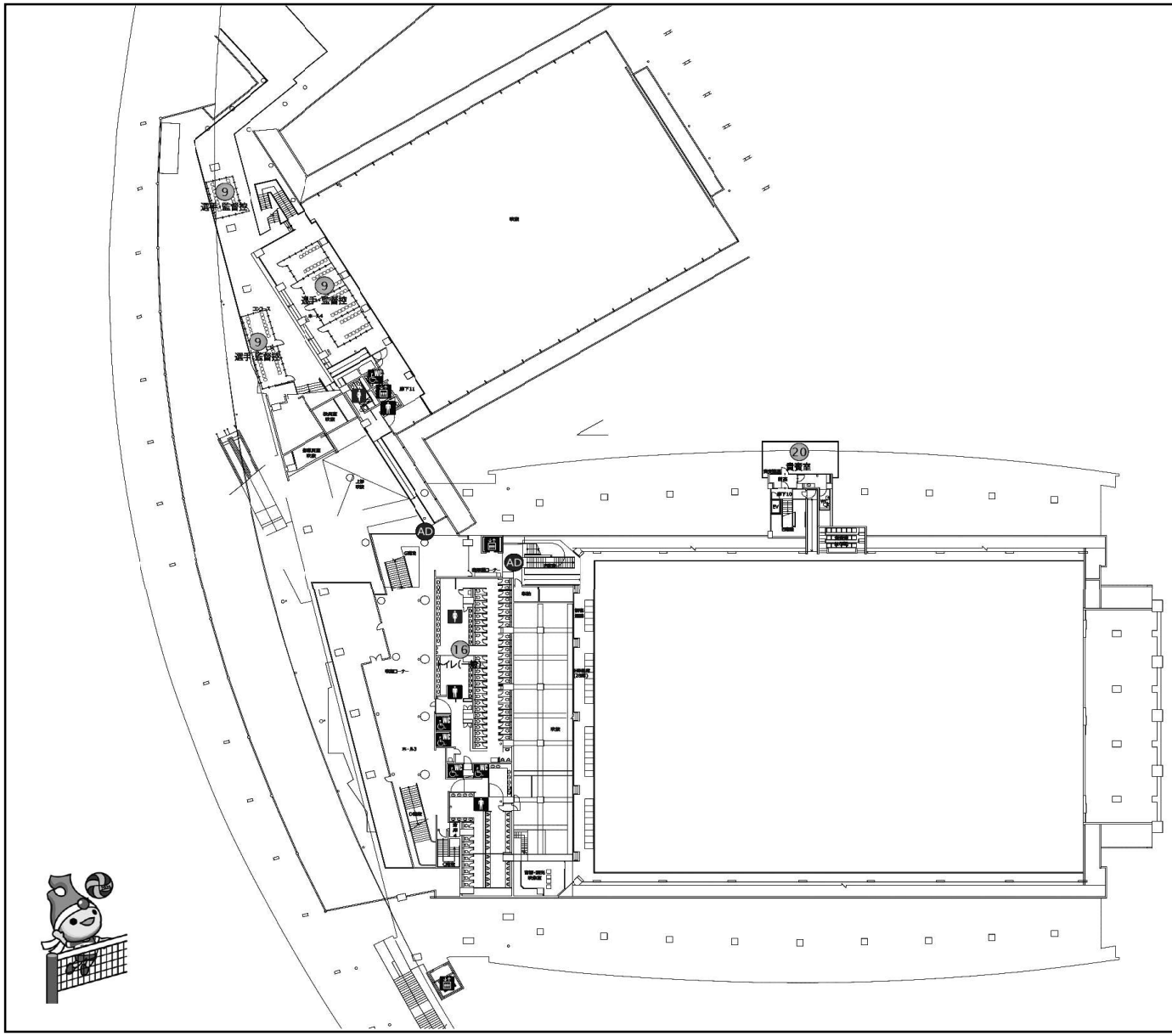


NO	施設名
A	記録席
B	点示席
C	チームベンチ
D	ウォームアップエリア
E	審判員席
F	競技役員席
H	チームベンチ記録席
J	来賓・競技会役員席
K	競技補助員席
L	放送席
M	救護席
N	得点板
O	審判委員長席
P	競技委員長席

NO	施設名
1	実施本部
2	競技本部
3	記録本部・筆耕室
4	競技役員控室
5	審判員控室
6	来賓控室
7	救護室
8	選手・監督受付
9	選手・監督控室
11	インタビューコーナー
12	記録速報所・記録表示板
13	ドリンクコーナー
14	弁当引換所
15	トイレ（選手用）
16	トイレ（一般観覧者用）
17	競技会補助員控室
18	競技会係員控室
19	競技補助員控室
20	貴賓室
21	一般観覧席
22	福祉席
23	売店
24	休憩所
25	関係者控室
26	受付案内所
27	総合輸送本部
28	ゴミステーション
29	ゴミ集積所
30	選手・監督バス乗降所
31	一般シャトルバス乗降所
32	タクシー乗降所

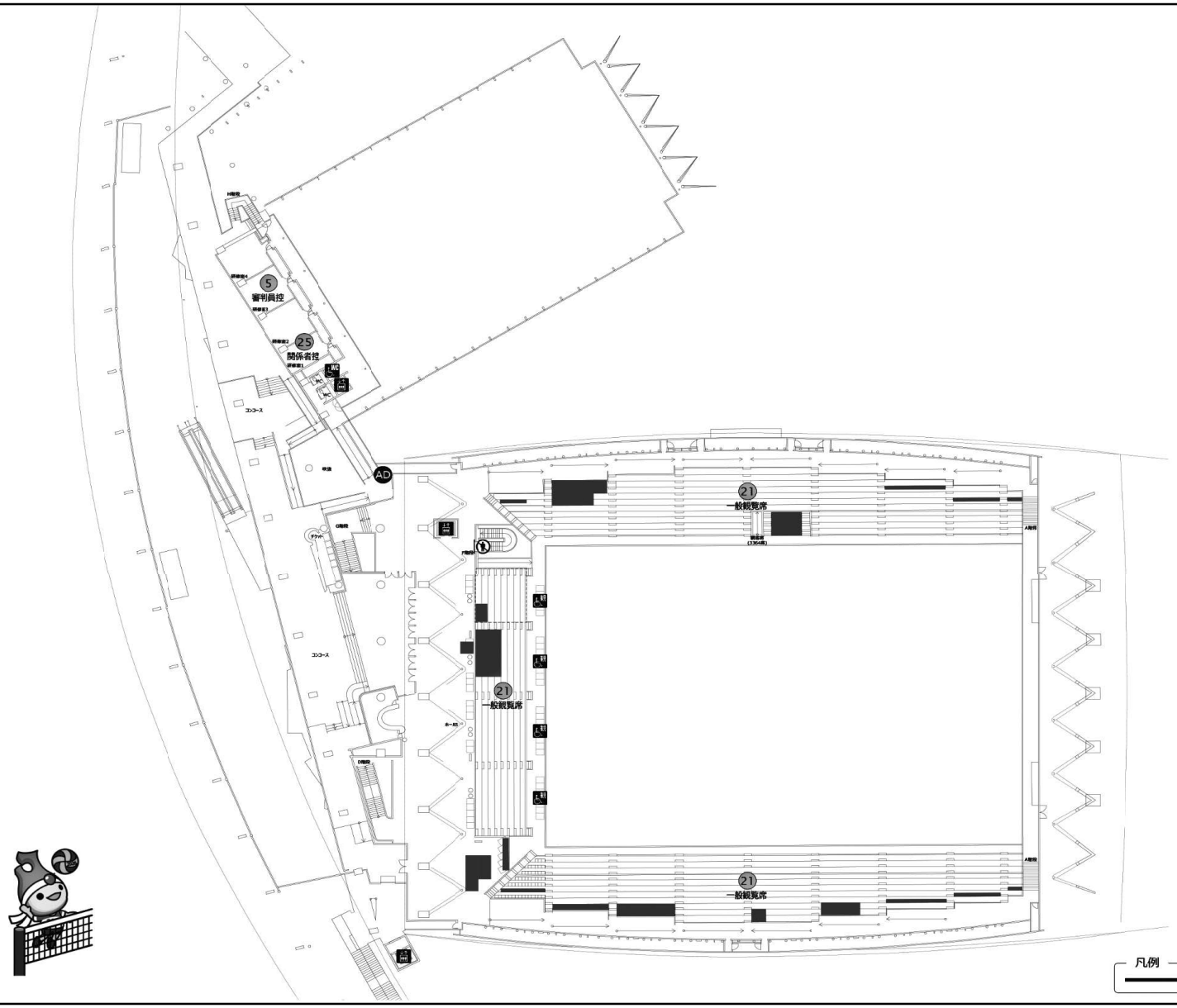
凡例
卓球フェンス

マエダアリーナ　2 階



NO	施設名
1	実施本部
2	競技本部
3	記録本部・筆耕室
4	競技役員控室
5	審判員控室
6	来賓控室
7	救護室
8	選手・監督受付
9	選手・監督控室
11	インタビューコーナー
12	記録速報所・記録表示板
13	ドリンクコーナー
14	弁当引換所
15	トイレ（選手用）
16	トイレ（一般観覧者用）
17	競技会補助員控室
18	競技会係員控室
19	競技補助員控室
20	貴賓室
21	一般観覧席
22	福祉席
23	売店
24	休憩所
25	関係者控室
26	受付案内所
27	総合輸送本部
28	ゴミステーション
29	ゴミ集積所
30	選手・監督バス乗降所
31	一般シャトルバス乗降所
32	タクシー乗降所

マエダアリーナ　３階



NO	施設名
1	実施本部
2	競技本部
3	記録本部・筆耕室
4	競技役員控室
5	審判員控室
6	来賓控室
7	救護室
8	選手・監督受付
9	選手・監督控室
11	インタビューコーナー
12	記録速報所・記録表示板
13	ドリンクコーナー
14	弁当引換所
15	トイレ（選手用）
16	トイレ（一般観覧者用）
17	競技会補助員控室
18	競技会係員控室
19	競技補助員控室
20	貴賓室
21	一般観覧席
22	福祉席
23	売店
24	休憩所
25	関係者控室
26	受付案内所
27	総合輸送本部
28	ゴミステーション
29	ゴミ集積所
30	選手・監督バス乗降所
31	一般シャトルバス乗降所
32	タクシー乗降所

大会関係機関等連絡先一覧

実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 青森市実行委員会事務局	青森市柳川二丁目1番1号	017－761－4462

競技会場

名称	所在地	電話番号
マエダアリーナ	青森市宮田高瀬22番地2	017－737-0601

保健所

名称	所在地	電話番号
青森市保健所	青森市佃二丁目19番13号	017－765-5280

医療機関

名称	所在地	QRコード
医療情報ネット（ナビィ）	右記QRコードまたは、 「医療情報ネット（ナビィ）」 で検索	

MEMO

五 所 川 原 市

競　技　役　員

（順不同・敬称略）

≪五所川原市民体育館≫

全体総括副委員長	長尾篤仁			
競技副委員長	山口博之	浅水伸之		
競技委員	小玉雅之	川崎拓人	甲田信二	
コンポジション主任	船橋大和			
コンポジション委員	倉坪洋平	山形圭介		
式典主任	髙橋洋平			
式典委員	葛西卓哉	種村嘉修	貴田愛歌	吉田萌々香
コート主任	鈴木　行			
コート委員	小川義勝	工藤大成		
記録報道主任	本間貴士			
記録報道委員	佐藤雅哉	岡崎一樹		
場内放送主任	森　静子			
場内放送委員	大川智紀			
練習会場主任	山田人美			
審判副委員長	加治健男	津嶋由香		
審判委員	渡部菜保子	紺野千賀子	石垣　周	藤田真一
コートオフィシャル主任	工藤大河			
コートオフィシャル委員	佐藤遼弥	境　昂紀	石澤秀美	穐元智子
記録主任	新町康之			
記録委員	髙坂日出夫	工藤蒼太	前田雄大	
総務副委員長	工藤渉太			
総務委員	原　裕太郎	村元秀子	木村百合子	長内みゆき
	三橋節子	小山内里佳	對馬真由美	安田　博
総合成績計算委員	本間貴士			

競技補助員

（順不同・敬称略）

≪ 五所川原市民体育館 ≫

青森県立五所川原工科高等学校
青森県立五所川原高等学校
青森県立五所川原農林高等学校
五所川原市立五所川原第一中学校
五所川原市立五所川原第三中学校

競技会係員

（順不同・敬称略）

≪ 五所川原市民体育館 ≫

青の煌めきあおもり国スポ五所川原市実施本部員

競技会補助員

（順不同・敬称略）

≪ 五所川原市民体育館 ≫

五所川原市スポーツ推進委員
五所川原市国スポボランティア

種別表彰式次第(成年女子)

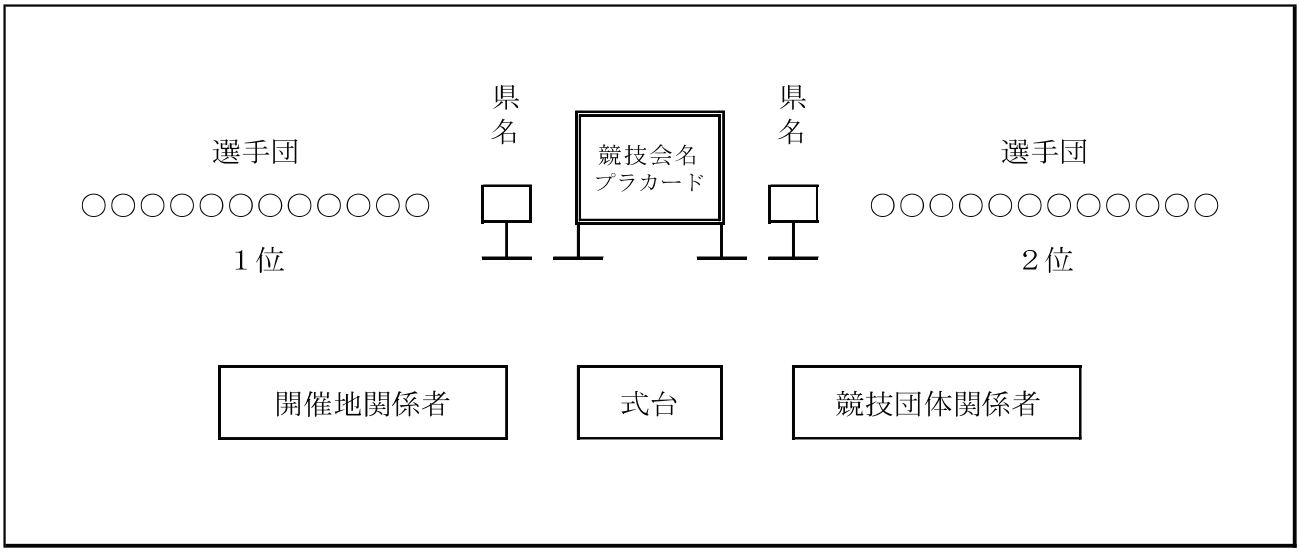
① 日　　時　　令和８年10月14日(水)決勝戦終了後（30分後）予定時刻14：00

② 会　　場　　五所川原市民体育館

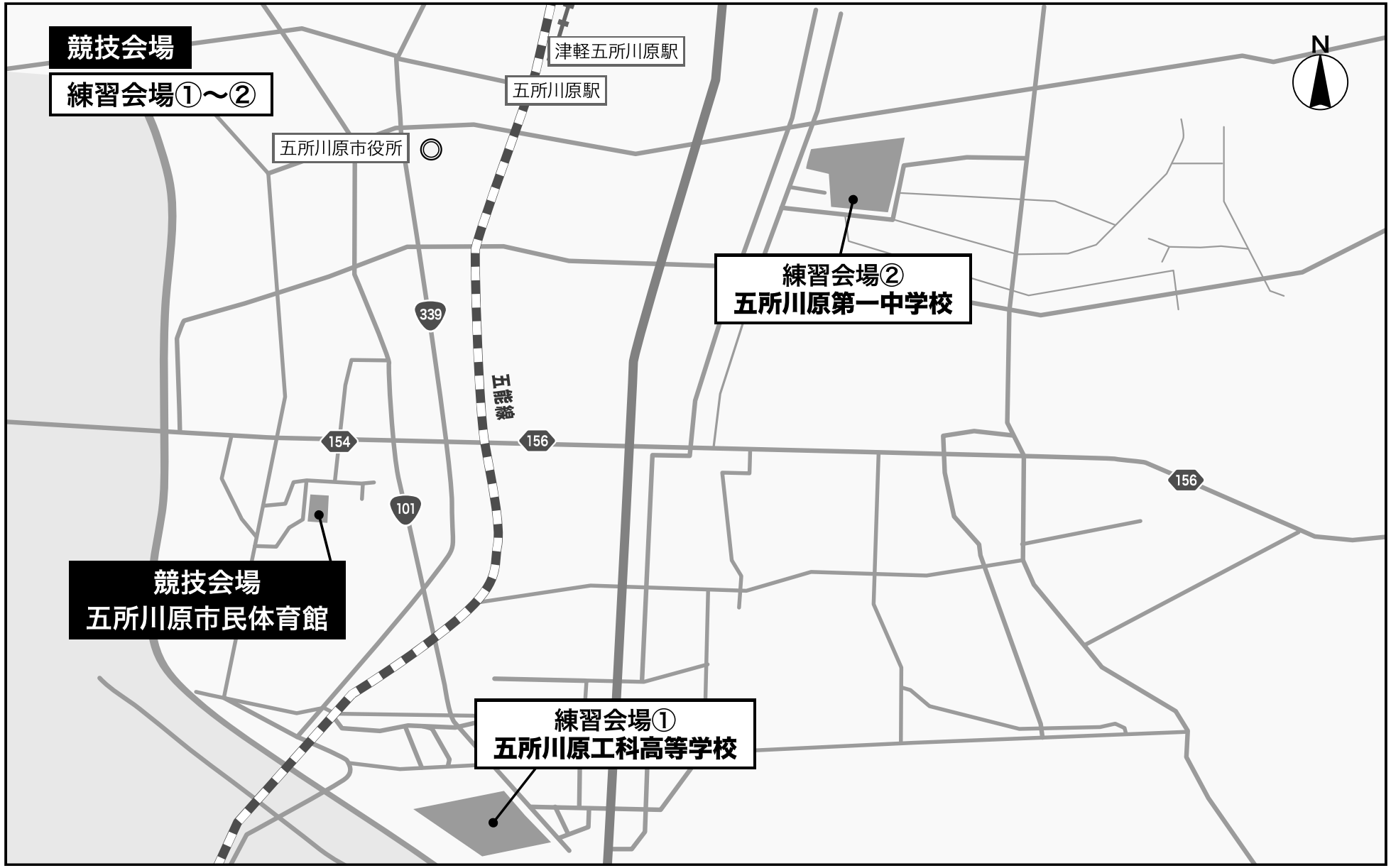
③ 式 次 第

順序	次　　第	時　間	備　考
	選　手　集　合	13：55	
	選手・来賓・役員整列	13：55	
1	開　式　通　告	14：00	ファンファーレ
2	種　別　成　績　発　表	14：01	
3	賞　状　授　与	14：03	得賞歌「見よ勇者は帰りぬ」
4	競技会会長あいさつ	14：05	
5	歓　送　の　こ　と　ば	14：08	五所川原市長
6	大会旗・日本協会旗・県旗・市旗儀礼	14：11	「若い力」
7	国　旗　儀　礼	14：13	「君が代」
8	種　別　終　了　宣　言	14：15	ファンファーレ
9	閉　式　通　告	14：16	ファンファーレ
10	感　謝　状　贈　呈	14：17	
11	選　手　解　散	14：20	

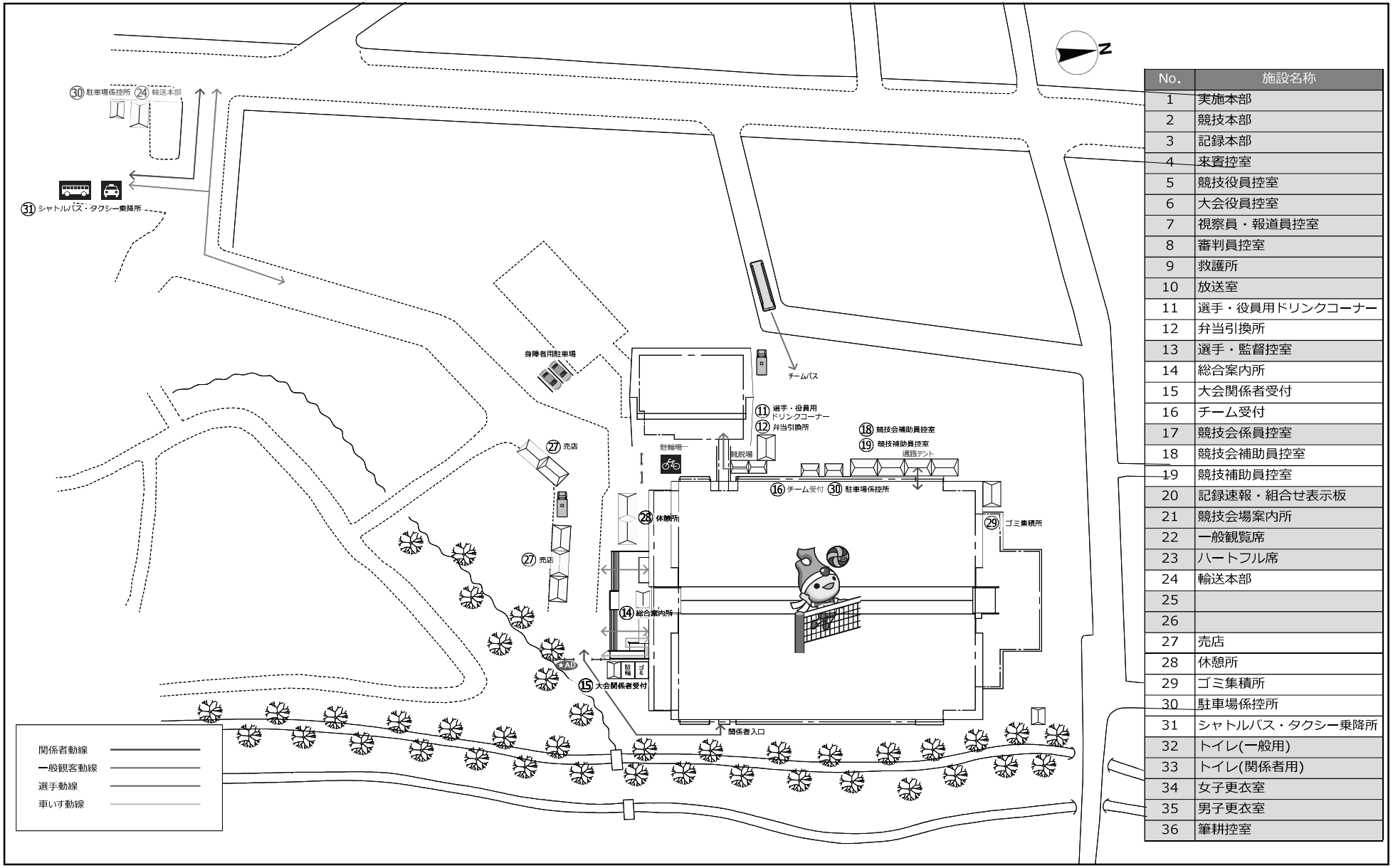
④ 種別表彰式整列要領



五所川原市競技会場・練習会場案内図（成年女子）

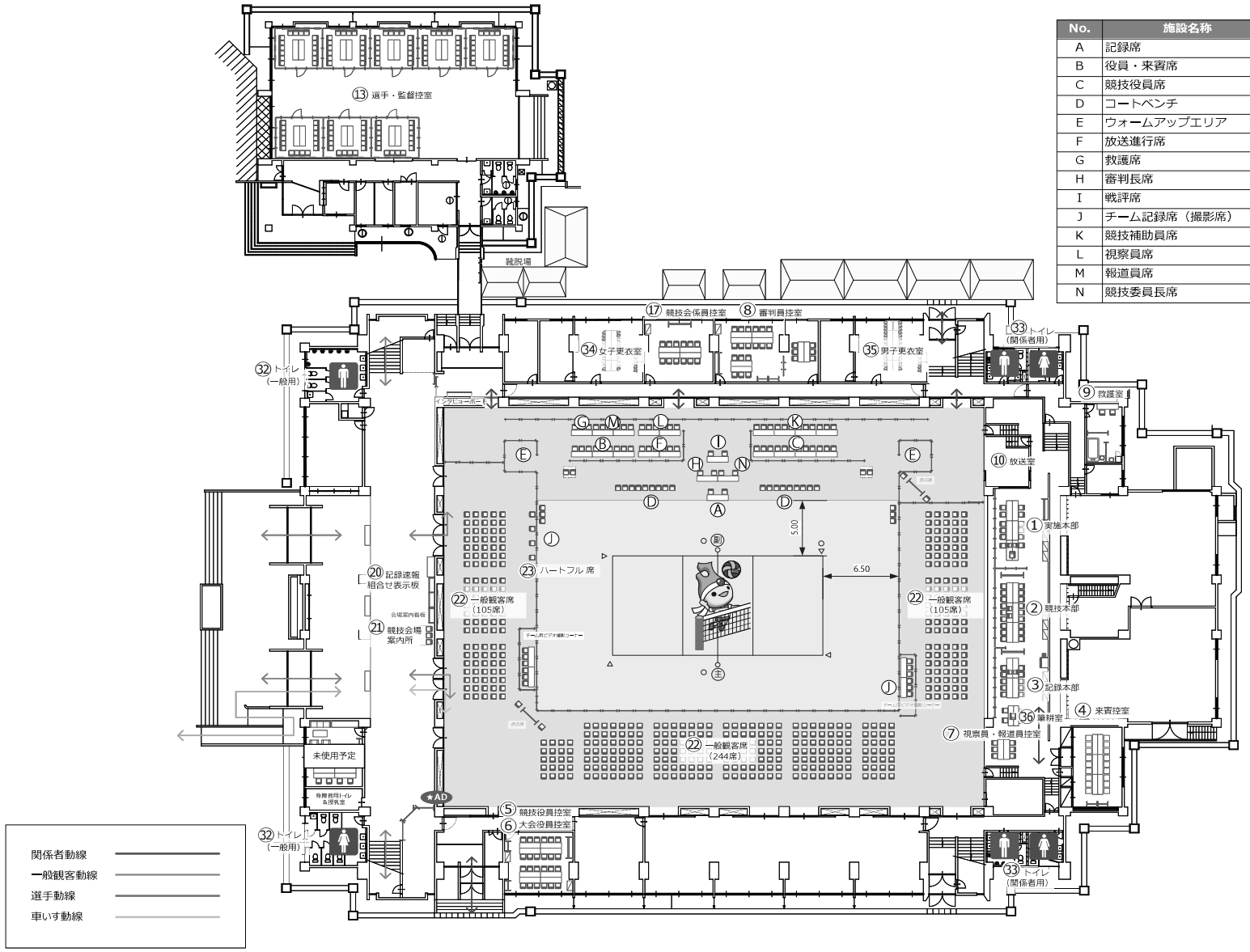


五所川原市民体育館　周辺図



No.	施設名称
1	実施本部
2	競技本部
3	記録本部
4	来賓控室
5	競技役員控室
6	大会役員控室
7	視察員・報道員控室
8	審判員控室
9	救護所
10	放送室
11	選手・役員用ドリンクコーナー
12	弁当引換所
13	選手・監督控室
14	総合案内所
15	大会関係者受付
16	チーム受付
17	競技会係員控室
18	競技会補助員控室
19	競技補助員控室
20	記録速報・組合せ表示板
21	競技会場案内所
22	一般観覧席
23	ハートフル席
24	輸送本部
25	
26	
27	売店
28	休憩所
29	ゴミ集積所
30	駐車場係控所
31	シャトルバス・タクシー乗降所
32	トイレ(一般用)
33	トイレ(関係者用)
34	女子更衣室
35	男子更衣室
36	筆耕控室

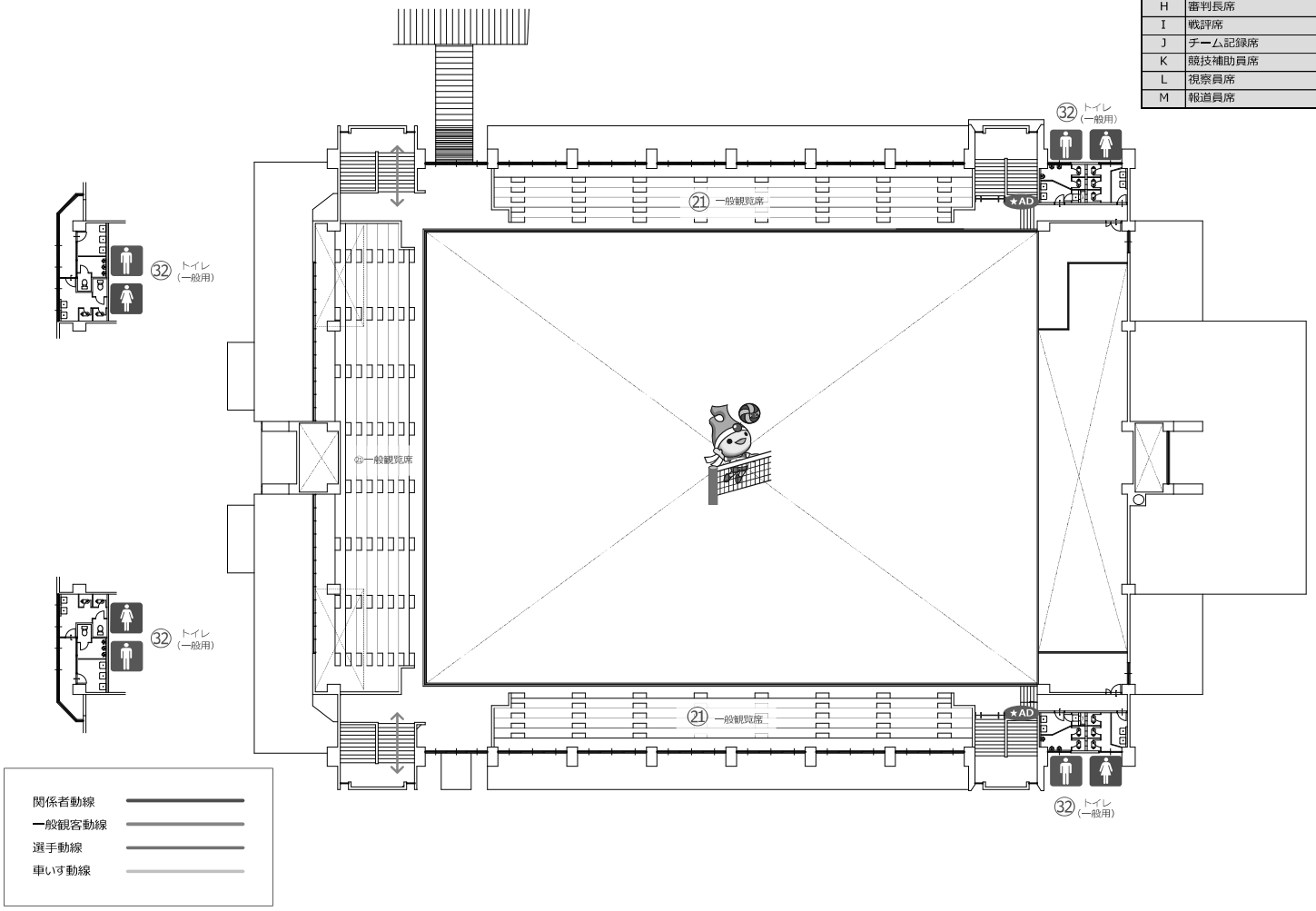
五所川原市民体育館　1階



No.	施設名称
A	記録席
B	役員・来賓席
C	競技役員席
D	コートベンチ
E	ウォームアップエリア
F	放送進行席
G	救護席
H	審判長席
I	戦評席
J	チーム記録席（撮影席）
K	競技補助員席
L	視察員席
M	報道員席
N	競技委員長席

No.	施設名称
1	実施本部
2	競技本部
3	記録本部
4	来賓控室
5	競技役員控室
6	大会役員控室
7	視察員・報道員控室
8	審判員控室
9	救護室
10	放送室
11	選手・役員用ドリンクコーナー
12	弁当引換所
13	選手・監督控室
14	総合案内所
15	大会関係者受付
16	チーム受付
17	競技会係員控室
18	競技会補助員控室
19	競技補助員控室
20	記録速報・組合せ表示板
21	競技会場案内所
22	一般観覧席
23	ハートフル席
24	輸送本部
25	
26	
27	売店
28	休憩所
29	ゴミ集積所
30	駐車場係控所
31	シャトルバス・タクシー乗降所
32	トイレ(一般用)
33	トイレ(関係者用)
34	女子更衣室
35	男子更衣室
36	筆耕室

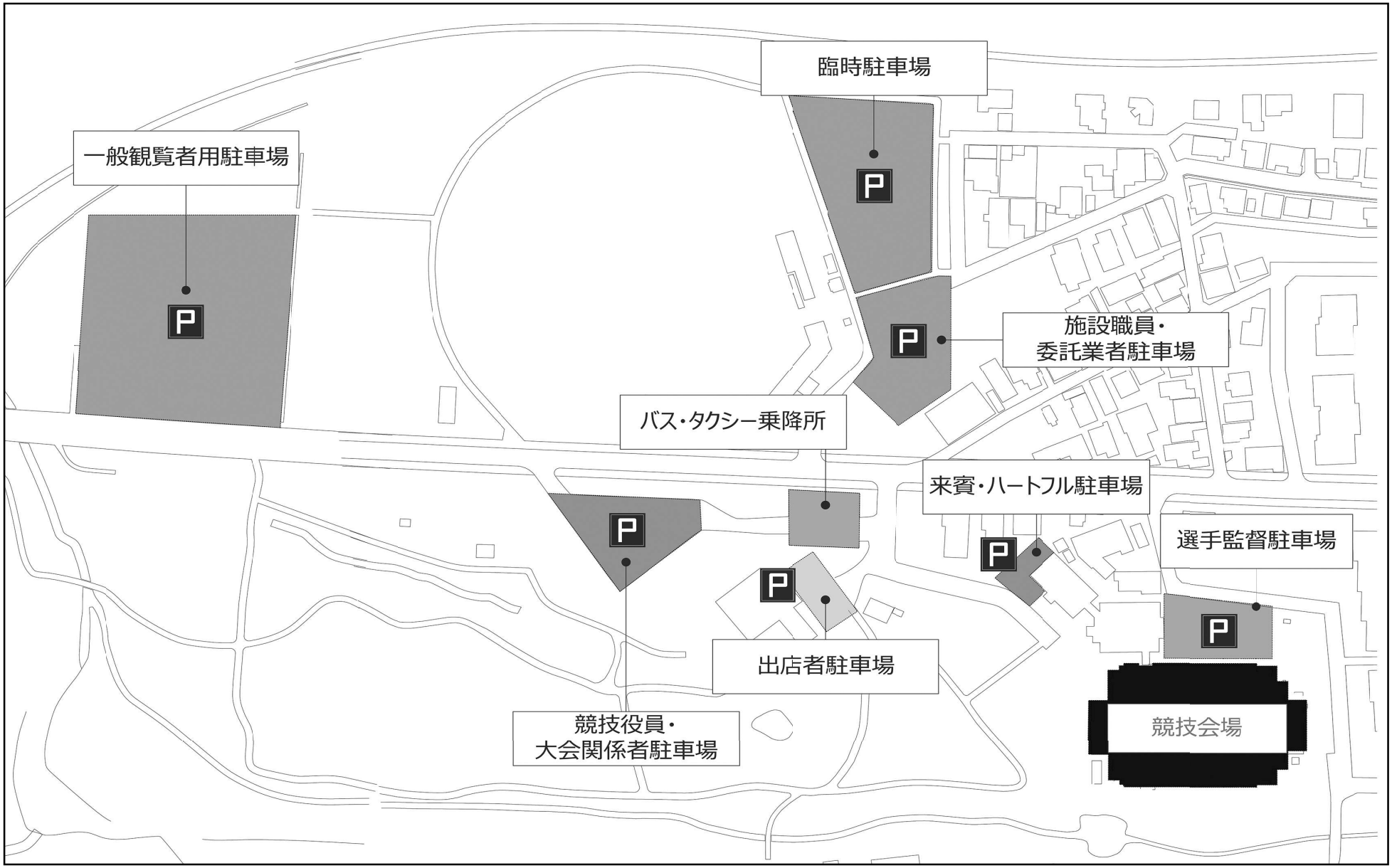
五所川原市民体育館　2階



No.	施設名称
A	記録席
B	役員・来賓席
C	競技役員席
D	コートベンチ
E	ウォームアップエリア
F	放送進行席
G	救護席
H	審判長席
I	戦評席
J	チーム記録席
K	競技補助員席
L	視察員席
M	報道員席

No.	施設名称
1	実施本部
2	競技本部
3	記録本部
4	来賓控室
5	競技役員控室
6	大会役員控室
7	視察員・報道員控室
8	審判員控室
9	救護所
10	放送室
11	選手・役員用ドリンクコーナー
12	弁当引換所
13	選手・監督控室
14	総合案内所
15	大会関係者受付
16	チーム受付
17	競技会係員控室
18	競技会補助員控室
19	競技補助員控室
20	競技会場案内所
21	一般観覧席
22	ハートフル席
23	輸送本部
24	環境美化係控所
25	警備消防本部
26	売店
27	休憩所
28	ゴミ集積所
29	駐車場係控所
30	シャトルバス乗降所
31	トイレ(一般用)
32	トイレ(関係者用)
33	女子更衣室
34	男子更衣室
35	筆耕控室
36	
37	関係者用喫煙コーナー

五所川原市民体育館　周辺駐車場



大会関係機関等連絡先一覧

実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ 五所川原市実行委員会事務局	五所川原市字布屋町41番地1	0173-35-2111

競技会場

名称	所在地	電話番号
五所川原市民体育館	五所川原市字栄町20番地1	0173-34-6121

保健所

名称	所在地	電話番号
西北保健所	五所川原市字末広町14番地	0173-34-2108

医療機関

名称	所在地	QRコード
医療情報ネット（ナビィ）	右記QRコードまたは、 「医療情報ネット（ナビィ）」 で検索	

MEMO

つ　が　る　市

競　技　役　員

（順不同･敬称略）

≪伊藤鉱業アリーナつがる≫

全体総括副委員長	木下保樹			
競技副委員長	脇山久親	小林祐馬		
競技委員	川浪昇吾	竹浪慶	小山内悠祥	太田有美
	三上晴加	江良拓也		
コンポジション主任	熊谷友			
コンポジション委員	倉光彩佳	林正幸		
式典主任	佐藤智史			
式典委員	森畑明子	三上真理子	藤田明美	藤田奈津子
コート主任	山口修一			
コート委員	天坂晴次	伊藤和也		
記録報道主任	春藤孝弘			
記録報道委員	斎藤浩子	白戸美奈子		
放送主任	山田広彬			
放送委員	斉藤章代	對馬登志子		
練習会場主任	東海賢治			
練習会場委員	藤田祐樹	高杉和宏	葛西渡	斉藤ひかる
審判副委員長	舩木洋行	工藤雄也		
審判委員	新沼美穂	畠山沙由利	田口利彦	小野﨑聖奈
	松林貴大	下山ひとみ	菊地宏仁	

線審主任	岡本剛幸			
線審委員	長内繁雄	工藤巳幸		
点示主任	成田信			
点示委員	豊沢晶子	對馬緑		
記録主任	山口浩順			
記録委員	糸長日湖	富岡拓朗	若城茂雄	成田達哉
	冨田紅葉	岡田愛里美	藤元公徳	
総務副委員長	花田寿幸			
総務委員	玉田愛理	西谷須磨子	七戸広子	菊地以巳子
	花田絵美	成田真治		

競 技 補 助 員

（順不同・敬称略）

≪ 伊藤鉱業アリーナつがる ≫

青 森 県 立 木 造 高 等 学 校
下 山 学 園 高 等 学 校
つ が る 市 立 木 造 中 学 校
つ が る 市 立 柏 中 学 校
つ が る 市 立 稲 垣 中 学 校
つ が る 市 立 車 力 中 学 校
鶴 田 町 立 鶴 田 中 学 校

競 技 会 係 員

（順不同・敬称略）

≪ 伊藤鉱業アリーナつがる ≫

青の煌めきあおもり国スポ・障スポつがる市実施本部員

競 技 会 補 助 員

（順不同・敬称略）

≪ 伊藤鉱業アリーナつがる ≫

つ が る 市 国 ス ポ ボ ラ ン テ ィ ア

種別表彰式次第(少年女子)

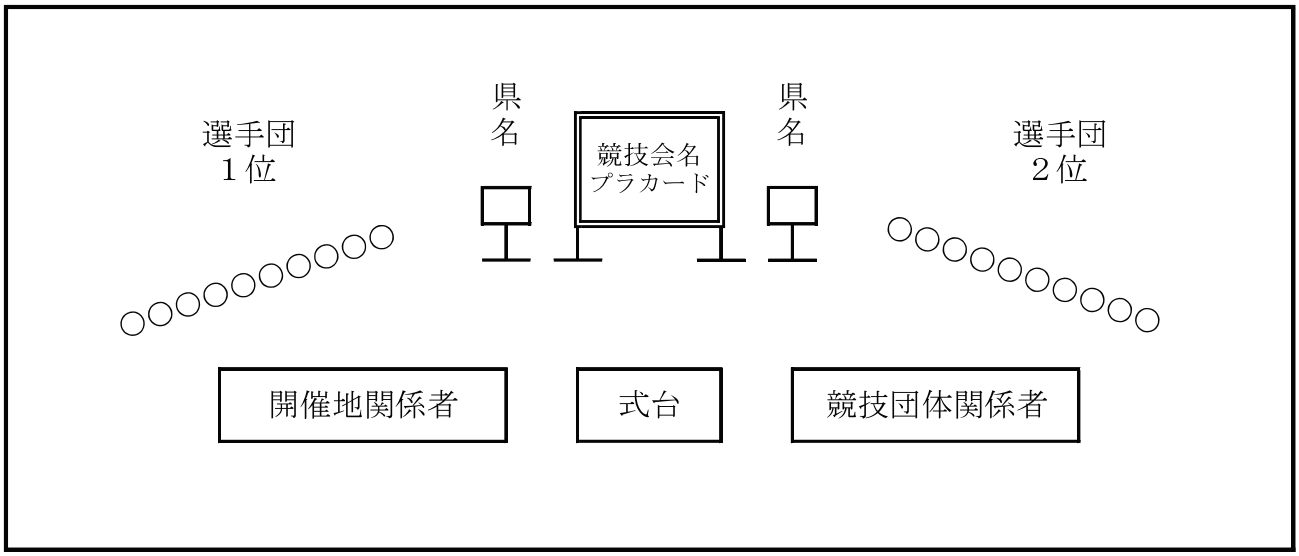
① 日　　時　　令和８年10月14日(水)　決勝戦終了30分後　予定時刻14：00

② 会　　場　　伊藤鉱業アリーナつがる

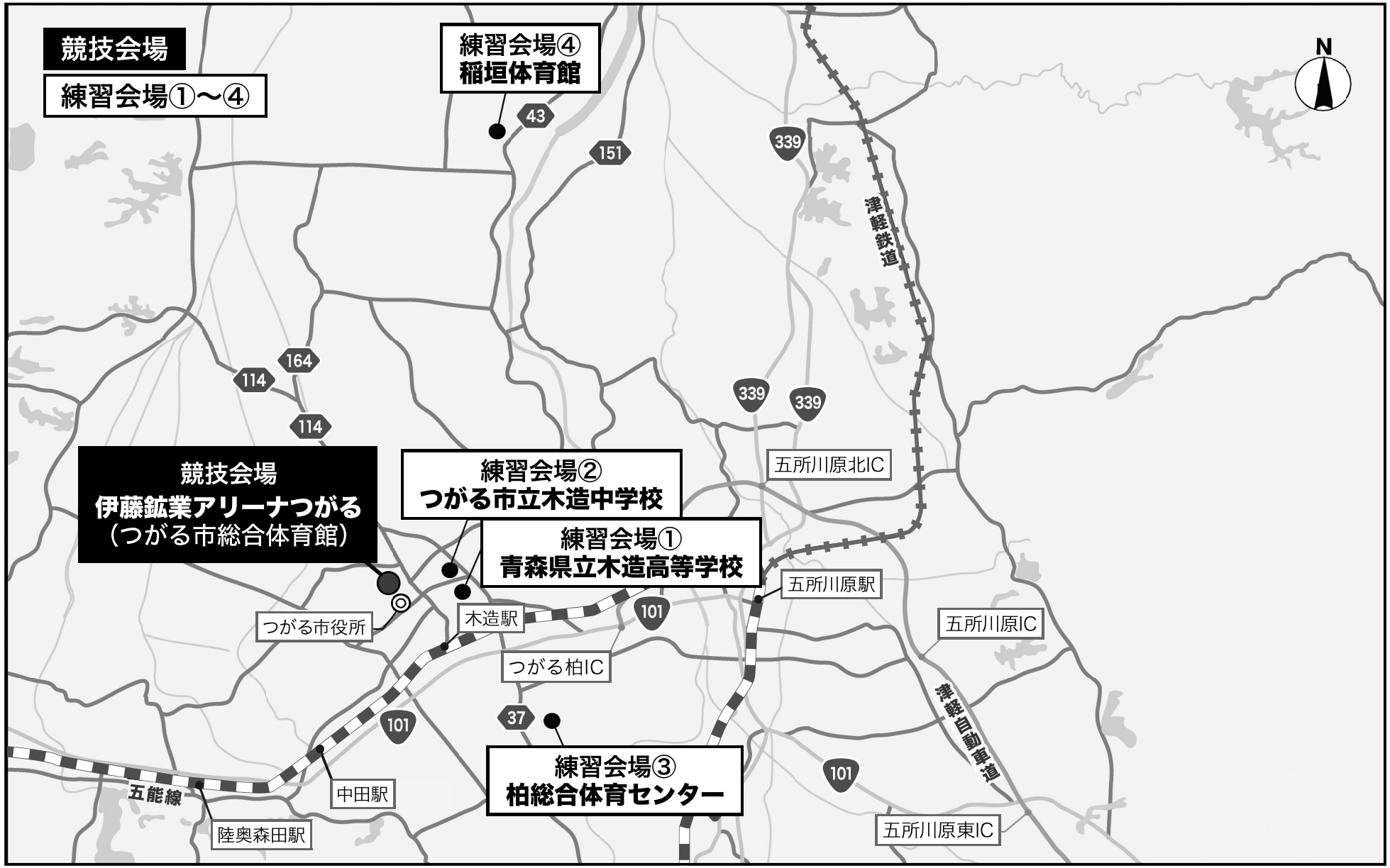
③ 式 次 第

順序	次　　第	時　間	備　考
	選　手　集　合	13：55	
	選手・来賓・役員整列	13：55	
1	開　式　通　告	14：00	ファンファーレ
2	種　別　成　績　発　表	14：01	
3	賞　状　授　与	14：03	得賞歌「見よ勇者は帰りぬ」
4	競技会会長あいさつ	14：07	
5	歓　送　の　こ　と　ば	14：10	つがる市長
6	大会旗・日本協会旗・県旗・市旗儀礼	14：13	「若い力」
7	国　旗　儀　礼	14：15	「君が代」
8	種　別　終　了　宣　言	14：17	ファンファーレ
9	閉　式　通　告	14：18	ファンファーレ
１０	感　謝　状　贈　呈	14：19	
１１	選　手　解　散	14：22	

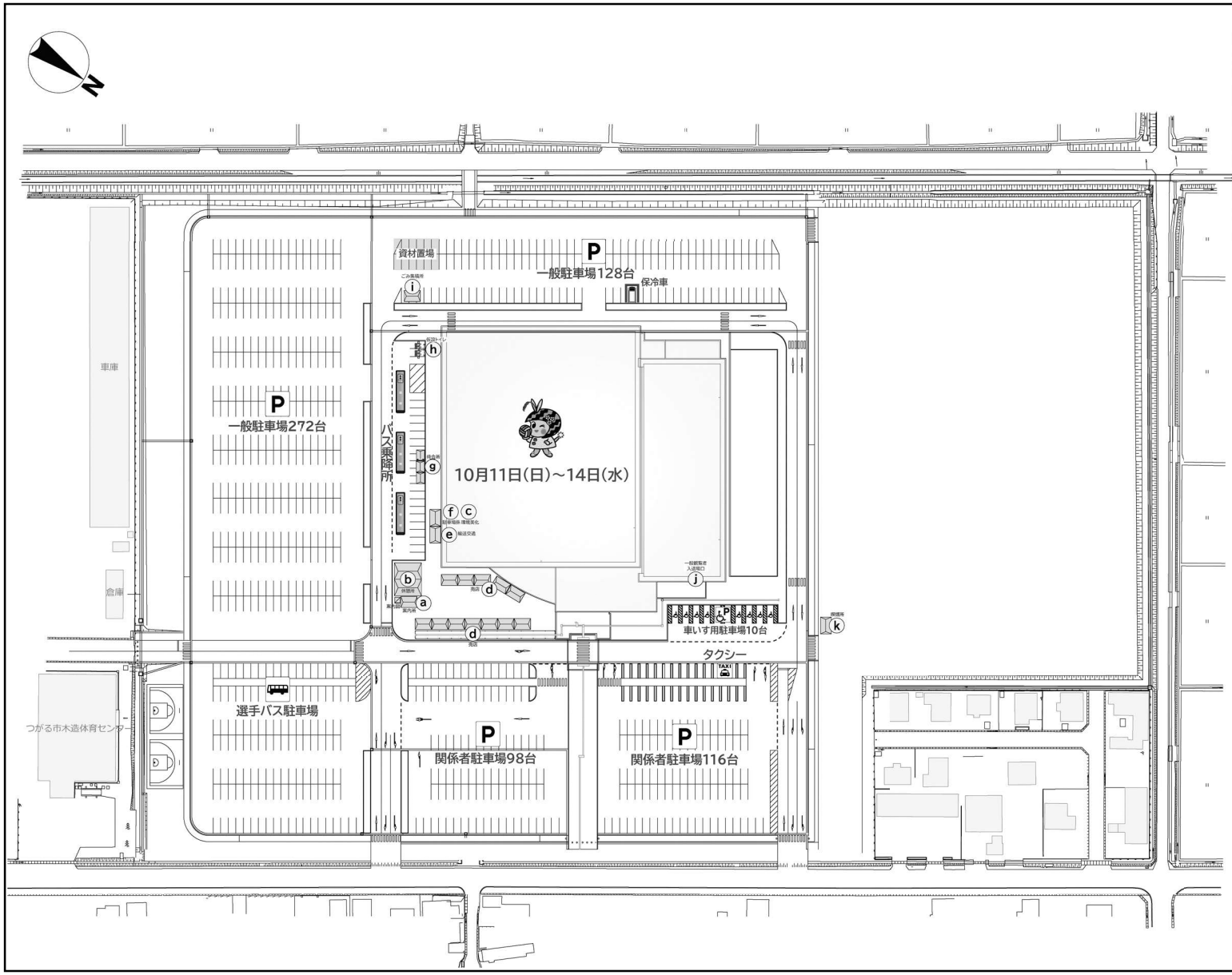
④ 種別表彰式整列要領



つがる市競技会場・練習会場案内図（少年女子）



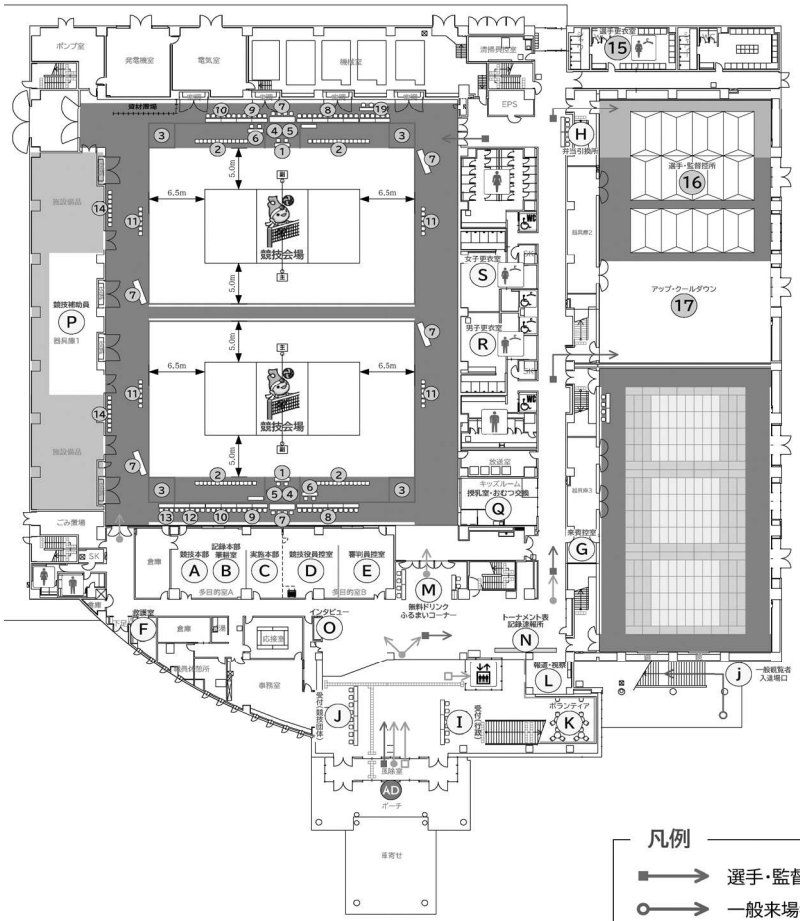
伊藤鉱業アリーナつがる　周辺図



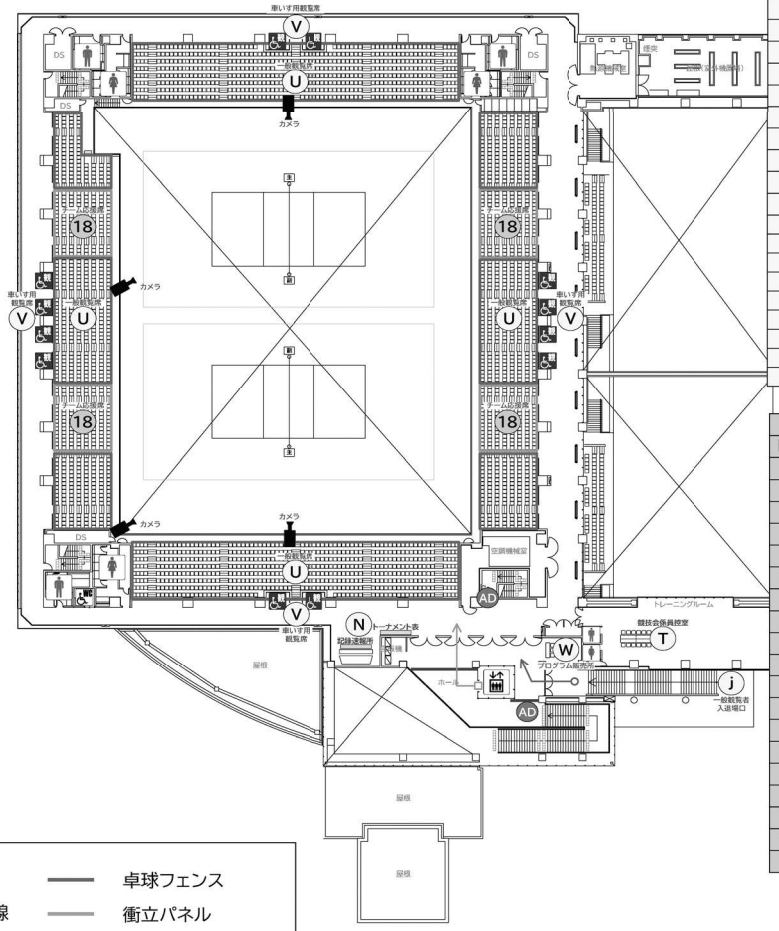
バレーボール・柔道 共通施設	
No.	施設名
a	案内所
b	休憩所
c	環境美化係控所
d	売店
e	輸送交通本部
f	駐車場係控所
g	バス待合所
h	仮設トイレ
i	ごみ集積所
j	一般観覧者入退場口
k	喫煙所

伊藤鉱業アリーナつがる　1階・2階

伊藤鉱業アリーナつがる 1階



伊藤鉱業アリーナつがる 2階

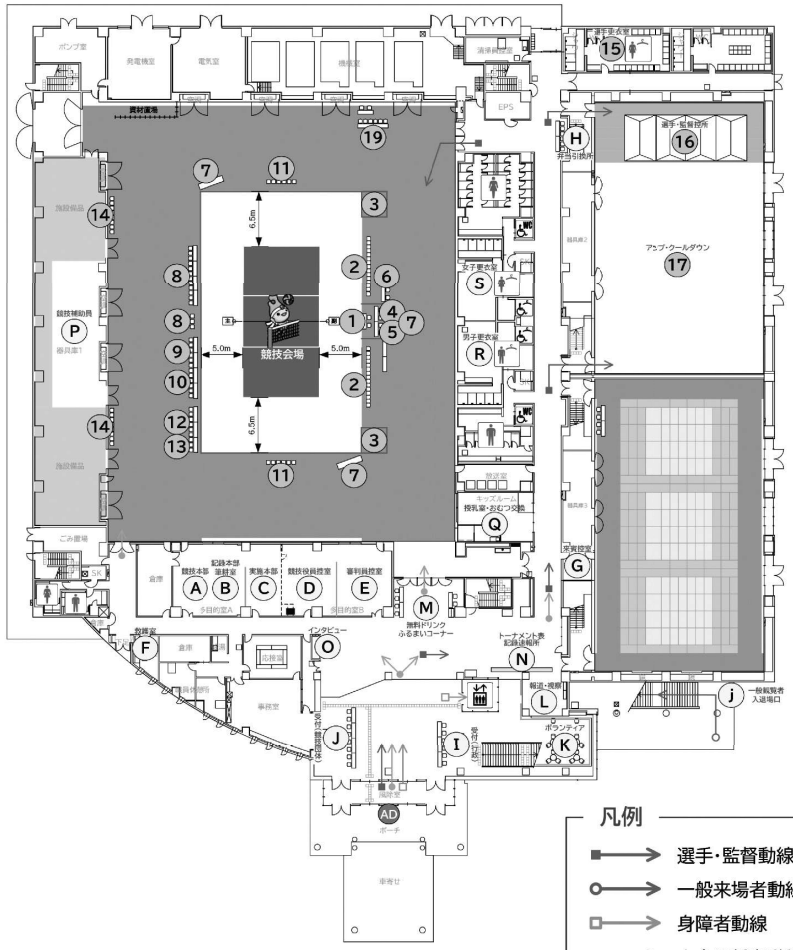


バレーボール・柔道 共通施設	
No.	施設名
A	競技本部
B	記録本部・筆耕室
C	実施本部
D	競技役員控室
E	審判員控室
F	救護室
G	来賓控室/演武者控室
H	弁当引換所
I	受付（行政）
J	受付（競技団体）
K	ボランティア控室
L	報道員・視察員控室
M	無料ドリンク・ふるまいコーナー
N	記録速報所
O	インタビューコーナー
P	競技補助員控室
Q	授乳室・おむつ交換
R	男子更衣室
S	女子更衣室
T	競技会係員控室
U	一般観覧席
V	車いす用観覧席
W	プログラム販売所
j	一般観覧者入退場口

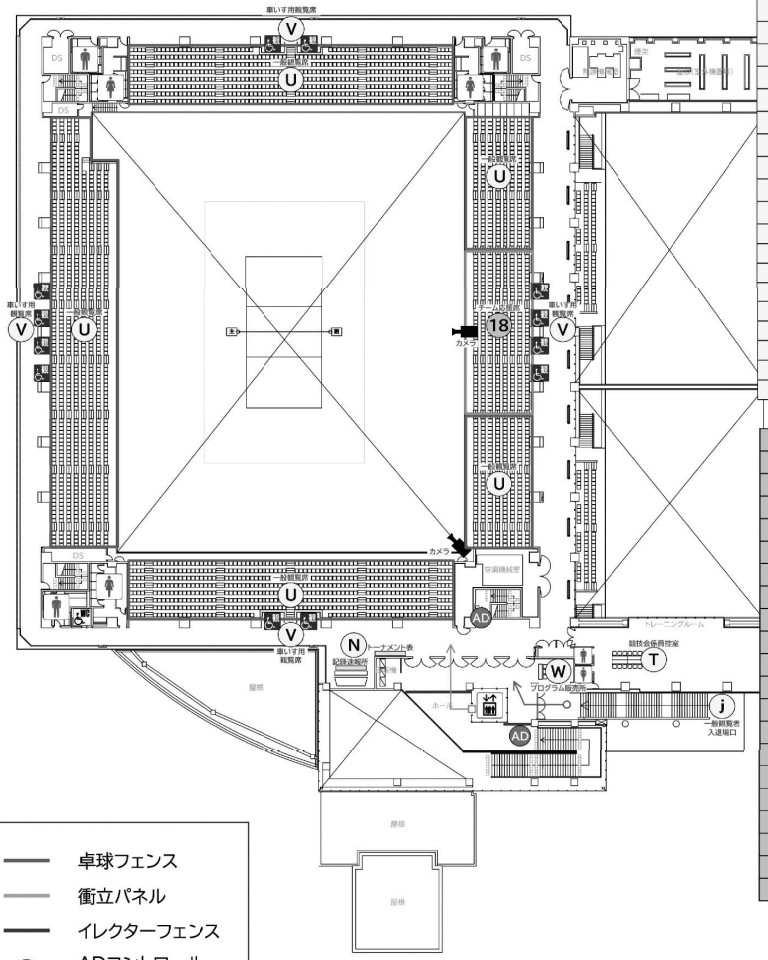
バレーボール	
No.	施設名
1	記録席
2	チームベンチ
3	ウォームアップエリア
4	審判長席
5	競技委員長席
6	戦評席
7	点示
8	競技役員席
9	来賓・大会役員席
10	報道員・視察員席
11	チーム記録席
12	放送席
13	救護席
14	競技補助員席
15	選手更衣室
16	選手・監督控所
17	アップ・クールダウンエリア
18	チーム応援席
19	映像管理席

伊藤鉱業アリーナつがる　1階・2階　（最終日）

伊藤鉱業アリーナつがる 1階



伊藤鉱業アリーナつがる 2階



凡例

- 選手・監督動線
- 一般来場者動線
- 身障者動線
- 大会関係者動線
- 卓球フェンス
- 衝立パネル
- イレクターフェンス
- AD コントロール（関係者以外立入禁止）

バレーボール・柔道 共通施設

No.	施設名
A	競技本部
B	記録本部・筆耕室
C	実施本部
D	競技役員控室
E	審判員控室
F	救護室
G	来賓控室/演武者控室
H	弁当引換所
I	受付（行政）
J	受付（競技団体）
K	ボランティア控室
L	報道員・視察員控室
M	無料ドリンク・ふるまいコーナー
N	記録速報所
O	インタビューコーナー
P	競技補助員控室
Q	授乳室・おむつ交換
R	男子更衣室
S	女子更衣室
T	競技会係員控室
U	一般観覧席
V	車いす用観覧席
W	プログラム販売所
j	一般観覧者入退場口

バレーボール

No.	施設名
1	記録席
2	チームベンチ
3	ウォームアップエリア
4	審判長席
5	競技委員長席
6	戦評席
7	点示
8	競技役員席
9	来賓・大会役員席
10	報道員・視察員席
11	チーム記録席
12	放送席
13	救護席
14	競技補助員席
15	選手更衣室
16	選手・監督控所
17	アップ・クールダウンエリア
18	チーム応援席
19	映像管理席

大会関係機関等連絡先一覧

実行委員会事務局

名称	所在地	電話番号
青の煌めきあおもり国スポ・障スポ つがる市実行委員会事務局	つがる市木造若緑52番地	0173-49-1193

競技会場

名称	所在地	電話番号
伊藤鉱業アリーナつがる	つがる市木造若緑64番地	0173-23-3231

保健所

名称	所在地	電話番号
西北保健所	五所川原市字末広町14番地	0173-34-2108

医療機関

名称	所在地	QRコード
医療情報ネット（ナビィ）	右記QRコードまたは、 「医療情報ネット（ナビィ）」 で検索	

広　　告



『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。

JSPO Japan Sport Association
TEAM JAPAN Japanese Olympic Committee
JPSA Japanese Para Sports Association
JPA
UNIVAS

JSPO
Japan Sport Association

スポーツにおける暴力行為等相談窓口



どなたでもご利用可能！

お気軽にご相談ください

「スポハラ」をなくすためには

「いかなる理由でも、指導者・コーチによる不適切な行為はあってはならない」

とスポーツに携わるすべての人が思うことが重要です。

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書≫≫

JSPO
Japan Sport Association

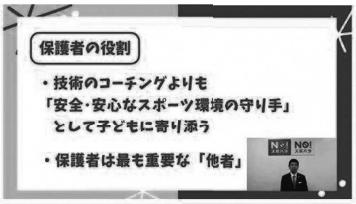
JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」≫≫

『スポハラ』根絶に向けた取組み

JSPO
Japan Sport Association

① 教材・動画の公開



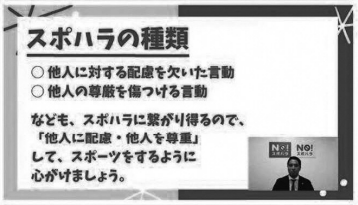


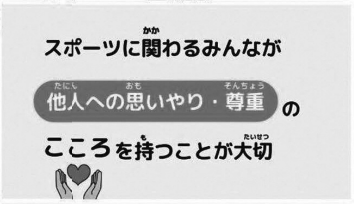


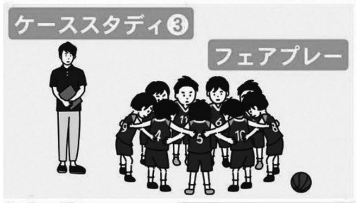


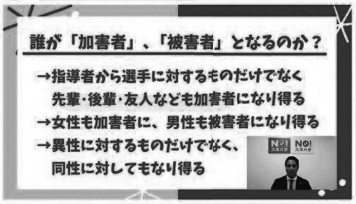




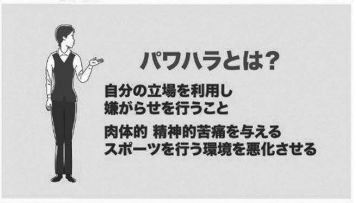


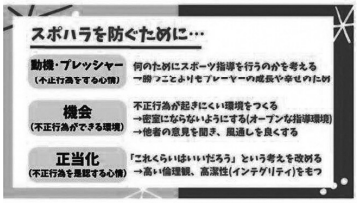


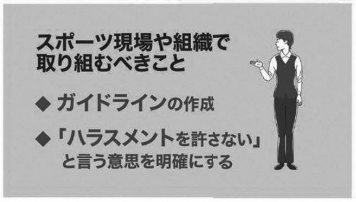


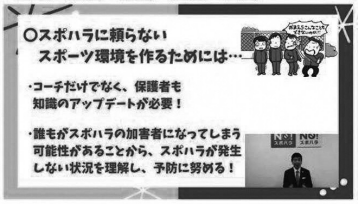














② 普及啓発活動の実施・イベントの開催























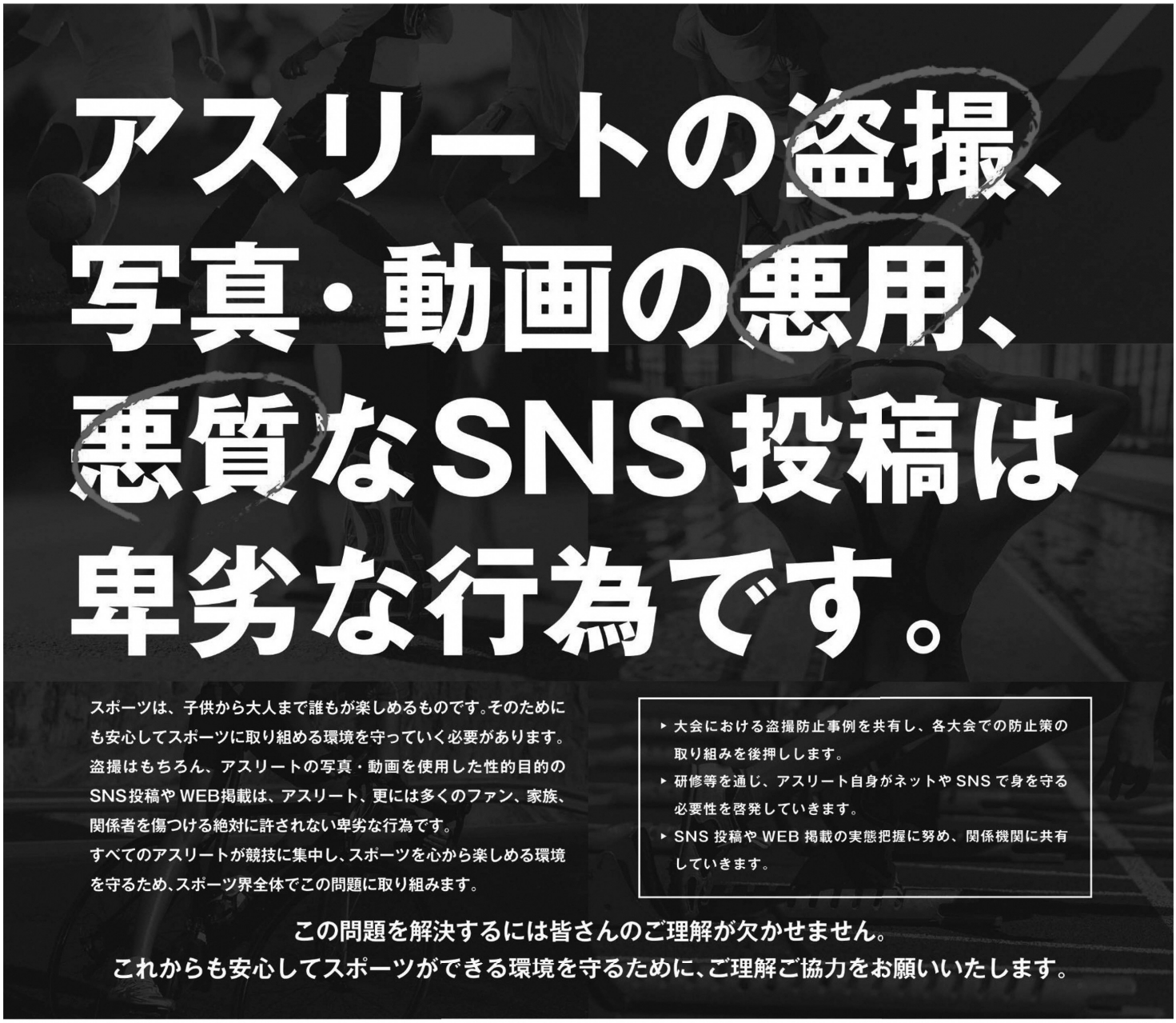












アスリートの盗撮、写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿は卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。
盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。
すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。

SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

https://www.joc.or.jp/about/savesport/

- 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪（名誉毀損罪）として処罰される可能性があります。
- 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会　公益財団法人 日本スポーツ協会　公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会　一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟　公益財団法人 日本中学校体育連盟　独立行政法人 日本スポーツ振興センター



JSPO
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。

Otsuka 大塚製薬　Mizuno　三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ　時事通信

MIZUNO SPORTS PROMOTION FOUNDATION

1970 ▷▷▷▷▷▷ 56TH ▷▷▷▷▷▷ 2026



スポーツを愛する人たちへ

私たち、ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの普及、振興に必要な事業を行い、
スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

FAIR PRIDE

勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。

JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

青の煌めきあおもり国スポ 2026
翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

スポーツ庁委託事業

Copyright © JAPAN Anti-Doping Agency All Rights Reserved.

Ver.201903

競技会場地マップ Venue map

県内全40市町村と県外3市町において、国スポ・障スポ合わせて104競技を開催！

国スポ　正式競技（37）　特別競技（1）　公開競技（7）　デモンストレーションスポーツ（39）　冬季正式競技（3）

障スポ　正式競技（14）　オープン競技（3）

（身）身体障がい者が出場できる競技　（知）知的障がい者が出場できる競技
（精）精神障がい者が出場できる競技

東青地域

青森市

- 国スポ総合開・閉会式
- 障スポ開・閉会式
- 陸上競技
- 水泳（競泳）
- 水泳（水球）
- 水泳（アーティスティックスイミング）
- 水泳（オープンウォータースイミング）
- テニス
- バレーボール（6人制）
- バレーボール（ビーチバレーボール）
- ハンドボール
- ソフトテニス
- 卓球
- 軟式野球
- ライフル射撃（25m）
- ラグビーフットボール（15人制）
- スポーツクライミング（リード・ボルダー）
- アーチェリー
- ゴルフ
- トライアスロン
- ウォークビンゴ
- カーリング
- ソフトバレーボール
- ターゲット・バードゴルフ
- ドッジボール
- 年齢別ソフトテニス
- 年齢別テニス
- ふれあいボウリング
- ユニバーサルホッケー
- ラージボール卓球
- ダンススポーツ
- 陸上競技（身・知）
- 水泳（身・知）
- アーチェリー（身）
- 卓球（身・知・精）

サウンドテーブルテニス（身）を含む。

平内町

- ゴルフ
- 綱引

今別町

- 年齢別バドミントン

蓬田村

- モルック

外ヶ浜町

- ペタンク

下北地域

むつ市

- ローイング
- バスケットボール
- セーリング
- フェンシング
- フライングディスク
- バスケットボール（知）

大間町

- ウオーキング

風間浦村

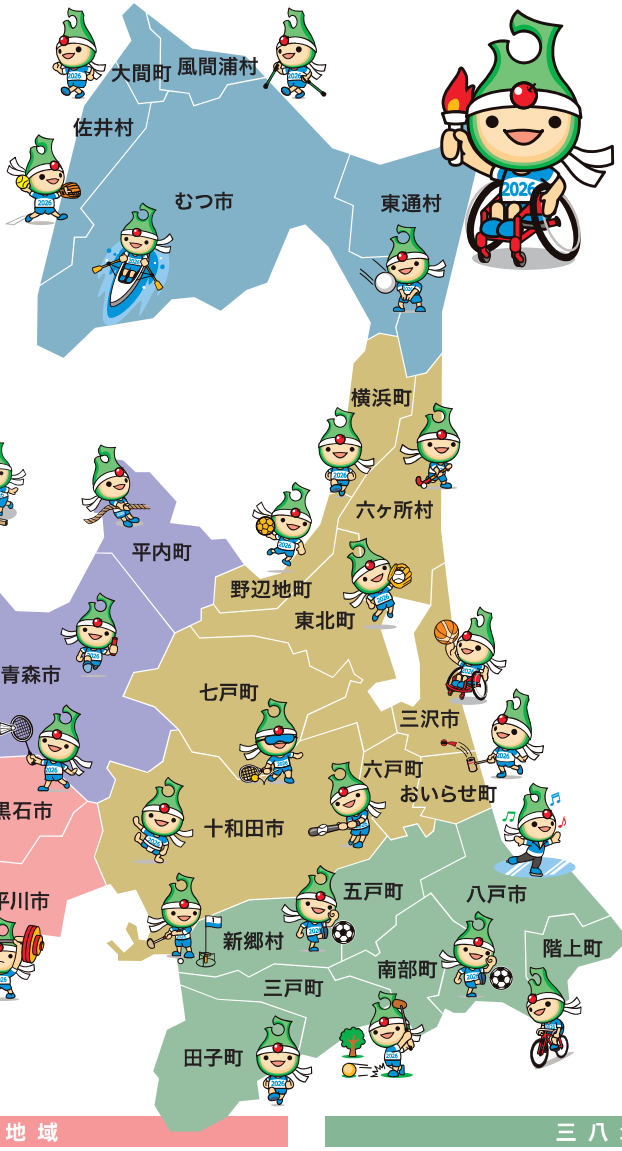
- ノルディックウォーキング

東通村

- ソフトバレーボール

佐井村

- ふれあいソフトボール



上北地域

十和田市

- サッカー
- バスケットボール
- 相撲
- ゲートボール
- バウンドテニス
- パークゴルフ
- Let's Enjoy バウンドテニス
- バレーボール（身）

三沢市

- ホッケー
- バスケットボール
- 軟式野球
- ソフトボール
- 銃剣道
- 武術太極拳
- いきいき太極拳
- スケート（ショートトラック）
- アイスホッケー
- ボウリング（知）
- 車いすバスケットボール（身）
- デフボウリング（身）

野辺地町

- ハンドボール

七戸町

- 剣道
- ブラインドテニス（身）

六戸町

- 軟式野球

横浜町

- マラソン

東北町

- ソフトボール
- 女子ソフトボール
- ソフトボール（知）

六ヶ所村

- ホッケー
- 軟式野球

おいらせ町

- 軟式野球
- スポーツチャンバラ
- ファイン・ボール
- ブラインドベースボール（身）
- ファイン・ボール（身）

西北地域

五所川原市

- バレーボール（6人制）
- バレーボール（精）

つがる市

- バレーボール（6人制）
- 柔道
- バレーボール（知）

鰺ヶ沢町

- マスターズスイミング

深浦町

- ノルディックウォーキング

板柳町

- ふれあいゲートボール
- ウオーキング

鶴田町

- マラソン&ウォーキング

中泊町

- ビーチサッカー

中南地域

弘前市

- 体操（競技）
- 体操（新体操）
- 体操（トランポリン）
- ソフトボール
- 弓道（近的・遠的）
- ライフル射撃（50m、10m、BR・BP）
- 空手道
- クレー射撃（トラップ・スキート）
- 高等学校野球（硬式・軟式）
- マスターズ陸上競技
- ビリヤード
- フライングディスク（身・知）
- ボッチャ（身）

黒石市

- バドミントン

西目屋村

- カヌー（スプリント）
- カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）

大鰐町

- パラグライディング
- オリエンテーリング
- スキー（ジャイアントスラローム）
- スキー（クロスカントリー）

平川市

- ウエイトリフティング
- グラウンド・ゴルフ
- エアロビック
- インディアカ

藤崎町

- なぎなた
- パワーリフティング
- スポーツウエルネス吹矢

田舎館村

- ユニカール

三八地域

八戸市

- サッカー
- バスケットボール
- レスリング
- 自転車（トラックレース）
- ソフトボール
- ラグビーフットボール（7人制）
- ボウリング
- 空道
- スケート（スピード）
- スケート（フィギュア）
- アイスホッケー
- サッカー（知）
- フットソフトボール（知）

三戸町

- パークゴルフ

五戸町

- サッカー

田子町

- マラソン

南部町

- サッカー

階上町

- 自転車（ロードレース）
- フロアボール

新郷村

- エンジョイ！グラウンド・ゴルフ

県外

宮城県利府町

- 水泳（飛込）

山梨県北杜市

- 馬術

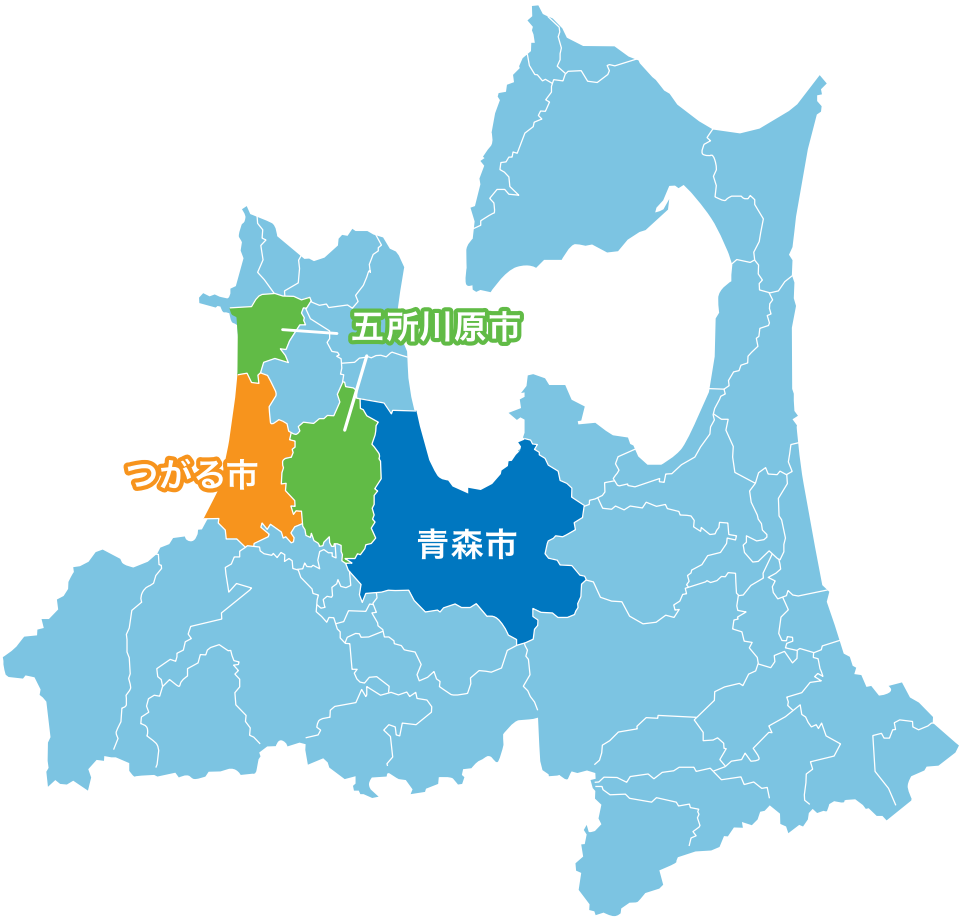
秋田県鹿角市

- スキー（スペシャルジャンプ）
- スキー（コンバインド）

ー昭和100年記念ー

2026 AOMORI

青の煌(きら)めきあおもり国スポ



青　森　市

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
青森市実行委員会

〒038-8505
青森県青森市柳川二丁目１番１号
TEL：017-761-4462
FAX：017-761-4489

五所川原市

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
五所川原市実行委員会

〒037-8686
青森県五所川原市字布屋町41番地１
TEL：0173-35-2111
FAX：0173-23-4095

つ が る 市

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
つがる市実行委員会

〒038-3138
青森県つがる市木造若緑 52 番地
TEL：0173-49-1193
FAX：0173-49-1212

国スポの観覧・観戦に関するお問い合わせ

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ
実行委員会事務局

県コールセンター

TEL 0120−912−568

競技記録・速報 URL

PC・スマホ

フィーチャーフォン（ガラケー）

第80回国民スポーツ大会 バレーボール競技会